

北海道大学 北海道新聞社 合同道民世論調査  
「あなたが考える今の政治と社会」  
報 告 書

2009 年 12 月

北海道新聞情報研究所

# 目 次

I	調査について	
1.	調査の概要	4
2.	回答者の基本的属性	5
3.	調査対象地点一覧	8
II	調査結果の分析	
1	政党支持率と投票行動	9
(1)	支持政党	9
(2)	09年衆院選の投票行動	11
(3)	野党に投票した理由	13
(4)	与党に投票した理由	15
(5)	05年衆院選の投票行動	17
(6)	自民党支持層の投票行動の変化	19
(7)	10年参院選の投票行動	21
(8)	10年参院選における有権者と政党との距離	23
(9)	10年参院選後に望む政権の枠組み	25
2	マニフェストと政治マスメディア	27
(1)	マニフェストの認知度	27
(2)	マニフェストと投票行動との関係	29
(3)	選挙調査と有権者との関係	31
(4)	政治マスメディアへの接触度	33
3	自民党政治への評価・再生策	35
(1)	自民党政治への賛否 ①肯定的見方	35
(2)	自民党政治への賛否 ②否定的見方	37
(2)	党再生に向けて ①党内改革	39
(3)	党再生に向けて ②政策	41
4	民主党政権への評価・課題	43
(1)	政権後退後の政治に対する期待度	43
(2)	政策転換の実感度	45
(3)	政権支持率	47
(4)	支持理由	49
(5)	不支持理由	51
(6)	政策評価 ①期待する政策	53
(7)	政策評価 ①期待できない政策	55
(8)	マニフェストへの対応	57

(9) マニフェストの達成度 -----	59
(10) 各支援方法のあり方 -----	61
(11) 国の出先機関廃止への是非 -----	63
5 政党や政治制度のあり方 -----	65
(1) 2大政党のあり方 -----	65
(2) 参議院の必要性 -----	67
(3) 国会議員定数への是非 -----	69
(4) 選挙制度全般への是非 -----	71
(5) 比例復活制度への是非 -----	73
6 今後の社会経済システム -----	75
(1) 日本のあるべき社会像 -----	75
(2) 個人・家庭のあるべき姿 -----	77
(3) 貧困問題への対応策 -----	79
(4) 国民負担への実感度 -----	81
(5) 税負担の考え方 -----	83
(6) 増税の方法 -----	85
(7) 行政サービスの権限委譲 ①国に権限 -----	87
(8) 行政サービスの権限委譲 ①地方へ委譲 -----	89
7 北海道の将来像と指針 -----	91
(1) 北海道のあるべき姿 -----	91
(2) 公共事業のあり方 -----	93
(3) 札幌への一極集中問題 -----	95
(4) 北海道の発展を促す産業分野 -----	97
(5) 高橋道政の評価 -----	99

単純集計表 -----

質問票

# I 調査について

# 1 調査について

## 1. 調査の概要

### 【調査目的】

衆院選後の政治や社会のあり方に対する道民の意識を調べて、これららの日本と北海道の将来を考える指針にするために調査を実施した。

### 【調査内容】

本調査のテーマは下記の7項目

1. 政党支持率と投票行動
2. マニフェストと政治マスメディア
3. 自民党政治への評価・再生策
4. 民主党政権への評価・課題
5. 政党や政治制度のあり方
6. 今後の社会経済システム
7. 北海道の将来像と指針

### 【調査の設計】

- |           |  |
|-----------|--|
| 1. 調査対象者  | 道内の有権者男女 2000 人  |
| 2. 調査対象地点 | 道内 71 市町   |
| 3. 調査手法   | 郵送法<br>選挙人名簿から層化2段無作為抽出法で対象者を抽出し、10月29日に質問票を発送。回答は郵送とインターネットで受け付け、12月10日まで届いたものを有効にした。 |
| 4. 調査期間   | 2009年10月29日～12月10日   |
| 5. 有効回答数  | 1346人（回収率67.3%）  |
| 5. 調査主体   | 北海道大学大学院法学研究科<br>北海道新聞社編集局報道本部   |
| 6. 調査実施機関 | 北海道新聞情報研究所   |

## 【報告書の留意点】

### 表記について

#### ①パーセント

回答率（%の表示）は、小数点以下第1位を四捨五入して表示している。従って合計しても100%にならない場合がある。

#### ②選択肢

クロス集計表内の選択肢は、表現を一部簡略化している場合がある。正確な文言は、巻末の質問票を参照。

#### ③集計の対象外

クロス集計表内の項目はスペースの関係上、「その他」や「無回答」などを一部簡略している。

#### ④分析の対象外

社民党支持層は14人と少ないので、分析の対象外にしている。

## 2. 回答者の基本的属性

### ●性別

---

男性	47%
女性	53%

---

### ●年代別

---

20代	11%
30代	14%
40代	18%
50代	21%
60代	21%
70歳以上	15%

---

●職業別

---

民間企業従事者	24%
公務員・団体職員	6%
自営・自由業	10%
契約社員・アルバイト	8%
農林漁業	2%
専業主婦（パート含む）	21%
無職（年金生活者など）	23%
その他（学生など）	3%
無回答	1%

---

●市郡別

---

大都市	34%
中都市	28%（有権者人口10万人以上）
小都市	20%
町村	18%

---

●地域別

---

札幌市	34%
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	19%
胆振・日高管内	9%
渡島・桧山管内	9%
上川・留萌・宗谷管内	12%
十勝・網走・釧路・根室管内	17%

---

●選挙区別

---

1区	9%
2区	10%
3区	9%
4区	7%
5区	11%
6区	10%
7区	7%
8区	9%
9区	9%
10区	8%
11区	5%
12区	6%

---

### 3. 調査対象地点一覧

札幌市	函館市	津別町
北広島市	北斗市	遠軽町
石狩市	七飯町	釧路市
当別町	木古内町	釧路町
江別市	森町	厚岸町
千歳市	八雲町	弟子屈町
恵庭市	江差町	根室市
小樽市	旭川市	中標津町
喜茂別町	東神楽町	別海町
岩内町	東川町	
仁木町	士別市	
夕張市	名寄市	
岩見沢市	美深町	
美唄市	富良野市	
三笠市	中富良野町	
芦別市	留萌市	
滝川市	天塩町	
砂川市	稚内市	
新十津川町	枝幸町	
深川市	帯広市	
栗山町	音更町	
南幌町	芽室町	
苫小牧市	幕別町	
室蘭市	新得町	
登別市	広尾町	
白老町	本別町	
伊達市	北見市	
洞爺湖町	網走市	
新ひだか町	斜里町	
新冠町	紋別市	
浦河町	美幌町	

## Ⅱ 調査結果の分析

## 2 調査結果の分析

### 1. 政党支持率と投票行動

#### (1) 支持政党 (問1)

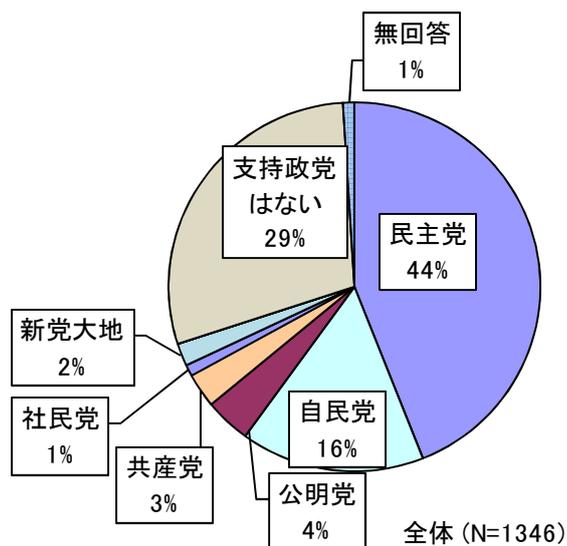
「民主党」が44%と「自民党」の16%を3倍近く引き離している。以下は「公明党」の4%、「共産党」の3%。「新党大地」の2%と続き、「支持政党なし」の無党派層は29%である。

調査手法が違うので単純比較はできないが、北海道新聞社が衆院選直後の2009年9月に実施した全道電話世論調査と比べて、「民主党」は13ポイント増、「自民党」は7ポイント減、「共産党」は1ポイント増、「支持政党なし」は5ポイント減で、「公明党」と「新党大地」は同率で変化は見られない。

#### <クロス集計結果>

- ・「民主党」は年代が上がるにつれておおむね高くなり、60代以上の高年齢層で5割を超える。
- ・職業別でみると、「民主党」は高年齢層が大半を占める無職で53%と高率を示す。
- ・選挙区別では、「民主党」は鳩山首相のお膝元の9区で57%と際立って高い。

あなたは、どの政党を支持していますか



\* 「その他の政党」の実際の数値は0.3%だが、小数点第1位を四捨五入した関係で0となる

単位(%)	民主党	自民党	公明党	共産党	社民党	新党大地	支持政党なし
全 体	44	17	4	3	1	2	29
F1 性別							
男性	47	16	4	2	1	3	27
女性	41	17	4	4	1	1	31
F2 年代別							
20代	39	12	1	3	-	3	42
30代	35	8	4	5	1	2	44
40代	38	11	5	2	1	3	40
50代	41	15	5	3	1	2	31
60代	53	21	4	3	1	1	16
70歳以上	52	29	4	2	3	-	10
F3 職業別							
民間企業従事者	46	13	4	2	1	1	33
公務員・団体職員	43	12	3	8	-	2	31
自営・自由業	34	24	3	3	-	2	30
契約社員・アルバイト	39	11	5	-	1	6	39
農林漁業	32	23	-	6	-	3	32
専業主婦	40	13	4	3	2	1	35
無職	53	21	5	2	2	1	16
F4 市郡別							
大都市	42	13	5	3	1	2	34
中都市	45	18	3	4	-	2	27
小都市	49	17	3	2	2	1	24
町村	39	21	5	3	2	2	28
F5 地域別							
札幌市	42	13	5	3	1	2	34
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	42	21	3	3	1	2	27
胆振・日高管内	57	11	4	2	2	-	23
渡島・桧山管内	47	13	2	3	-	1	33
上川・留萌・宗谷管内	47	21	4	4	1	-	22
十勝・網走・釧路・根室管内	39	21	3	2	2	4	28
F6 選挙区別							
1区	36	15	6	1	1	1	39
2区	47	11	3	4	2	2	29
3区	43	11	6	2	1	2	35
4区	39	19	3	4	-	2	32
5区	43	21	4	5	1	3	23
6区	46	23	5	5	1	-	20
7区	34	19	2	3	3	7	30
8区	47	13	2	3	-	1	33
9区	57	11	4	2	2	-	23
10区	41	16	4	2	2	1	33
11区	42	19	4	1	1	3	28
12区	44	22	4	1	-	3	25
F8 衆院選投票先別							
民主党	71	3	-	-	-	-	26
共産党	19	3	-	53	-	-	25
社民党	30	7	-	-	41	-	22
新党大地	51	4	-	-	1	17	27
自民党	7	71	1	-	-	-	21
公明党	11	9	63	-	-	1	16
投票しなかった・白票を投じた	16	10	-	1	-	1	72
F9 政権支持別							
支持する	62	5	1	3	1	2	25
支持しない	3	43	11	3	1	2	37

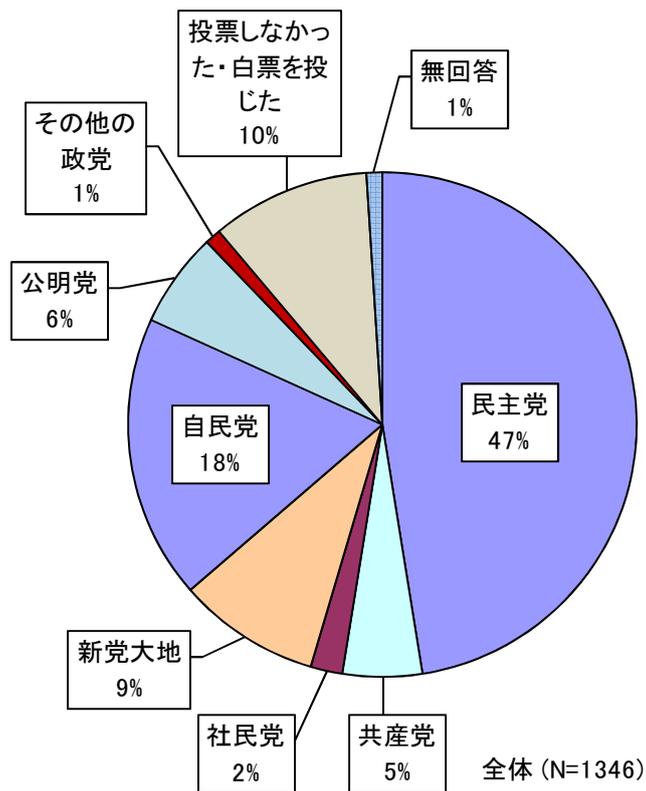
## (2) 09年衆院選の投票行動(問2)

順位は「民主党」の47%、「自民党」の18%、「新党大地」の9%、「公明党」の6%、「共産党」の5%と続く。

### <クロス集計結果>

- ・「民主党」は農林漁業を除くすべての層で「自民党」を上回り、特に60代以上の高年齢層で5割を超える。
- ・「自民党」は唯一農林漁業で「民主党」を上回る。

8月に衆院選がありました、比例代表ではどの政党に投票しましたか



単位(%)	民主党	共産党	社民党	新党大地	自民党	公明党	その他の政党	投票しない・白票を投じた
全体	47	5	2	9	18	6	10	1
F1 性別								
男性	49	4	2	12	17	5	-	10
女性	46	6	2	6	19	7	1	10
F2 年代別								
20代	35	6	-	6	15	5	1	31
30代	40	7	1	14	13	7	-	18
40代	53	3	1	11	14	9	1	6
50代	46	5	2	12	18	5	1	10
60代	53	5	3	9	20	5	1	2
70歳以上	51	5	3	2	28	5	-	3
F3 職業別								
民間企業従事者	47	3	2	10	17	6	1	13
公務員・団体職員	57	13	1	9	10	5	-	5
自営・自由業	41	3	-	13	25	6	1	9
契約社員・アルバイト	43	5	2	11	15	6	1	17
農林漁業	26	6	3	19	35	-	-	10
専業主婦	49	4	3	9	17	7	1	9
無職	53	5	2	6	19	6	1	5
F4 市郡別								
大都市	50	5	3	6	16	7	1	12
中都市	44	8	1	12	18	5	-	11
小都市	49	3	2	10	19	7	1	7
町村	47	3	2	9	22	6	1	8
F5 地域別								
札幌市	50	5	3	6	16	7	1	12
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	48	4	2	8	21	7	1	7
胆振・日高管内	63	2	2	4	11	6	-	10
渡島・桧山管内	46	8	1	7	18	4	1	15
上川・留萌・宗谷管内	43	9	2	9	22	5	1	8
十勝・網走・釧路・根室管内	37	4	2	20	21	5	-	9
F6 選挙区別								
1区	47	1	3	7	19	7	1	12
2区	51	6	4	7	13	5	-	12
3区	54	4	1	5	15	6	2	13
4区	51	6	2	5	21	5	-	8
5区	45	6	1	8	19	9	2	8
6区	41	11	2	9	23	5	1	8
7区	34	6	4	18	17	7	-	13
8区	46	8	1	7	18	4	1	15
9区	63	2	2	4	11	6	-	10
10区	50	3	3	8	21	7	1	6
11区	39	3	-	26	19	4	-	7
12区	39	4	1	16	27	5	-	5
F7 支持政党別								
民主党	77	2	1	11	3	2	-	4
自民党	8	1	1	2	78	3	-	6
公明党	-	-	-	-	4	96	-	-
共産党	5	92	-	-	-	-	-	3
社民党	7	-	79	7	7	-	-	-
新党大地	-	-	-	88	-	4	4	4
支持政党なし	42	4	2	8	13	3	2	25
F9 政権支持別								
支持する	62	6	2	11	7	3	-	7
支持しない	13	4	1	5	45	13	1	16

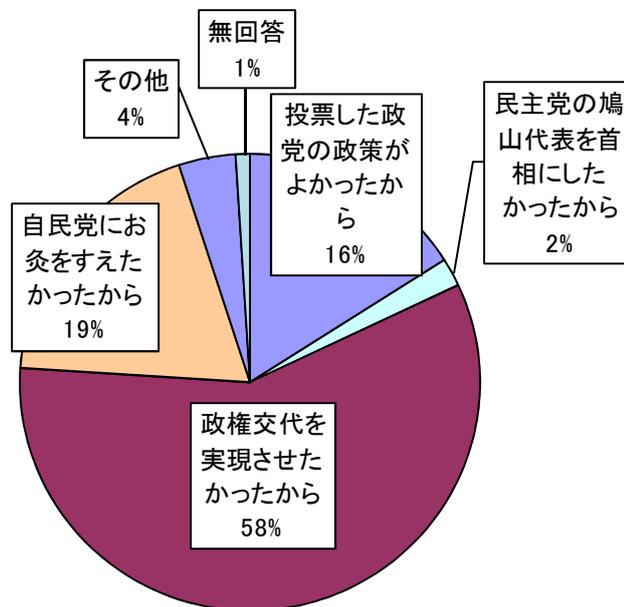
### (3) 野党に投票した理由 (問3)

「政権交代を実現させたかったから」が58%と他の項目を大きく引き離している。以下は「自民党にお灸をすえたかったから」の19%、「投票した政党の政策がよかったから」の16%と続く。

#### <クロス集計結果>

- ・年代別で「政権交代の実現」が67%と最高値を示すのは、50代と70歳以上である。
- ・サンプル数が17と少ないが、農林漁業では「自民党にお灸」が29%と全体値を大きく上回る。
- ・支持政党別で見ると、「自民党にお灸」は自民党支持層で74%と際立って高いのが特徴である。
- ・民主党政権の支持状況別で見ると、当時の野党に投票しても民主党政権を支持しない人では、「自民党にお灸」が「政権交代の実現」を上回る。

当時の野党に投票した理由は何ですか



全体 (N=857)

単位(%)	投票した政党の政策がよかったから	民主党の鳩山代表を首相にしたかったから	政権交代を実現させたかったから	自民党にお灸をすえたかったから
全 体	16	2	58	19
F1 性別				
男性	12	2	60	21
女性	19	2	57	16
F2 年代別				
20代	25	9	42	18
30代	26	1	42	22
40代	18	1	57	17
50代	9	3	67	16
60代	12	3	61	22
70歳以上	13	1	67	17
F3 職業別				
民間企業従事者	10	2	60	23
公務員・団体職員	19	-	62	9
自営・自由業	11	1	60	25
契約社員・アルバイト	15	3	55	18
農林漁業	12	18	35	29
専業主婦	23	1	56	16
無職	13	3	63	17
F4 市郡別				
大都市	17	1	57	20
中都市	14	1	61	18
小都市	16	6	60	15
町村	15	3	55	20
F5 地域別				
札幌市	17	1	57	20
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	13	4	61	17
胆振・日高管内	17	8	62	11
渡島・桧山管内	19	3	59	10
上川・留萌・宗谷管内	14	2	58	20
十勝・網走・釧路・根室管内	14	-	57	26
F6 選挙区別				
1区	12	-	62	19
2区	21	2	54	17
3区	17	-	53	26
4区	11	-	64	20
5区	16	3	63	14
6区	16	-	57	20
7区	13	-	53	29
8区	19	3	59	10
9区	17	8	62	11
10区	12	9	57	19
11区	14	-	62	20
12区	15	-	58	25
F7 支持政党別				
民主党	15	3	67	14
自民党	7	-	15	74
公明党	-	-	-	-
共産党	55	-	21	8
社民党	23	-	69	8
新党大地	5	-	38	38
支持政党なし	12	1	51	25
F8 衆院選投票先別				
民主党	14	3	63	18
共産党	43	-	25	13
社民党	19	-	63	15
新党大地	9	1	54	27
自民党	-	-	-	-
公明党	-	-	-	-
投票しなかった・白票を投じた	-	-	-	-
F9 政権支持別				
支持する	16	2	62	16
支持しない	20	1	26	38

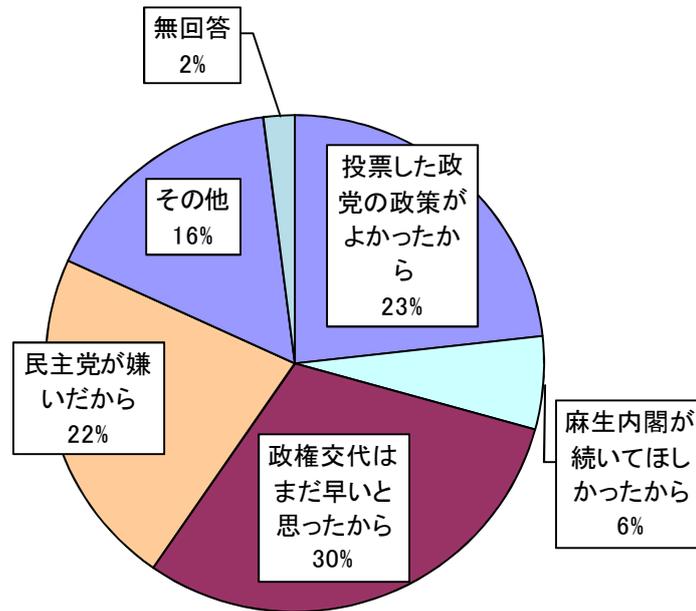
#### (4) 与党に投票した理由 (問4)

最多は「政権交代はまだ早いと思ったから」の30%で、以下は「投票した政党の政策がよかったから」の23%、「民主党が嫌いだから」の22%と続く。与党に投票した理由は野党のケースと異なり、投票理由がばらついているのが特徴である。

##### <クロス集計結果>

- ・選挙区別では、「民主党が嫌い」は7区、11区と12区で3割前後と高く、それぞれの最大理由となる。
- ・支持政党別で見ると、自民党支持層の最大理由は「政権交代はまだ早い」の36%だが、「民主党が嫌い」も30%と高い。しかし、連立パートナーの公明党支持層は「政策がよかった」が62%となり、投票理由が大きく異なる。

当時の与党に投票した理由は何ですか



全体 (N=325)

単位(%)	投票した政党の 政策がよかった から	麻生内閣が続 いてほしかった から	政権交代はまだ 早いと思った から	民主党が嫌い だから
全 体	23	6	30	22
F1 性別				
男性	20	7	30	24
女性	25	6	30	21
F2 年代別				
20代	18	7	32	25
30代	32	-	19	16
40代	30	2	30	12
50代	20	8	26	26
60代	13	12	29	30
70歳以上	26	7	39	22
F3 職業別				
民間企業従事者	20	5	26	27
公務員・団体職員	38	-	38	8
自営・自由業	10	10	35	25
契約社員・アルバイト	22	-	30	35
農林漁業	18	9	27	18
専業主婦	30	3	26	17
無職	21	11	33	23
F4 市郡別				
大都市	24	3	30	18
中都市	16	6	33	26
小都市	25	7	34	24
町村	27	12	21	24
F5 地域別				
札幌市	24	3	30	18
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	25	8	37	25
胆振・日高管内	33	10	19	19
渡島・檜山管内	15	12	38	19
上川・留萌・宗谷管内	23	7	30	21
十勝・網走・釧路・根室管内	18	7	20	32
F6 選挙区別				
1区	21	-	30	21
2区	25	4	38	8
3区	26	7	37	19
4区	16	12	24	24
5区	33	3	28	25
6区	24	8	32	19
7区	24	5	19	33
8区	15	12	38	19
9区	33	10	19	19
10区	17	7	45	28
11区	12	18	12	29
12区	20	-	24	28
F7 支持政党別				
民主党	38	4	15	-
自民党	13	9	36	30
公明党	62	2	8	17
共産党	-	-	-	-
社民党	-	-	-	100
新党大地	100	-	-	-
支持政党なし	11	5	39	14
F8 衆院選投票先別				
民主党	-	-	-	-
共産党	-	-	-	-
社民党	-	-	-	-
新党大地	-	-	-	-
自民党	11	8	37	26
公明党	57	1	9	12
投票しなかった・白票を投じた	-	-	-	-
F9 政権支持別				
支持する	27	5	26	5
支持しない	21	6	33	29

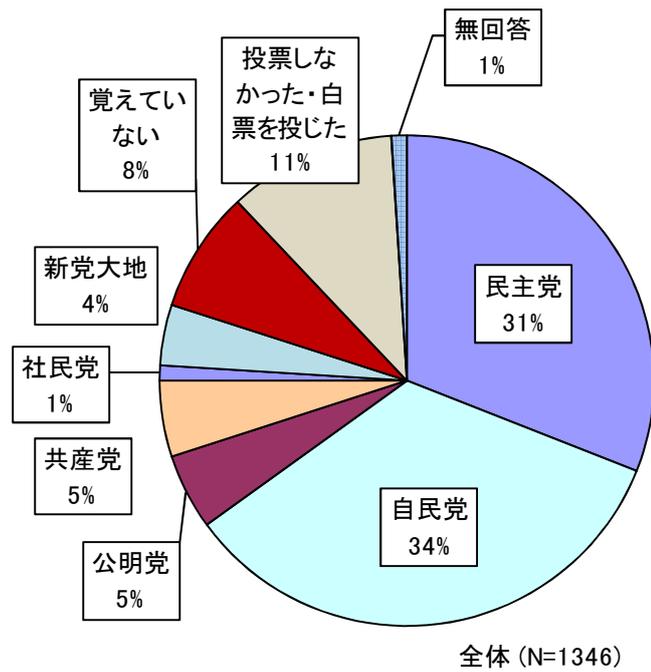
### (5) 05年衆院選の投票行動(問8)

順位は「自民党」の34%、「民主党」の31%、「公明党」と「共産党」は同率の5%、「新党大地」の4%と続く。

#### <クロス集計結果>

- ・投票先別でみると、今回の民主党投票層の構成比は、前回選挙で民主党に投票した人が51%と最大だが、自民党に投票した人も29%と3割近くを占める。

05年9月の衆院選は「郵政選挙」と呼ばれ、自民党が圧勝しました。この選挙の比例代表では、どの政党に投票しましたか



単位(%)	民主党	自民党	公明党	共産党	社民党	新党大地	覚えていない	投票しなかった・白票を投じた
全体	31	34	5	5	1	4	8	11
F1 性別								
男性	35	31	4	4	1	6	7	10
女性	26	36	6	5	1	3	9	11
F2 年代別								
20代	17	19	1	3	-	1	17	38
30代	23	28	6	6	-	5	14	18
40代	28	37	7	4	2	4	9	9
50代	32	33	6	6	2	8	6	7
60代	37	36	4	6	1	5	5	3
70歳以上	38	41	5	3	2	1	3	3
F3 職業別								
民間企業従事者	28	34	6	3	2	6	10	11
公務員・団体職員	42	23	1	15	1	2	9	6
自営・自由業	24	47	5	3	-	8	3	9
契約社員・アルバイト	23	27	8	3	-	5	11	23
農林漁業	16	45	-	10	-	13	13	3
専業主婦	29	35	7	4	2	3	10	10
無職	41	33	5	5	1	3	5	6
F4 市郡別								
大都市	30	32	7	6	2	2	7	14
中都市	31	32	4	6	1	7	7	12
小都市	37	33	5	2	2	3	8	9
町村	23	40	5	5	1	6	14	5
F5 地域別								
札幌市	30	32	7	6	2	2	7	14
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	32	33	5	4	2	2	11	8
胆振・日高管内	40	32	6	2	2	1	8	10
渡島・桧山管内	33	28	6	7	-	4	12	10
上川・留萌・宗谷管内	31	42	3	4	1	3	6	9
十勝・網走・釧路・根室管内	23	35	4	4	1	14	9	10
F6 選挙区別								
1区	28	34	6	5	2	1	5	16
2区	35	30	5	5	2	2	5	15
3区	33	31	7	5	-	2	9	13
4区	31	33	5	6	3	1	12	7
5区	31	35	6	6	1	1	8	11
6区	29	39	4	5	2	4	7	11
7区	21	33	2	4	2	12	10	15
8区	33	28	6	7	-	4	12	10
9区	40	32	6	2	2	1	8	10
10区	29	35	5	5	2	5	11	7
11区	22	34	5	5	-	18	5	8
12区	27	42	4	4	-	10	9	5
F7 支持政党別								
民主党	55	25	2	2	1	3	6	6
自民党	3	79	1	-	-	4	5	5
公明党	2	6	89	-	-	-	-	4
共産党	3	3	-	85	-	3	3	5
社民党	14	14	-	-	57	-	-	14
新党大地	17	13	-	4	-	42	8	13
支持政党なし	18	30	2	5	2	4	14	24
F8 衆院選投票先別								
民主党	51	29	2	2	1	1	8	5
共産党	10	6	-	66	1	1	7	7
社民党	22	11	4	7	41	4	4	7
新党大地	36	17	-	2	1	30	10	4
自民党	5	80	1	-	-	3	5	5
公明党	4	15	62	-	-	1	10	9
投票しなかった・白票を投じた	5	15	3	1	-	1	10	63
F9 政権支持別								
支持する	41	27	3	5	2	5	8	9
支持しない	6	49	12	4	1	4	9	15

## (6) 自民党投票層の投票行動の変化 (問9)

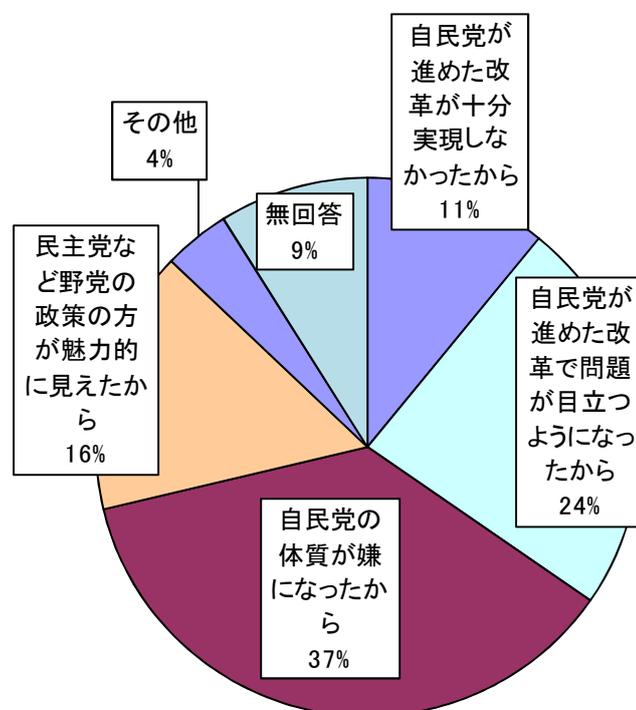
前回選挙で自民党に投票し、今回は違う政党に投票した人に対して、その理由を聞いたところ、最多は「自民党の体質が嫌になったから」の37%で、以下は「自民党が進めた改革で問題が目立つようになったから」の24%、「民主党など野党の政策の方が魅力的に見えたから」の16%と続く。「自民党が進めた改革が十分実現しなかったから」は11%と最も低く、小泉構造改革路線の達成度を引き合いに出す有権者は少ない。

### <クロス集計結果>

- ・「自民党の体質が嫌」は年代が上がるにつれておおむね高くなり、70歳以上では5割近くを占める。
- ・市郡別でみると、改革路線で疲弊した町村では「改革で問題が目立つようになった」が29%と、「自民党の体質が嫌」と同率で最大理由となる。
- ・選挙区別では、6区と12区で「自民党の体質が嫌」が63%と極めて高い。

前回の衆院選は自民党に投票し、今回は違う政党に投票した方にお聞きします。

別の政党に投票した理由は何ですか



全体 (N=257)

単位 (%)	自民党が進めた改革が 十分実現しなかったか ら	自民党が進めた改革で 問題が目立つよう になったから	自民党の体質が嫌に なったから	民主党など野党の政策 の方が魅力的に見えた から
全 体	11	24	37	16
F1 性別				
男性	11	21	39	17
女性	10	26	34	16
F2 年代別				
20代	21	32	11	26
30代	6	15	36	18
40代	16	29	31	15
50代	7	22	38	13
60代	4	24	45	25
70歳以上	16	22	47	3
F3 職業別				
民間企業従事者	7	25	46	13
公務員・団体職員	14	29	21	21
自営・自由業	9	21	42	18
契約社員・アルバイト	18	14	18	18
農林漁業	-	25	25	-
専業主婦	14	24	33	16
無職	6	26	42	16
F4 市郡別				
大都市	13	23	36	15
中都市	8	23	41	16
小都市	10	20	40	16
町村	9	29	29	18
F5 地域別				
札幌市	13	23	36	15
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	7	33	21	23
胆振・日高管内	10	21	38	14
渡島・桧山管内	12	35	24	29
上川・留萌・宗谷管内	12	9	59	15
十勝・網走・釧路・根室管内	7	26	40	9
F6 選挙区別				
1区	12	20	40	12
2区	8	16	44	12
3区	20	36	24	16
4区	6	31	19	25
5区	11	37	22	19
6区	8	13	63	13
7区	13	31	25	-
8区	12	35	24	29
9区	10	21	38	14
10区	10	10	43	29
11区	-	38	31	19
12区	13	-	63	13
F7 支持政党別				
民主党	11	25	36	23
自民党	6	23	26	13
公明党	67	-	33	-
共産党	-	-	100	-
社民党	-	-	-	50
新党大地	33	33	33	-
支持政党なし	9	23	43	9
F8 衆院選投票先別				
民主党	11	26	38	19
共産党	-	50	50	-
社民党	-	33	-	33
新党大地	5	19	52	14
自民党	-	-	-	-
公明党	17	25	42	-
投票しなかった・白票を投じた	10	-	5	5
F9 政権支持別				
支持する	10	24	38	21
支持しない	10	27	33	2

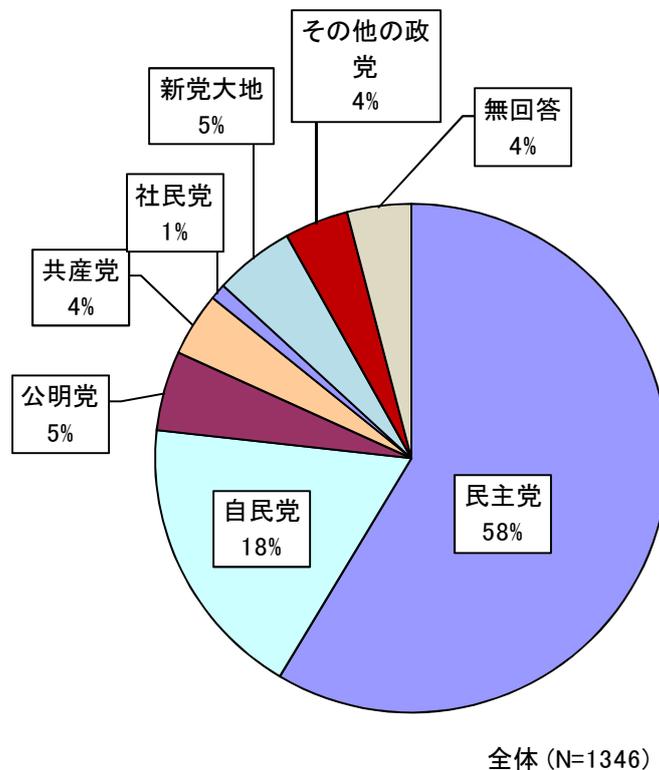
### (7) 10年参院選の投票行動 (問25)

次期参院選の投票先は、「民主党」が58%と「自民党」の3倍以上を誇り、現時点では民主圧勝が予想される。

#### <クロス集計結果>

- ・「民主党」はすべての層でトップをキープし、中でも60代と民間企業従事者ではそれぞれ63%、64%と比較的高い。
- ・「自民党」は農林漁業で29%と高いが、それでも「民主党」が10ポイント上回る。
- ・「民主党」は同党支持層の93%を固め、無党派層から51%の支持を集めている。一方、「自民党」は同党支持層の80%を固めているが、「民主党」へ投票する流出票が12%と、民主党の2%に比べて見劣りが目立つ。

来年夏には参議院選挙がありますが今の時点で、どの政党に投票しようと思いますか



単位(%)	民主党	自民党	公明党	共産党	社民党	新党大地
全 体	58	18	5	4	1	5
F1 性別						
男性	60	20	4	3	1	6
女性	56	18	5	4	2	5
F2 年代別						
20代	53	17	3	3	1	8
30代	58	13	5	6	-	10
40代	58	13	6	3	1	8
50代	57	18	5	4	2	6
60代	63	21	4	4	1	2
70歳以上	56	27	4	2	2	1
F3 職業別						
民間企業従事者	64	16	4	3	2	5
公務員・団体職員	57	12	3	12	1	10
自営・自由業	52	26	6	3	1	5
契約社員・アルバイト	55	17	6	2	1	8
農林漁業	39	29	-	6	3	13
専業主婦	58	15	6	3	2	7
無職	61	21	5	3	1	2
F4 市郡別						
大都市	59	16	5	4	2	5
中都市	59	18	4	5	1	6
小都市	59	21	5	3	1	5
町村	54	22	4	3	2	7
F5 地域別						
札幌市	59	16	5	4	2	5
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	57	21	4	4	1	7
胆振・日高管内	69	13	5	1	1	3
渡島・桧山管内	59	17	4	5	2	4
上川・留萌・宗谷管内	57	24	5	6	1	3
十勝・網走・釧路・根室管内	52	21	4	3	1	10
F6 選挙区別						
1区	54	19	6	3	2	5
2区	65	14	4	3	2	5
3区	58	17	6	3	2	5
4区	58	16	2	6	1	4
5区	56	23	5	4	1	6
6区	55	24	6	7	1	3
7区	47	20	4	6	3	10
8区	59	17	4	5	2	4
9区	69	13	5	1	1	3
10区	55	19	5	4	2	7
11区	51	22	4	1	-	11
12区	63	22	3	1	-	6
F7 支持政党別						
民主党	93	2	-	1	-	3
自民党	12	80	2	-	-	2
公明党	2	2	94	-	-	-
共産党	5	-	-	92	-	-
社民党	14	7	-	-	71	7
新党大地	8	-	-	-	-	92
支持政党なし	51	14	2	3	2	7
F8 衆院選投票先別						
民主党	89	4	-	1	1	1
共産党	29	4	-	60	1	1
社民党	48	-	-	-	41	-
新党大地	50	6	-	1	-	41
自民党	16	73	1	-	-	2
公明党	17	7	70	-	-	2
投票しなかった・白票を投じた	39	19	2	1	1	5
F9 政権支持別						
支持する	80	5	1	4	2	6
支持しない	8	51	13	4	1	6

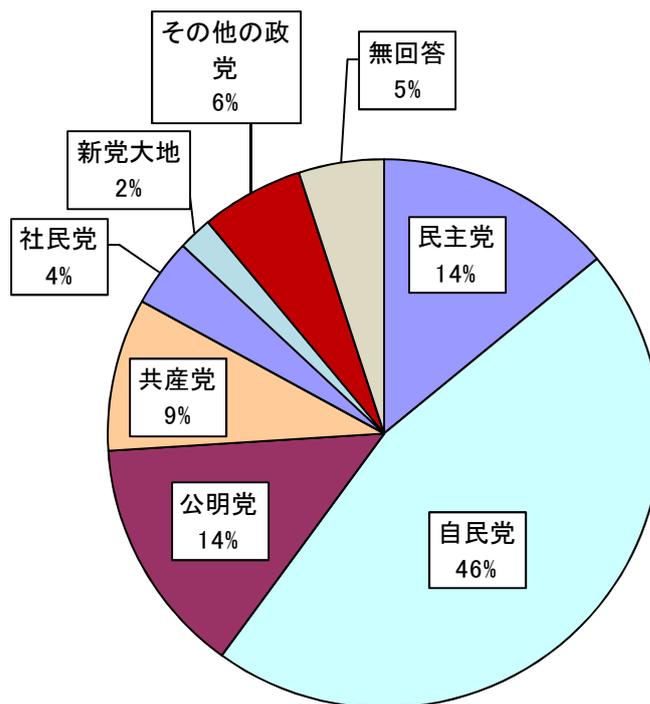
## (8) 10年参院選における有権者と政党との距離 (問26)

参院選で勝ってほしくない政党は「自民党」が46%と最多で、以下は同率で「民主党」と「公明党」の14%、「共産党」の9%と続く。

### <クロス集計結果>

- ・「自民党」は農林漁業を除くすべての層で首位に立ち、自民へのアレルギーが依然として根強い。中でも60代、民間企業従事者と公務員・団体職員などでは5割を超える。
- ・支持政党別でみると、民主党支持層や無党派層などは「自民党」を、自民党支持層は「民主党」を、公明党支持層は「共産党」を指摘する人が最も多い。

次の参院選で勝ってほしくないのは、どの政党ですか



全体 (N=1346)

単位(%)	民主党	自民党	公明党	共産党	社民党	新党大地
全 体	14	46	14	9	4	2
F1 性別						
男性	15	47	16	8	5	2
女性	13	45	13	10	3	3
F2 年代別						
20代	10	44	19	3	3	2
30代	11	48	10	10	8	1
40代	13	49	12	11	2	3
50代	15	45	16	10	4	2
60代	15	50	14	8	4	3
70歳以上	16	38	15	11	4	4
F3 職業別						
民間企業従事者	14	50	11	10	4	2
公務員・団体職員	10	55	19	8	5	-
自営・自由業	16	42	16	8	8	2
契約社員・アルバイト	11	44	20	10	5	2
農林漁業	32	26	16	3	3	-
専業主婦	10	46	11	12	2	3
無職	16	44	16	8	3	4
F4 市郡別						
大都市	10	49	16	9	5	2
中都市	14	44	16	10	4	2
小都市	15	48	14	7	4	2
町村	19	41	10	11	3	3
F5 地域別						
札幌市	10	49	16	9	5	2
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	15	43	16	9	3	3
胆振・日高管内	14	44	19	7	2	2
渡島・桧山管内	15	45	14	9	3	2
上川・留萌・宗谷管内	16	45	11	11	4	2
十勝・網走・釧路・根室管内	17	45	10	10	4	3
F6 選挙区別						
1区	6	46	14	10	8	2
2区	12	51	19	7	2	1
3区	12	48	13	9	6	4
4区	14	40	16	11	4	5
5区	17	49	13	8	3	2
6区	16	45	12	11	4	2
7区	20	51	8	8	3	2
8区	15	45	14	9	3	2
9区	14	44	19	7	2	2
10区	13	42	18	7	3	3
11区	12	41	12	16	3	3
12区	15	46	11	8	5	3
F7 支持政党別						
民主党	4	65	15	5	2	1
自民党	45	9	9	18	6	5
公明党	23	13	4	40	6	-
共産党	8	69	15	3	-	3
社民党	-	43	29	14	7	7
新党大地	8	50	13	13	4	4
支持政党なし	11	41	17	6	6	2
F8 衆院選投票先別						
民主党	5	62	16	6	2	2
共産党	12	56	18	1	-	1
社民党	11	52	19	7	-	7
新党大地	5	59	20	5	7	2
自民党	41	9	10	18	8	4
公明党	19	30	2	27	4	4
投票しなかった・白票を投じた	13	35	13	7	6	1
F9 政権支持別						
支持する	4	60	16	7	2	2
支持しない	36	15	11	13	7	4

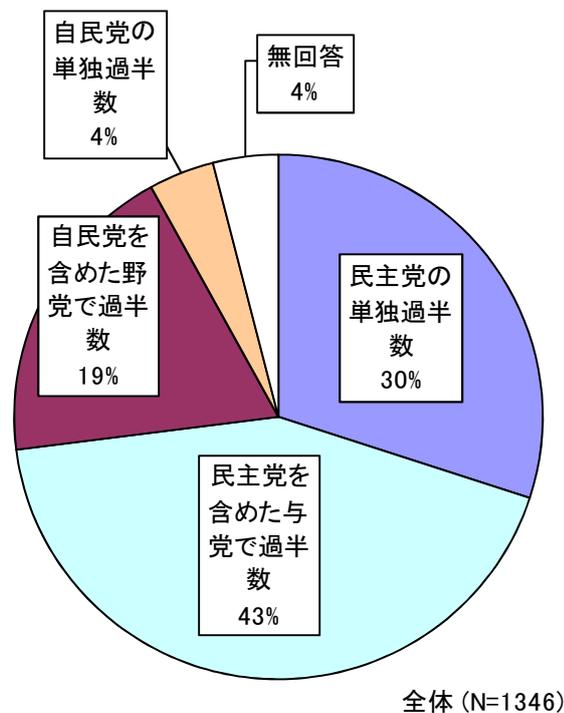
## (9) 10年参院選後に望む政権の枠組み (問27)

次期参院選で民主党へ投票する人が圧倒的に多かったが、選挙後の政権の枠組みになるとトーンダウンし、「民主党を含めた与党で過半数」が43%と「民主党の単独過半数」の30%を上回るなど、現状維持を望む声が強い。一方、自民党を含む野党がキャティングボードを握ることを期待する人は23%と少ない。

### <クロス集計結果>

- ・年代別で見ると、「民主党の単独過半数」は60代で38%と「民主党を含めた与党で過半数」の37%を僅差でリードする。
- ・職業別で見ると、「民主党を含めた与党で過半数」は公務員・団体職員で55%と高い。一方、「民主党の単独過半数」は自営・自由業で最も期待されている。
- ・民主党支持層では「民主党の単独過半数」が最多だが、「民主党を含めた与党で過半数」との差は僅か1ポイントで、意外にも現状維持の声が強い。
- ・自民党支持層は当然ながら、どんな形であれ過半数を望む人が多数を占めるが、与党の過半数を願う人が2割も存在している。

8月の衆院選で民主党は、衆議院で単独過半数になりました。しかし、参議院では、社民党や国民新党を合わせて過半数を維持しています。次の参院選では、どのような結果を期待しますか



単位(%)	民主党の単独過半数	民主党を含めた与党 で過半数	自民党を含めた野党 で過半数	自民党の単独過半数
全 体	30	43	19	4
F1 性別				
男性	33	41	19	4
女性	28	45	19	3
F2 年代別				
20代	24	48	19	5
30代	29	49	18	1
40代	22	55	17	3
50代	33	39	20	5
60代	38	37	18	4
70歳以上	32	35	23	5
F3 職業別				
民間企業従事者	31	44	20	3
公務員・団体職員	27	55	14	2
自営・自由業	36	34	20	7
契約社員・アルバイト	28	46	20	4
農林漁業	16	42	35	6
専業主婦	28	48	16	3
無職	34	38	19	3
F4 市郡別				
大都市	32	45	16	3
中都市	30	45	16	5
小都市	29	40	23	4
町村	28	42	23	3
F5 地域別				
札幌市	32	45	16	3
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	30	36	25	4
胆振・日高管内	32	42	22	-
渡島・桧山管内	26	51	16	3
上川・留萌・宗谷管内	23	49	20	4
十勝・網走・釧路・根室管内	32	40	17	7
F6 選挙区別				
1区	34	42	16	2
2区	34	46	14	4
3区	28	46	21	2
4区	29	42	20	2
5区	30	39	23	6
6区	23	50	20	4
7区	30	42	20	4
8区	26	51	16	3
9区	32	42	22	-
10区	31	37	22	4
11区	28	43	14	8
12区	39	35	18	6
F7 支持政党別				
民主党	48	47	2	-
自民党	8	12	62	15
公明党	6	25	53	4
共産党	21	69	5	-
社民党	7	79	14	-
新党大地	29	54	13	4
支持政党なし	21	54	17	3
F8 衆院選投票先別				
民主党	43	50	3	1
共産党	22	65	9	-
社民党	22	70	4	-
新党大地	43	47	7	3
自民党	8	16	61	12
公明党	10	37	42	2
投票しなかった・白票を投じた	19	42	24	4
F9 政権支持別				
支持する	41	52	5	-
支持しない	7	23	52	12

## 2. マニフェストと政治マスメディア

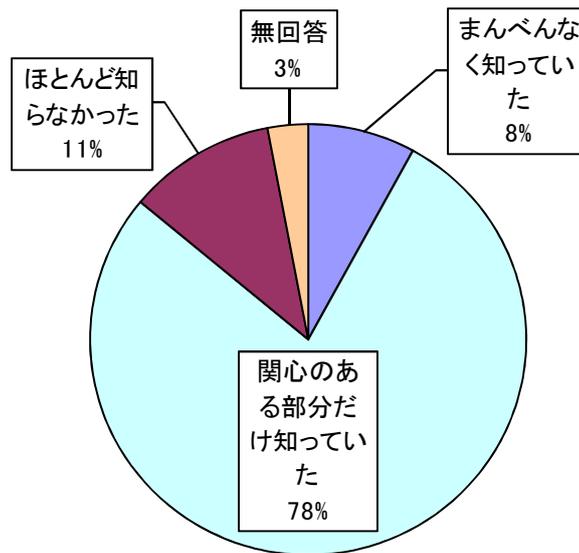
### (1) マニフェストの認知度 (問5)

「関心がある部分だけ知っていた」が78%と最多で、「まんべんなく知っていた」の8%と合わせた認知度は86%となり、マニフェストは道民の9割近くに浸透していた。

#### <クロス集計結果>

- ・認知度は各年代を通じて高く、20代でも77%に達する。
- ・「まんべんなく知っていた」は公明党支持層で21%と高い。

各党のマニフェストは知っていましたか



全体 (N=1346)

単位(%)	まんべんなく知っていた	関心のある部分だけ知っていた	ほとんど知らなかった
全体	8	78	11
F1 性別			
男性	9	78	11
女性	8	78	12
F2 年代別			
20代	8	69	21
30代	8	81	10
40代	6	83	10
50代	8	80	11
60代	8	78	10
70歳以上	13	73	9
F3 職業別			
民間企業従事者	9	79	11
公務員・団体職員	5	84	9
自営・自由業	11	79	9
契約社員・アルバイト	7	68	22
農林漁業	3	94	-
専業主婦	7	83	9
無職	10	74	11
F4 市郡別			
大都市	10	76	11
中都市	8	77	12
小都市	8	80	9
町村	5	79	10
F5 地域別			
札幌市	10	76	11
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	10	75	10
胆振・日高管内	6	81	11
渡島・桧山管内	4	83	13
上川・留萌・宗谷管内	8	79	12
十勝・網走・釧路・根室管内	7	79	10
F6 選挙区別			
1区	10	74	11
2区	10	80	8
3区	9	74	14
4区	12	68	16
5区	9	80	7
6区	8	80	11
7区	7	78	13
8区	4	83	13
9区	6	81	11
10区	9	76	12
11区	7	77	11
12区	9	81	9
F7 支持政党別			
民主党	7	81	8
自民党	12	75	11
公明党	21	72	8
共産党	8	90	3
社民党	21	71	-
新党大地	4	88	8
支持政党なし	6	75	18
F8 衆院選投票先別			
民主党	7	80	9
共産党	12	84	4
社民党	11	81	4
新党大地	3	88	7
自民党	12	75	12
公明党	17	69	14
投票しなかった・白票を投じた	7	68	24
F9 政権支持別			
支持する	7	80	10
支持しない	12	75	12

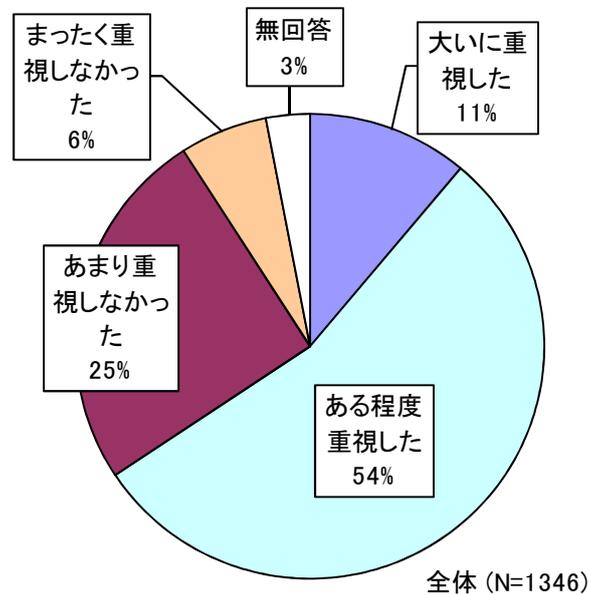
## (2) マニフェストと投票行動との関係 (問6)

投票の判断材料としてマニフェストをどの程度重視したのかを聞いたところ、「大いに重視した」の11%と「ある程度重視した」の54%を合わせた『重視した』の割合は65%である。一方、「あまり重視しなかった」の25%と「まったく重視しなかった」の6%を合わせた『重視しなかった』は31%となった。

### <クロス集計結果>

- ・『重視した』は20代で56%と低いものの、70歳以上では72%と全体値を超える。専業主婦でも69%と7割近くを占める。
- ・支持政党別では、各支持層で温度差がある。『重視した』は公明党支持層で83%と高く、民主党支持層でも77%と全体値を大きく上回る。しかし、自民党支持層や新党大地支持層では6割を下回り、『重視しなかった』が4割近くを占める。さらに無党派層では『重視しなかった』が43%と高い。

投票する際、マニフェストはどの程度重視しましたか



単位(%)	大いに重視	ある程度重視	あまり重視しなかった	まったく重視しなかった	重視した	重視しなかった
全 体	11	54	25	6	65	31
F1 性別						
男性	11	54	26	6	65	32
女性	11	54	24	7	65	31
F2 年代別						
20代	8	48	21	16	56	37
30代	12	54	22	9	66	31
40代	8	60	27	3	68	30
50代	11	51	28	7	62	35
60代	11	55	25	5	66	30
70歳以上	17	55	22	2	72	24
F3 職業別						
民間企業従事者	10	52	27	7	62	34
公務員・団体職員	7	57	33	2	64	35
自営・自由業	13	53	27	5	66	32
契約社員・アルバイト	7	53	21	13	60	34
農林漁業	10	45	35	10	55	45
専業主婦	10	59	25	4	69	29
無職	15	52	24	5	67	29
F4 市郡別						
大都市	12	57	22	6	68	28
中都市	11	51	27	7	62	34
小都市	8	60	25	5	68	30
町村	14	49	27	8	63	35
F5 地域別						
札幌市	12	57	22	6	69	28
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	8	57	27	5	65	32
胆振・日高管内	16	48	26	8	64	34
渡島・桧山管内	6	58	27	6	64	33
上川・留萌・宗谷管内	10	53	27	8	63	35
十勝・網走・釧路・根室管内	14	49	26	7	63	33
F6 選挙区別						
1区	10	55	23	6	66	29
2区	13	61	18	4	74	22
3区	10	56	24	6	66	30
4区	16	39	33	11	55	44
5区	7	64	23	3	71	26
6区	11	54	25	8	65	33
7区	9	46	31	7	55	38
8区	6	58	27	6	64	33
9区	16	48	26	8	64	34
10区	7	59	25	7	66	32
11区	22	43	23	8	65	31
12区	10	58	23	6	68	29
F7 支持政党別						
民主党	15	62	20	3	77	23
自民党	8	51	33	5	59	38
公明党	25	58	13	4	83	17
共産党	18	56	26	-	74	26
社民党	21	64	7	-	85	7
新党大地	4	54	25	13	58	38
支持政党なし	5	44	30	13	49	43
F8 衆院選投票先別						
民主党	14	59	23	3	73	26
共産党	18	56	26	-	74	26
社民党	15	70	11	-	85	11
新党大地	6	67	23	5	73	28
自民党	8	51	34	7	59	41
公明党	17	53	25	5	70	30
投票しなかった・白票を投じた	4	26	20	27	30	47
F9 政権支持別						
支持する	13	59	22	4	72	26
支持しない	8	45	33	11	53	44

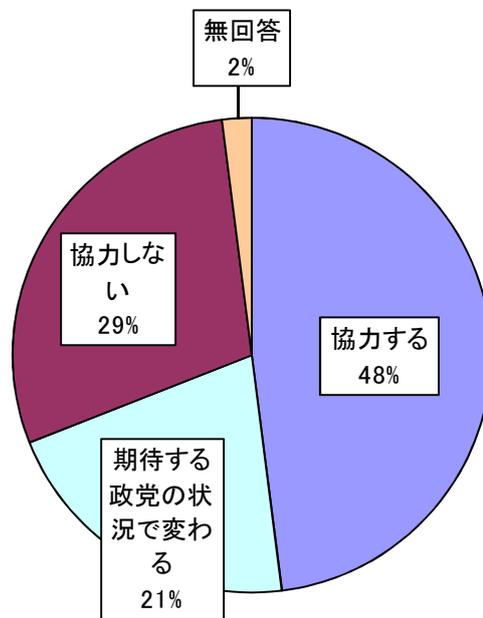
### (3) 選挙調査と有権者との関係 (問7)

選挙戦前後から各種マスコミはさまざまな調査を行うが、その対応を聞いたところ、「協力する」が48%で最多となり、以下は「協力しない」の29%、「期待する政党の状況で変わる」の21%と続き、有権者の約3割が拒否していることが分かった。

#### <クロス集計結果>

- ・「協力する」は59%の自営・自由業を筆頭に、50～60代、民間企業従事者と公務員・団体職員で5割に達する。
- ・「協力しない」は30代で37%と高く、農林漁業でも35%をマークする。
- ・支持政党別で見ると、「協力する」は共産党支持層で59%と最高値を示す。「協力しない」は新党大地支持層と無党派層で、「期待する政党の状況で変わる」は公明党支持層で比較的高い。

選挙期間中、マスコミは電話や投票所で投票行動を探る調査を行います。仮に、あなたが調査を依頼された場合、協力しますか



全体 (N=1346)

単位(%)	協力する	期待する政 党の状況で 変わる	協力しない
全 体	48	21	29
F1 性別			
男性	55	19	25
女性	42	24	33
F2 年代別			
20代	45	22	31
30代	47	16	37
40代	47	22	30
50代	50	20	29
60代	50	20	27
70歳以上	46	27	23
F3 職業別			
民間企業従事者	54	19	26
公務員・団体職員	52	16	31
自営・自由業	59	20	22
契約社員・アルバイト	40	27	33
農林漁業	48	16	35
専業主婦	45	21	33
無職	42	25	30
F4 市郡別			
大都市	50	19	29
中都市	48	20	31
小都市	47	26	25
町村	44	22	32
F5 地域別			
札幌市	50	19	29
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	46	21	30
胆振・日高管内	44	28	27
渡島・桧山管内	48	20	32
上川・留萌・宗谷管内	47	21	31
十勝・網走・釧路・根室管内	48	23	27
F6 選挙区別			
1区	45	18	34
2区	50	18	30
3区	54	20	25
4区	47	16	35
5区	48	22	27
6区	49	22	28
7区	40	26	33
8区	48	20	32
9区	44	28	27
10区	46	22	30
11区	47	26	24
12区	54	18	28
F7 支持政党別			
民主党	49	25	25
自民党	49	19	30
公明党	49	25	26
共産党	59	15	26
社民党	79	7	14
新党大地	50	13	38
支持政党なし	44	18	37
F8 衆院選投票先別			
民主党	49	22	28
共産党	51	19	29
社民党	63	7	30
新党大地	55	15	29
自民党	48	19	32
公明党	49	27	23
投票しなかった・白票を投じた	34	27	36
F9 政権支持別			
支持する	50	21	28
支持しない	45	21	34

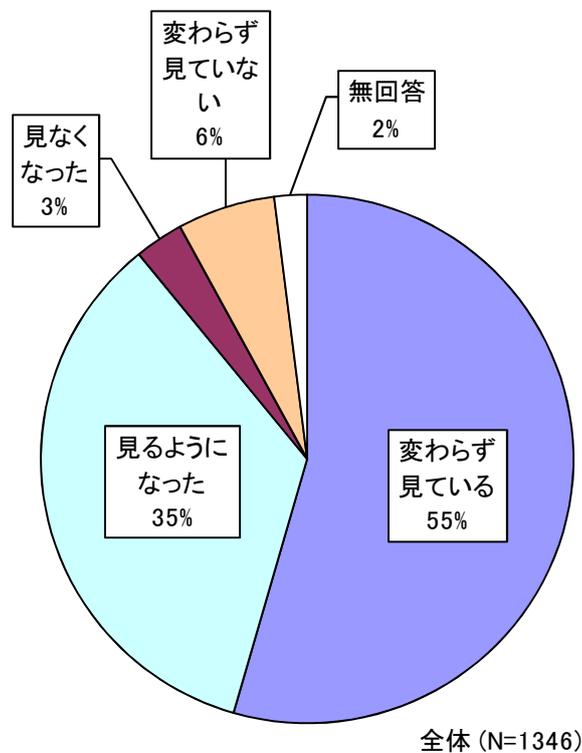
#### (4) 政治マスメディアへの接触度 (問 14)

政権交代後の政治マスメディアに対する接触が変化したかを聞いたところ、「変わらず見ている」が55%と最も高く、以下は「見るようになった」の35%、「変わらず見ていない」の6%、「見なくなった」の3%となる。

##### <クロス集計結果>

- ・性別で見ると、「見るようになった」は男性が30%だが、女性では39%と高い。
- ・「見るようになった」は若年層で最も高く、中でも30代では46%と各年代で最高値を示す。
- ・「見るようになった」は専業主婦で46%と高く、「変わらず見ている」をリードする。
- ・支持政党別で見ると、「変わらず見ている」は自民党支持層で67%と高率を示す。一方、民主党支持層は50%と自民党支持層に比べて17ポイントも低く、無党派層の53%より低い。また、「見なくなった」は公明党支持層で11%と全体値を大きく上回る。

民主党政権になって、新聞やテレビなどの政治ニュースを見るようになりましたか



単位(%)	変わらず見ている	見るようになった	見なくなった	変わらず見えない
全 体	55	35	3	6
F1 性別				
男性	62	30	2	5
女性	49	39	3	7
F2 年代別				
20代	36	40	3	21
30代	43	46	2	10
40代	55	35	2	7
50代	61	32	3	4
60代	61	30	4	1
70歳以上	62	30	2	2
F3 職業別				
民間企業従事者	54	35	2	7
公務員・団体職員	64	33	1	2
自営・自由業	64	30	3	2
契約社員・アルバイト	51	34	2	13
農林漁業	74	26	-	-
専業主婦	45	46	2	6
無職	61	29	3	4
F4 市郡別				
大都市	51	39	3	6
中都市	56	34	2	7
小都市	59	31	3	5
町村	56	33	2	7
F5 地域別				
札幌市	51	39	3	6
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	57	33	2	5
胆振・日高管内	56	36	2	5
渡島・桧山管内	53	36	3	9
上川・留萌・宗谷管内	57	32	3	6
十勝・網走・釧路・根室管内	60	29	3	7
F6 選挙区別				
1区	58	31	3	5
2区	48	42	2	5
3区	46	43	2	7
4区	55	35	2	6
5区	56	35	2	6
6区	57	33	2	6
7区	61	29	3	7
8区	53	36	3	9
9区	56	36	2	5
10区	56	32	4	6
11区	53	32	3	8
12区	66	25	1	6
F7 支持政党別				
民主党	50	46	-	3
自民党	67	21	8	1
公明党	60	23	11	6
共産党	62	26	3	10
社民党	79	21	-	-
新党大地	63	29	4	4
支持政党なし	53	30	2	14
F8 衆院選投票先別				
民主党	53	41	1	4
共産党	62	26	1	10
社民党	67	33	-	-
新党大地	59	36	1	3
自民党	64	25	7	3
公明党	57	31	6	5
その他の政党	44	22	-	33
投票しなかった・白票を投じた	38	31	3	25
F9 政権支持別				
支持する	54	41	-	4
支持しない	58	21	9	11

### 3. 自民党政治への評価・再生策

#### (1) 自民党政治への賛否 (問 10)

##### ①肯定的見方

4年間の自民党政治を振り返り、8つの意見に対して肯定的な見方が高い項目を順に並べてみると、トップは「医療、年金など社会保障が危うくなった」の80%である。以下は「権力にしがみつけばかりで、国民不在の政治になった」の77%、「官僚の特権を許し、予算の無駄づかいが広がった」の74%と続く。

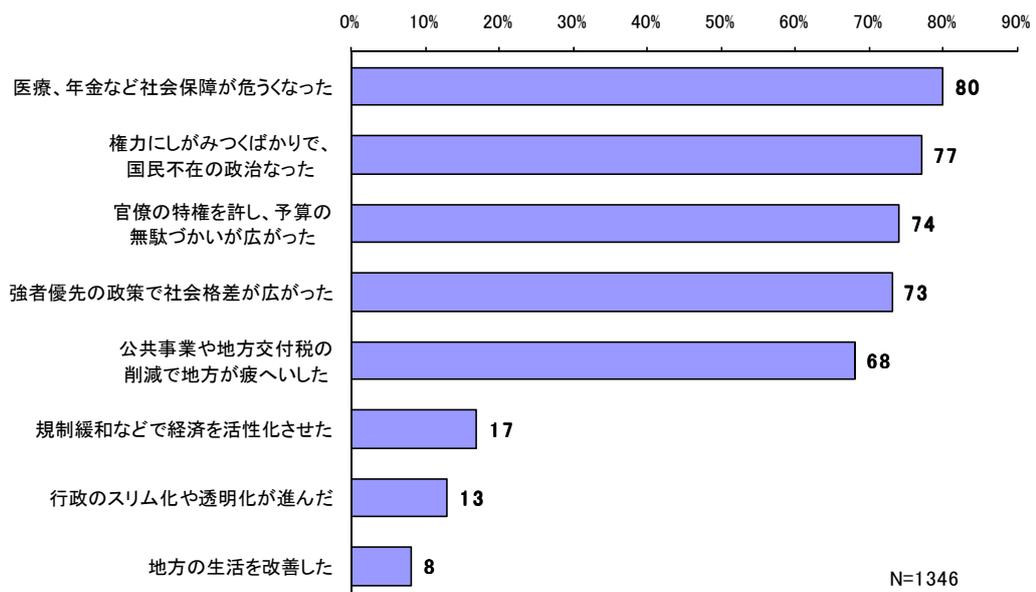
1位から5位までは自民党政治に対するマイナスの評価項目が独占し、下位には軒並みプラスの評価項目が入る。

##### <クロス集計結果>

- ・「社会保障が危うくなった」に対する賛成の割合は、すべての年代でトップになる。自民、公明両党支持層でも最高値を示し、自民党支持層の68%が賛同している。
- ・全体で4位の「社会格差が広がった」は契約社員・アルバイトの非正規労働者で79%と2位に入る。

05年からの4年間の自民党政治を振り返り、下記の意見についてどう思いますか。

賛成の場合は( )に○を、反対の場合は( )に×を記入してください



単位(%)	医療、年金など社会保障が危うくなった	権力にしがみつきばかりで、国民不在の政治になった	官僚の特権を許し、予算の無駄づかいが広がった	強者優先の政策で社会格差が広がった	公共事業や地方交付税の削減で地方が疲へいた	規制緩和などで経済を活性化させた	行政のスリム化や透明化が進んだ	地方の生活を改善した
全体	80	77	74	73	68	17	13	8
F1 性別								
男性	83	81	77	79	73	19	13	7
女性	78	73	72	67	63	14	12	8
F2 年代別								
20代	77	65	71	62	62	22	13	15
30代	78	77	72	74	68	21	19	10
40代	85	82	75	81	74	19	13	5
50代	87	85	81	80	73	15	11	6
60代	82	78	78	74	72	13	12	4
70歳以上	69	66	63	59	53	13	11	10
F3 職業別								
民間企業従事者	84	80	77	76	72	18	12	6
公務員・団体職員	85	78	74	76	69	17	15	6
自営・自由業	83	87	77	80	79	14	13	3
契約社員・アルバイト	83	72	72	79	69	25	20	15
農林漁業	90	77	65	65	74	19	10	6
専業主婦	81	81	80	73	67	14	12	8
無職	74	69	68	64	59	14	10	9
F4 市郡別								
大都市	80	77	73	74	68	18	13	8
中都市	85	83	79	76	70	15	12	4
小都市	78	72	72	69	64	16	13	9
町村	77	73	70	70	69	18	13	9
F5 地域別								
札幌市	80	77	73	74	68	18	13	8
札幌市を除く石狩管内	77	71	74	70	65	18	18	9
胆振・日高管内	77	76	72	66	66	15	15	7
渡島・桧山管内	85	83	68	73	66	25	11	7
上川・留萌・宗谷管内	85	84	78	76	69	12	8	6
十勝・網走・釧路・根室管内	81	77	77	75	72	13	9	6
F6 選挙区別								
1区	77	75	72	68	65	11	13	6
2区	87	76	75	78	66	21	11	6
3区	79	79	75	70	73	23	13	13
4区	74	76	69	77	71	16	21	8
5区	77	70	73	73	59	20	14	9
6区	85	83	79	75	68	10	9	6
7区	81	81	80	78	78	10	7	4
8区	85	83	68	73	66	25	11	7
9区	77	76	72	66	66	15	15	7
10区	79	73	77	70	72	15	17	9
11区	80	73	74	73	72	16	15	4
12区	86	78	78	75	66	15	5	8
F7 支持政党別								
民主党	85	83	81	76	69	14	10	6
自民党	68	58	57	59	61	30	25	14
公明党	58	57	57	57	55	26	17	15
共産党	92	85	79	79	67	5	5	-
社民党	79	86	71	71	57	7	7	-
新党大地	88	88	92	83	83	21	17	13
支持政党なし	83	81	75	79	73	14	10	6
F8 衆院選投票先別								
民主党	85	84	81	79	71	13	9	5
共産党	91	84	79	84	66	7	7	1
社民党	85	89	74	78	63	7	4	-
新党大地	90	89	85	87	83	11	11	2
自民党	65	55	53	57	60	28	23	14
公明党	67	64	65	60	57	28	15	15
投票しなかった・白票を投じた	82	76	74	63	63	22	16	13
F9 政権支持別								
支持する	86	85	82	80	72	14	10	6
支持しない	72	64	62	62	64	24	19	12

## (2) 自民党政治への賛否 (問 10)

### ②否定的見方

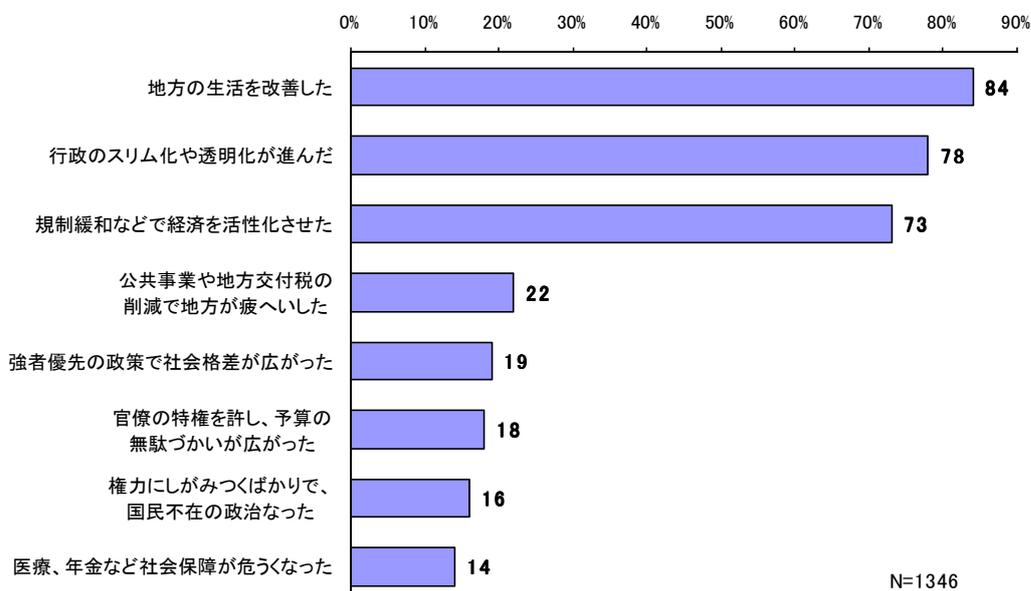
4年間の自民党政治を振り返り、8つの意見に対して否定的な見方が高い項目を順に並べてみると、トップは「地方の生活を改善した」の84%。以下は「行政のスリム化や透明化が進んだ」の78%、「規制緩和などで経済を活性化させた」の73%と続き、ここでは自民党政治に対してプラスの評価項目が上位を占める。

### <クロス集計結果>

- ・「地方の生活を改善した」は各年代を通じて最も高い。とりわけ40～50代と公務員・団体職員、自営・自由業では9割に達する。また、自民、公明両党支持層でも最多項目となり、7割以上を占める。
- ・各職業の中で「行政のスリム化や透明化が進んだ」が最も高いのは、当事者である公務員・団体職員の84%である。

05年からの4年間の自民党政治を振り返り、下記の意見についてどう思いますか。

賛成の場合は( )に○を、反対の場合は( )に×を記入してください



単位(%)	地方の生活を改善した	行政のスリム化や透明化が進んだ	規制緩和などで経済を活性化させた	公共事業や地方交付税の削減で地方が疲へいた	強者優先の政策で社会格差が広がった	官僚の特権を許し、予算の無駄づかいが広がった	権力にしがみつきばかりで、国民不在の政治になった	医療、年金など社会保障が危うくなった
全体	84	78	73	22	19	18	16	14
F1 性別								
男性	88	81	75	21	16	18	15	13
女性	80	75	72	23	21	18	16	14
F2 年代別								
20代	81	83	73	32	34	25	32	20
30代	85	77	73	27	20	23	19	18
40代	91	80	75	20	14	20	14	12
50代	90	85	78	21	16	15	11	11
60代	83	75	75	16	14	12	11	11
70歳以上	67	66	63	24	21	18	16	15
F3 職業別								
民間企業従事者	89	83	76	21	18	17	16	12
公務員・団体職員	90	84	78	27	19	21	21	12
自営・自由業	92	81	77	16	14	18	9	15
契約社員・アルバイト	80	74	69	26	15	22	23	15
農林漁業	84	77	65	16	26	26	13	3
専業主婦	85	78	76	22	21	14	12	15
無職	73	71	69	23	19	19	18	14
F4 市郡別								
大都市	85	80	75	23	20	20	17	16
中都市	89	80	76	21	17	16	13	10
小都市	80	75	70	23	20	17	17	14
町村	78	73	70	20	17	20	17	14
F5 地域別								
札幌市	85	80	75	23	20	20	17	16
札幌市を除く石狩管内	79	68	68	21	19	15	19	14
胆振・日高管内	83	77	76	27	23	19	17	16
渡島・桧山管内	88	83	68	28	22	28	15	13
上川・留萌・宗谷管内	84	80	77	20	12	13	8	8
十勝・網走・釧路・根室管内	84	82	76	17	15	16	15	12
F6 選挙区別								
1区	84	77	76	24	22	17	14	18
2区	89	83	73	26	19	20	21	11
3区	81	80	72	19	24	20	15	17
4区	80	65	74	16	15	21	17	16
5区	82	74	68	30	18	20	23	18
6区	83	79	78	22	13	13	8	8
7区	87	87	81	15	13	17	15	13
8区	88	83	68	28	22	28	15	13
9区	83	77	76	27	23	19	17	16
10区	78	70	72	14	19	10	14	10
11区	86	76	73	16	16	19	19	14
12区	81	82	72	20	14	11	10	6
F7 支持政党別								
民主党	86	81	78	21	18	13	12	10
自民党	72	62	57	26	28	30	29	23
公明党	70	66	55	23	28	26	25	28
共産党	95	90	87	31	18	18	13	8
社民党	86	79	79	29	14	14	7	14
新党大地	88	79	79	17	17	8	13	12
支持政党なし	89	84	78	21	14	19	0	13
F8 衆院選投票先別								
民主党	88	82	79	20	14	13	11	10
共産党	96	90	88	29	15	18	13	7
社民党	93	85	81	15	11	7	4	11
新党大地	98	88	88	16	12	14	10	10
自民党	70	63	57	27	28	34	31	26
公明党	74	68	57	25	26	21	21	22
投票しなかった・白票を投じた	79	75	67	27	28	19	17	12
F9 政権支持別								
支持する	88	84	79	22	15	14	12	10
支持しない	77	69	65	25	28	28	25	22

### (3) 党再生に向けて (問 11)

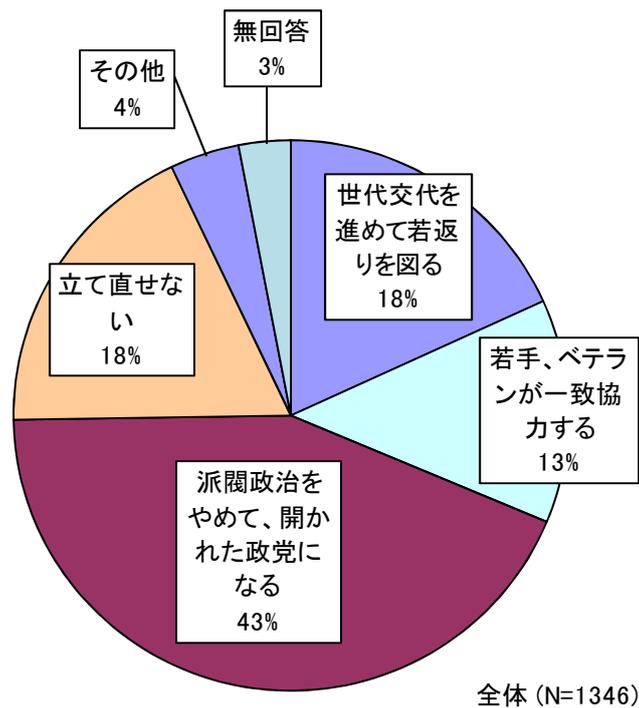
#### ①党内改革

自民党を立て直すための手段としては、「派閥政治をやめて、開かれた政党になる」が43%と道民の4割以上が指摘している。以下は「世代交代を進めて若返りを図る」の18%、「若手、ベテランが一致協力する」の13%と続く。しかし、「立て直せない」という厳しい意見も2割近く存在する。

#### <クロス集計結果>

- ・自民党支持層では「派閥政治の解消」の43%と最多になるが、「若手、ベテランが一致協力」という挙党一致体制を望む声も強く、全体値の2倍の26%と高い。
- ・「立て直せない」は共産党支持層で38%と高率で、無党派層でも23%と比較的高い。

自民党を立て直すためには、何が必要だと思いますか



単位(%)	世代交代を進めて若返りを図る	若手、ベテランが一致協力する	派閥政治をやめて、開かれた政党になる	立て直せない
全 体	18	13	43	18
F1 性別				
男性	19	12	42	22
女性	18	15	44	15
F2 年代別				
20代	17	17	38	17
30代	18	14	41	21
40代	18	13	45	19
50代	19	11	48	19
60代	20	14	42	18
70歳以上	19	14	42	13
F3 職業別				
民間企業従事者	22	11	44	17
公務員・団体職員	16	9	47	21
自営・自由業	16	9	49	20
契約社員・アルバイト	15	18	38	22
農林漁業	13	19	45	16
専業主婦	18	14	47	17
無職	18	15	38	19
F4 市郡別				
大都市	20	12	43	19
中都市	18	14	44	20
小都市	16	16	43	16
町村	20	14	41	17
F5 地域別				
札幌市	20	12	43	19
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	17	15	41	15
胆振・日高管内	10	17	48	19
渡島・桧山管内	18	13	42	23
上川・留萌・宗谷管内	18	15	47	15
十勝・網走・釧路・根室管内	22	12	40	20
F6 選挙区別				
1区	20	11	46	15
2区	20	15	40	23
3区	18	9	45	20
4区	16	14	41	21
5区	20	16	43	11
6区	20	15	46	14
7区	17	15	40	24
8区	18	13	42	23
9区	10	17	48	19
10区	17	14	42	17
11区	30	11	39	11
12区	20	9	42	23
F7 支持政党別				
民主党	18	9	47	20
自民党	24	26	43	2
公明党	13	26	47	6
共産党	10	8	31	38
社民党	7	-	57	29
新党大地	17	8	38	38
支持政党なし	18	13	38	23
F8 衆院選投票先別				
民主党	19	10	46	20
共産党	12	4	34	38
社民党	7	4	52	33
新党大地	17	8	41	28
自民党	22	24	43	3
公明党	17	23	44	6
投票しなかった・白票を投じた	17	18	33	24
F9 政権支持別				
支持する	18	10	46	22
支持しない	21	24	38	11

#### (4) 党再生に向けて (問 12)

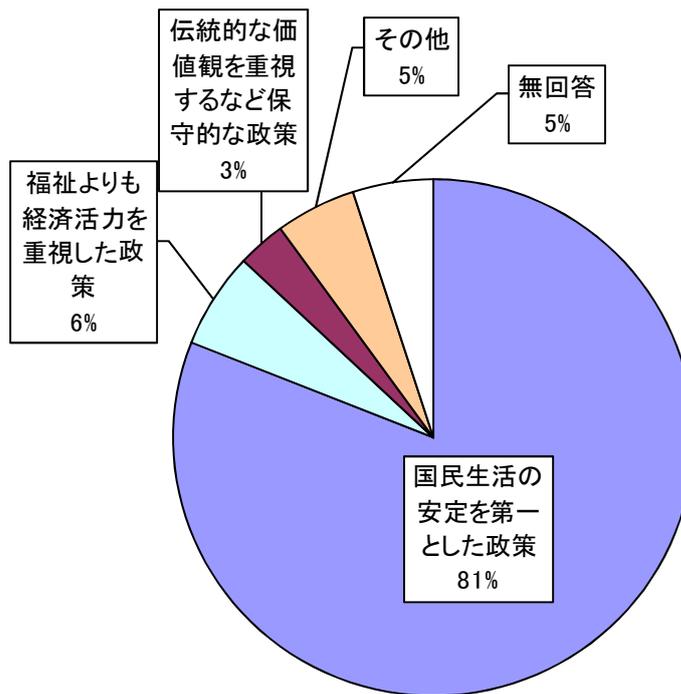
##### ②政策

自民党を立て直すための政策としては、「国民生活の安定を第一とした政策」が81%と極めて高く、民主党が掲げた政策を踏襲すべきとの意見が道民の多数を占める。

##### <クロス集計結果>

- ・自民党支持層では、「国民生活が第一」の72%が最多となる。「経済重視策」は14%と全体値を上回り、ほかの政党に比べて高い。また、一部自民党議員が政策の柱に据えようとしている「伝統的な価値観を重視するなど保守的な政策」は6%と低く、支持層とかい離している。

自民党が再生するには、どのような政策が必要だと思いますか



全体 (N=1346)

単位(%)	国民生活の安定を第一とした政策	福祉よりも経済活力を重視した政策	伝統的な価値観を重視するなど保守的な政策
全 体	81	6	3
F1 性別			
男性	80	6	4
女性	82	6	2
F2 年代別			
20代	84	6	3
30代	79	6	3
40代	85	6	2
50代	84	6	3
60代	77	7	3
70歳以上	76	7	3
F3 職業別			
民間企業従事者	84	6	3
公務員・団体職員	84	2	1
自営・自由業	75	6	5
契約社員・アルバイト	86	6	4
農林漁業	74	13	3
専業主婦	84	6	1
無職	76	7	4
F4 市郡別			
大都市	81	6	3
中都市	82	6	2
小都市	78	9	3
町村	82	5	3
F5 地域別			
札幌市	81	6	3
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	76	10	3
胆振・日高管内	84	6	2
渡島・桧山管内	87	3	4
上川・留萌・宗谷管内	82	6	3
十勝・網走・釧路・根室管内	81	5	3
F6 選挙区別			
1区	77	10	2
2区	76	7	4
3区	83	2	5
4区	82	8	1
5区	80	8	4
6区	83	5	3
7区	84	2	3
8区	87	3	4
9区	84	6	2
10区	79	9	1
11区	77	8	4
12区	80	6	1
F7 支持政党別			
民主党	86	5	1
自民党	72	14	6
公明党	87	4	6
共産党	82	-	-
社民党	71	7	14
新党大地	88	8	-
支持政党なし	80	5	3
F8 衆院選投票先別			
民主党	85	4	2
共産党	84	1	-
社民党	74	4	11
新党大地	86	3	2
自民党	72	16	5
公明党	88	4	5
投票しなかった・白票を投じた	77	5	1
F9 政権支持別			
支持する	85	4	2
支持しない	75	12	5

## 4. 民主党政権への評価・課題

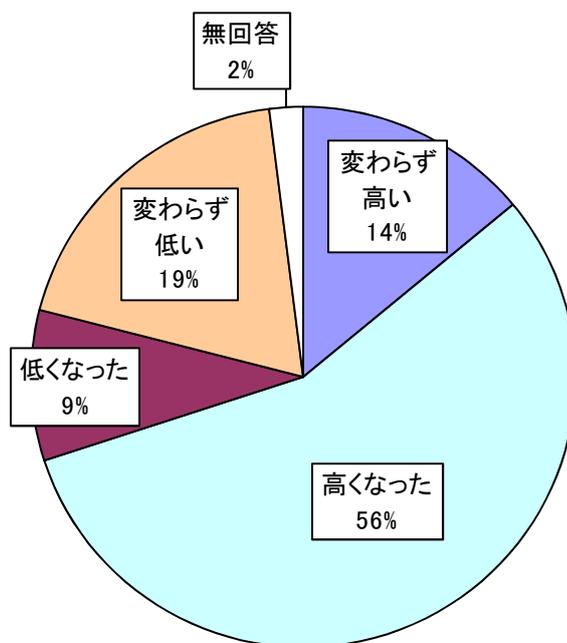
### (1) 政権交代後の政治に対する期待度 (問 15)

「高くなった」が 56%と最多で、政権交代が政治に対する期待感を高める役割を果たしている。以下は「変わらず低い」の 19%、「変わらず高い」の 14%、「低くなった」の 9%である。

#### <クロス集計結果>

- ・「高くなった」は各年代で5割以上を占めている。
- ・職業別でみると、契約社員・アルバイトの非正規労働者、公務員・団体職員と専業主婦で6割に達している。
- ・民主、自民両党支持層は対照的な傾向を示し、民主党支持層は「高くなった」が 73%だが、自民党支持層は 33%と低く、代わって「低くなった」が 27%と全体値を大きく超える。さらに公明党支持層では 38%と4割近くを占める。
- ・投票先別でみると、民主、新党大地両党へ投票した人で「高くなった」は7割前後を占める。

民主党政権になって、政治に対する期待は変わりましたか



全体 (N=1346)

単位(%)	変わらず高い	高くなった	低くなった	変わらず低い
全 体	14	56	9	19
F1 性別				
男性	18	56	8	17
女性	10	57	11	20
F2 年代別				
20代	5	55	9	29
30代	7	57	10	25
40代	11	58	12	18
50代	14	59	8	18
60代	20	56	9	12
70歳以上	19	52	9	16
F3 職業別				
民間企業従事者	13	57	9	19
公務員・団体職員	10	60	7	21
自営・自由業	18	54	9	18
契約社員・アルバイト	7	61	12	19
農林漁業	26	39	19	16
専業主婦	7	63	10	18
無職	20	52	8	17
F4 市郡別				
大都市	14	56	8	20
中都市	16	55	9	19
小都市	12	59	11	15
町村	12	57	10	19
F5 地域別				
札幌市	14	56	8	20
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	13	54	11	18
胆振・日高管内	19	56	6	19
渡島・桧山管内	13	55	11	22
上川・留萌・宗谷管内	13	57	11	18
十勝・網走・釧路・根室管内	13	61	10	16
F6 選挙区別				
1区	17	50	6	24
2区	13	57	9	18
3区	10	57	9	20
4区	15	48	13	21
5区	14	59	9	15
6区	14	56	11	19
7区	10	65	11	13
8区	13	55	11	22
9区	19	56	6	19
10区	10	58	9	18
11区	14	54	9	20
12区	15	62	9	14
F7 支持政党別				
民主党	18	73	2	6
自民党	15	33	27	23
公明党	8	36	38	19
共産党	13	56	5	23
社民党	-	71	14	14
新党大地	4	75	4	17
支持政党なし	8	47	8	35
F8 衆院選投票先別				
民主党	16	69	2	11
共産党	13	60	6	19
社民党	19	63	7	11
新党大地	11	73	5	11
自民党	17	30	24	27
公明党	5	49	28	16
投票しなかった・白票を投じた	4	33	12	47
F9 政権支持別				
支持する	15	74	1	10
支持しない	10	19	29	40

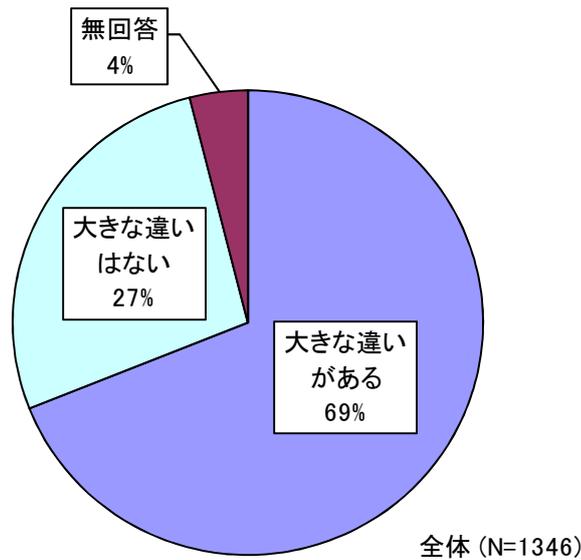
## (2) 政策転換の実感度 (問 16)

民主、自民両党の政策の違いについて聞いたところ、「大きな違いがある」が69%と道民の約7割が政権交代に伴う政策転換を実感している。

### <クロス集計結果>

- ・各職業の中で「大きな違いがある」の割合が最も高いのは、公務員・団体職員の77%である。
- ・「大きな違いがある」はすべての政党支持層で半数以上を占め、自民党支持層でも54%と「大きな違いはない」の40%を大きく上回る。
- ・投票先別でみると、「大きな違いがある」は民主党投票層や新党大地投票層で8割近くを占める。

今までの自民党の政策といまの民主党の政策に、大きな違いがあると思いますか



単位(%)	大きな違いがある	大きな違いはない
全 体	69	27
F1 性別		
男性	70	27
女性	68	27
F2 年代別		
20代	66	30
30代	70	27
40代	72	25
50代	69	28
60代	72	24
70歳以上	63	31
F3 職業別		
民間企業従事者	67	30
公務員・団体職員	77	22
自営・自由業	73	27
契約社員・アルバイト	70	28
農林漁業	65	32
専業主婦	70	27
無職	69	26
F4 市郡別		
大都市	70	26
中都市	71	27
小都市	70	27
町村	64	30
F5 地域別		
札幌市	70	26
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	66	28
胆振・日高管内	68	29
渡島・桧山管内	77	20
上川・留萌・宗谷管内	63	34
十勝・網走・釧路・根室管内	72	25
F6 選挙区別		
1区	73	22
2区	73	24
3区	69	28
4区	59	34
5区	70	27
6区	64	34
7区	70	28
8区	77	20
9区	68	29
10区	62	33
11区	72	26
12区	76	20
F7 支持政党別		
民主党	81	16
自民党	54	40
公明党	66	32
共産党	64	33
社民党	86	14
新党大地	75	25
支持政党なし	61	35
F8 衆院選投票先別		
民主党	76	21
共産党	69	31
社民党	81	19
新党大地	78	21
自民党	53	42
公明党	70	27
投票しなかった・白票を投じた	56	36
F9 政権支持別		
支持する	80	19
支持しない	48	48

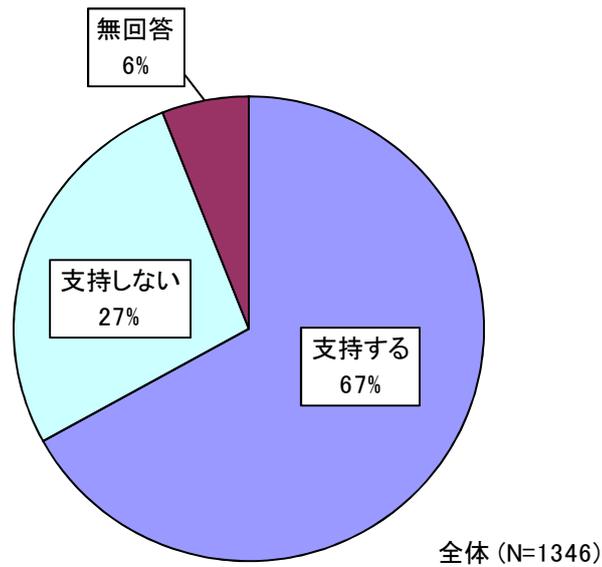
### (3) 政権支持率 (問 17)

民主党政権に対する支持は 67%と高率で、不支持の 27%を 40 ポイントも上回る。

#### <クロス集計結果>

- ・各職業の中で支持が最高値を示すのは、政策転換の実感度が強い公務員・団体職員の 74%で、契約社員・アルバイトの非正規労働者でも 71%と高い。
- ・選挙区別で見ると、支持は鳩山首相の選出区の 9 区で 77%と最高値をマークする。
- ・民主党支持層の支持は 95%と高率で、共産党支持層でも 69%と意外に高く、無党派層では 59%と全体値を若干下回る。逆に不支持は自民、公明両党支持層で高く、それぞれ 70%、74%である。

あなたは、民主党政権を支持しますか



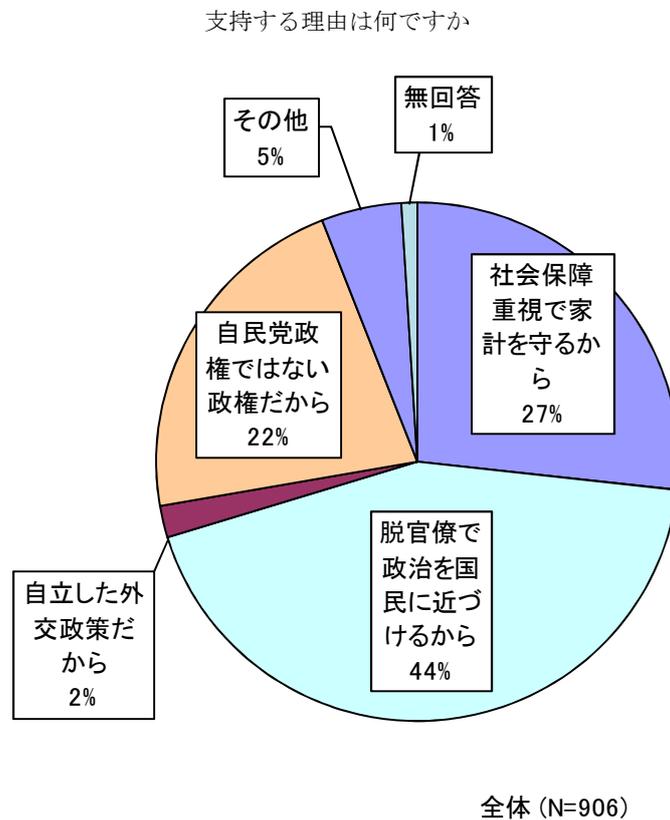
単位(%)	支持する	支持しない
全 体	67	27
F1 性別		
男性	71	24
女性	64	29
F2 年代別		
20代	66	29
30代	68	27
40代	68	30
50代	69	26
60代	69	25
70歳以上	63	25
F3 職業別		
民間企業従事者	69	27
公務員・団体職員	74	20
自営・自由業	66	28
契約社員・アルバイト	71	25
農林漁業	52	42
専業主婦	68	28
無職	66	26
F4 市郡別		
大都市	66	27
中都市	70	25
小都市	68	27
町村	64	30
F5 地域別		
札幌市	66	27
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	63	30
胆振・日高管内	77	19
渡島・檜山管内	67	28
上川・留萌・宗谷管内	72	24
十勝・網走・釧路・根室管内	66	29
F6 選挙区別		
1区	64	29
2区	69	24
3区	63	31
4区	66	27
5区	65	30
6区	71	24
7区	67	28
8区	67	28
9区	77	19
10区	64	29
11区	64	32
12区	70	23
F7 支持政党別		
民主党	95	2
自民党	22	70
公明党	19	74
共産党	69	28
社民党	71	21
新党大地	75	25
支持政党なし	59	34
F8 衆院選投票先別		
民主党	88	7
共産党	74	24
社民党	78	15
新党大地	83	15
自民党	25	68
公明党	37	58
投票しなかった・白票を投じた	46	44

#### (4) 支持理由 (問 18)

民主党政権に対する支持層にその理由を聞いたところ、最多は「脱官僚で政治を国民に近づけるから」の 44%で、以下は「社会保障重視で家計を守るから」の 27%、「自民党政権ではない政権だから」の 22%、「自立した外交政策だから」の 2%となる。

#### <クロス集計結果>

- ・「脱官僚」は大半の層で最も高く、中でも 60 代や自営・自由業では 5 割を超える。
- ・「社会保障重視」は 20 代で 35%と最多となり、契約社員・アルバイトの非正規労働者や専業主婦でも 32%と比較的高い。



単位(%)	社会保障重視で家計を守るから	脱官僚で政治を国民に近づけるから	自立した外交政策だから	自民党政権ではない政権だから
全 体	27	44	2	22
F1 性別				
男性	24	48	1	23
女性	29	41	2	22
F2 年代別				
20代	35	33	2	21
30代	30	43	2	18
40代	28	41	1	23
50代	25	43	2	26
60代	19	52	2	24
70歳以上	29	48	2	18
F3 職業別				
民間企業従事者	23	46	1	21
公務員・団体職員	28	34	3	27
自営・自由業	18	54	-	26
契約社員・アルバイト	32	43	-	17
農林漁業	19	38	6	31
専業主婦	32	38	3	21
無職	25	48	1	22
F4 市郡別				
大都市	24	45	2	23
中都市	28	42	2	23
小都市	25	47	2	20
町村	30	43	1	22
F5 地域別				
札幌市	24	45	2	23
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	26	47	1	21
胆振・日高管内	33	39	3	21
渡島・桧山管内	29	43	1	23
上川・留萌・宗谷管内	26	45	2	22
十勝・網走・釧路・根室管内	28	42	2	24
F6 選挙区別				
1区	20	41	1	26
2区	29	42	2	22
3区	28	48	-	20
4区	35	30	2	30
5区	22	52	2	16
6区	23	46	2	22
7区	32	30	3	30
8区	29	43	1	23
9区	33	39	3	21
10区	18	57	-	22
11区	26	49	-	21
12区	29	49	2	16
F7 支持政党別				
民主党	30	45	2	20
自民党	31	37	-	20
公明党	30	40	-	10
共産党	26	44	7	19
社民党	20	60	10	10
新党大地	-	72	-	28
支持政党なし	20	39	1	30
F8 衆院選投票先別				
民主党	27	44	1	23
共産党	26	48	6	16
社民党	29	52	5	10
新党大地	12	55	1	26
自民党	33	33	2	18
公明党	27	43	3	13
投票しなかった・白票を投じた	39	31	-	24

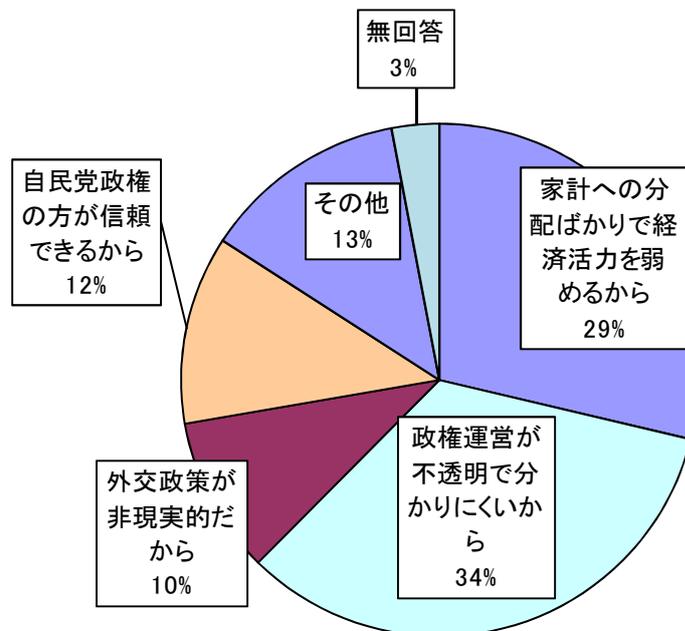
## (5) 不支持理由 (問 19)

民主党政権に対する不支持層にその理由を聞いたところ、初めての政権運営を危惧してか、最多は「政権運営が不透明で分かりにくいから」の34%となる。以下は「家計への分配ばかりで経済活力を弱めるから」の29%、「自民党政権のほうが信頼できるから」の12%、「外交政策が非現実的だから」の10%となる。

### <クロス集計結果>

- ・年代別で見ると、「政権運営が不透明」は30代と60代を除く各層で最多となり、特に70歳以上では47%と半数近くを占める。一方、30代と60代では「経済活力を弱める」を指摘する人が最も多い。
- ・各職業によって不支持の理由は異なり、契約社員・アルバイトの非正規労働者などは「政権運営が不透明」が、自営・自由業や農林漁業などは「経済活力を弱める」がそれぞれ最も高い。
- ・支持政党別で見ると、自民党支持層では「自民党政権のほうが信頼できる」が全体値の約2倍と高いものの、理由としては3番目と低い。

支持しない理由は何ですか



全体 (N=363)

単位(%)	家計への分配ばかりで 経済活力を弱めるから	政権運営が不透明で 分かりにくいから	外交政策が非現実的 だから	自民党政権の方が信 頼できるから
全 体	29	34	10	12
F1 性別				
男性	30	30	11	11
女性	28	37	9	12
F2 年代別				
20代	27	37	10	2
30代	38	24	6	6
40代	29	35	5	9
50代	29	35	11	8
60代	35	28	14	19
70歳以上	15	47	11	23
F3 職業別				
民間企業従事者	36	33	7	8
公務員・団体職員	35	24	6	12
自営・自由業	47	22	6	11
契約社員・アルバイト	15	48	15	7
農林漁業	38	38	8	8
専業主婦	33	30	7	12
無職	16	41	15	19
F4 市郡別				
大都市	32	31	10	10
中都市	30	35	5	16
小都市	16	35	14	12
町村	37	35	11	8
F5 地域別				
札幌市	32	31	10	10
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	23	37	14	12
胆振・日高管内	17	35	9	4
渡島・桧山管内	29	29	9	18
上川・留萌・宗谷管内	34	34	8	13
十勝・網走・釧路・根室管内	32	36	6	14
F6 選挙区別				
1区	28	19	17	11
2区	41	34	3	9
3区	30	40	10	5
4区	38	35	8	4
5区	14	40	17	17
6区	34	28	9	16
7区	32	24	-	16
8区	29	29	9	18
9区	17	35	9	4
10区	29	35	10	13
11区	46	38	8	4
12区	11	56	11	22
F7 支持政党別				
民主党	44	44	-	-
自民党	27	29	12	23
公明党	21	49	10	10
共産党	55	27	-	-
社民党	33	33	-	-
新党大地	17	33	17	-
支持政党なし	32	34	8	2
F8 衆院選投票先別				
民主党	35	35	4	2
共産党	38	38	-	-
社民党	25	50	-	-
新党大地	22	39	17	-
自民党	28	28	14	20
公明党	23	51	9	9
投票しなかった・白票を投じた	32	31	5	7

## (6) 政策評価 (問 20)

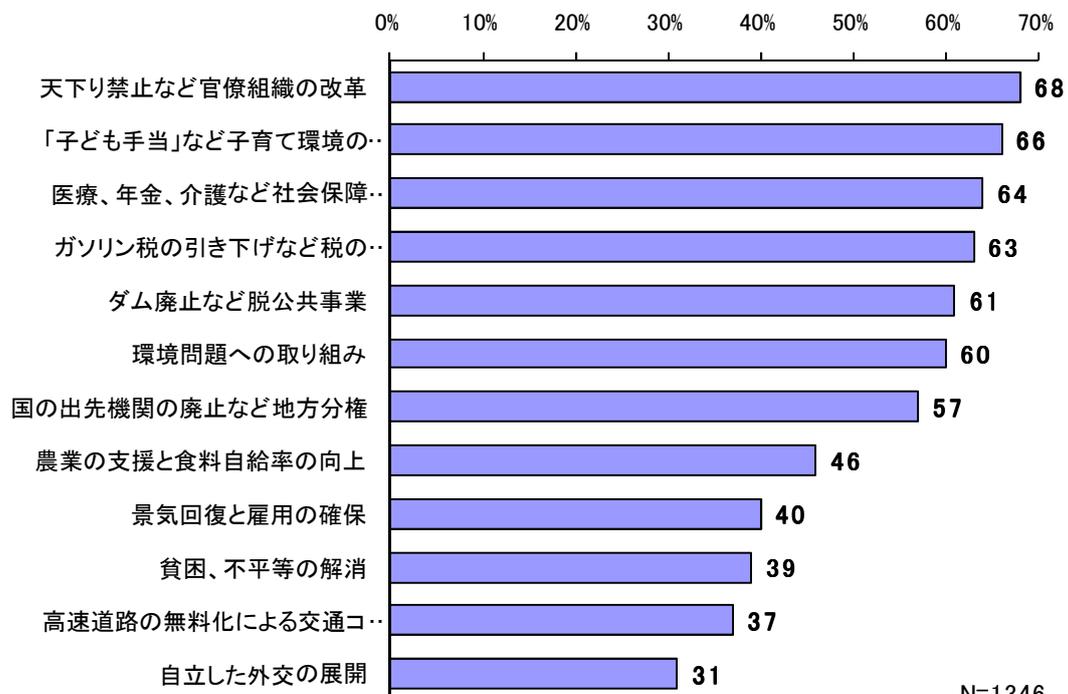
### ①期待する政策

民主党が示した 12 の政策について、期待できるものを高い順に並べてみると、最多は「天下り禁止など官僚組織の改革」の 68%で、以下は「『子ども手当』など子育て環境の充実」の 66%、「医療、年金、介護など社会保障の充実」の 64%と続き、ベスト 3 には民主党が掲げた重点政策が入る。また、期待度が 50%を超えたのは 7 つの政策である。

### <クロス集計結果>

- ・「官僚組織の改革」は改革の対象者となる公務員・団体職員で 71%と高く、民主党の政策の中で最も期待を寄せる政策になっている。また、民主党支持層、民主党投票層や民主党支持層でも期待度 NO1 の政策であり、それぞれで 8 割前後をマークする。
- ・「子育て環境の充実」は、小さい子供がいる 30 代で 73%と高く、各年代で最高値を示す。また、自民党支持層が最も期待する政策である。
- ・「社会保障の充実」は 60 代で 70%と高く、民主党支持層が 2 番目に期待する政策である。

下記の民主党の政策について、期待できるものは ( ) に○を、  
期待できないものには ( ) に×を記入してください



N=1346

単位 (%)	官僚組織の 改革	子育て環境 の充実	社会保障の 充実	税の見直し	脱公共事業	環境問題	地方分権	農業支援と自 給率向上	景気回復と雇 用確保	貧困、不平 等の解消	交通コスト削 減	自立した外交 展開
全 体	68	66	64	63	61	60	57	46	40	39	37	31
F1 性別												
男性	71	69	69	68	65	61	61	45	42	43	40	31
女性	65	63	59	59	58	58	53	47	38	36	34	31
F2 年代別												
20代	52	62	56	59	48	46	43	44	41	31	47	31
30代	69	73	58	63	57	53	53	35	41	31	39	30
40代	71	63	62	64	63	57	63	47	40	38	38	32
50代	74	65	65	65	69	65	67	45	35	39	39	27
60代	68	71	70	65	64	66	58	52	41	47	36	32
70歳以上	65	60	66	61	55	60	47	51	42	43	27	35
F3 職業別												
民間企業従事者	72	65	63	65	62	56	63	41	36	37	39	28
公務員・団体職員	71	57	66	57	71	63	56	38	40	47	41	31
自営・自由業	71	76	67	68	66	61	63	48	35	43	41	33
契約社員・アルバイト	66	65	68	66	64	61	53	61	51	41	38	28
農林漁業	68	68	58	65	55	58	48	42	32	39	45	26
専業主婦	66	71	61	64	58	62	56	45	42	35	39	33
無職	68	62	67	60	60	62	50	50	40	43	28	33
F4 市郡別												
大都市	67	67	62	61	59	57	58	46	39	39	38	32
中都市	71	66	64	66	66	66	60	46	36	39	37	34
小都市	66	69	68	65	60	57	54	48	42	40	38	27
町村	66	60	62	62	59	57	51	45	44	41	34	30
F5 地域別												
札幌市	67	67	62	61	59	57	58	46	39	39	38	32
札幌市を除く石狩管内	70	65	65	60	59	60	54	48	40	40	36	29
胆振・日高管内	68	64	66	73	63	63	59	48	44	46	37	40
渡島・釧路管内	73	73	63	68	66	63	51	47	36	42	42	35
上川・留萌・宗谷管内	65	66	70	69	65	59	58	50	41	42	43	30
十勝・網走・釧路・根室管内	67	63	62	60	60	60	57	40	39	33	29	26
F6 選挙区別												
1区	70	59	62	58	58	56	63	45	35	34	30	34
2区	66	68	56	64	63	56	58	47	43	40	40	24
3区	67	71	62	58	55	54	54	46	42	38	42	36
4区	63	63	71	59	58	65	54	45	41	43	33	33
5区	72	70	66	61	62	59	55	45	36	38	41	30
6区	67	67	72	71	65	60	59	50	39	43	44	29
7区	66	61	64	63	61	56	53	44	43	36	33	26
8区	73	73	63	68	66	63	51	47	36	42	42	35
9区	68	64	66	73	63	63	59	48	44	46	37	40
10区	66	62	60	62	58	58	55	51	43	41	37	29
11区	66	65	58	53	58	62	59	36	34	24	30	27
12区	66	63	65	65	63	65	57	43	42	41	27	25
F7 支持政党別												
民主党	81	78	80	74	74	70	64	61	56	52	46	41
自民党	48	51	47	49	33	50	48	28	21	26	21	19
公明党	42	49	40	43	47	43	40	34	21	26	32	17
共産党	74	69	56	69	72	59	46	51	41	38	36	33
社民党	79	79	86	57	64	71	71	57	57	57	57	43
新党大地	75	63	58	75	54	63	54	58	50	54	38	46
支持政党なし	63	59	55	58	59	51	55	36	28	29	34	24
F8 衆院選投票先別												
民主党	78	73	74	72	73	68	64	55	51	47	41	38
共産党	74	68	65	60	69	60	53	44	37	43	35	26
社民党	70	74	85	56	74	59	74	44	52	41	52	30
新党大地	81	71	73	78	68	69	69	52	43	45	35	37
自民党	50	50	46	48	37	46	45	30	18	22	24	18
公明党	49	62	47	51	49	47	44	40	28	30	37	30
投票しなかった・白票を投じた	51	61	51	53	42	46	41	33	29	36	40	22
F9 政権支持別												
支持する	80	77	77	74	72	68	65	58	52	49	44	40
支持しない	41	43	36	42	37	42	40	23	13	18	24	13

## (7) 政策評価 (問 20)

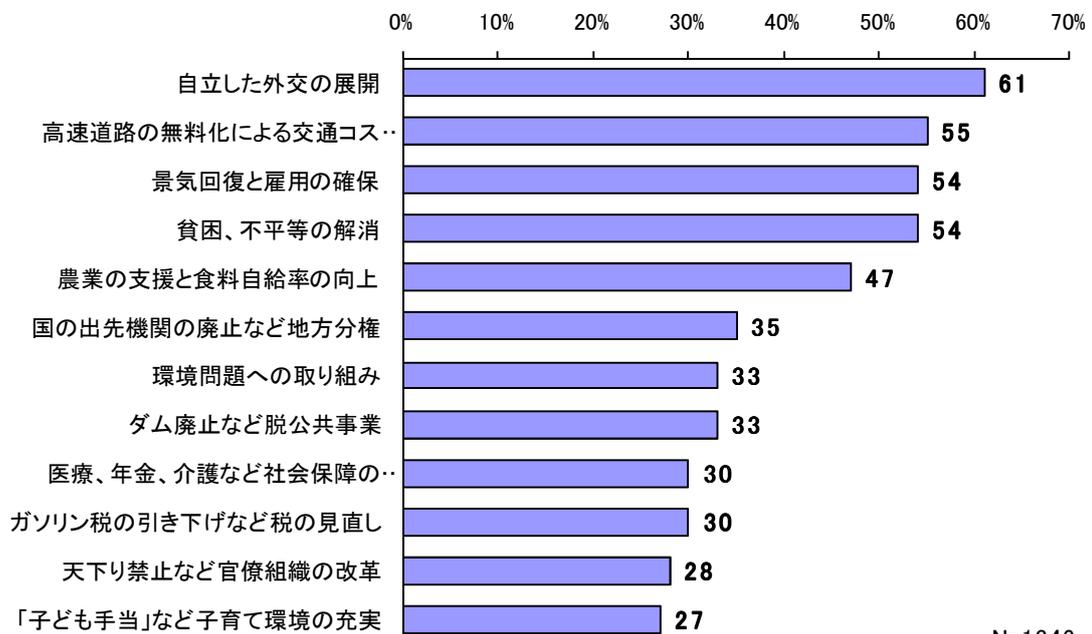
### ②期待できない政策

民主党が示した 12 の政策について、期待できないものを高い順に並べてみると、最多は普天間基地移設問題に象徴される「自立した外交の展開」の 61%である。以下は各種世論調査で懐疑的な見方が強い「高速道路の無料化による交通コスト削減」の 55%、「景気回復と雇用の確保」と「貧困、不平等の解消」は同率の 54%となる。

### <クロス集計結果>

- ・「自立した外交」は、民主党支持層でも懐疑的な見方が唯一半数を占める。
- ・「高速道路の無料化」も民主党支持層で 47%と肯定的な見方をする人を上回り、「自立した外交の展開」と同様に期待度が低い。

下記の民主党の政策について、期待できるものは ( ) に○を、  
期待できないものには ( ) に×を記入してください



N=1346

単位 (%)	自立した外 交展開	交通コスト削 減	貧困、不平 等の解消	景気回復と 雇用確保	農業支援と 自給率向上	地方分権	環境問題	脱公共事業	税の見直し	社会保障の 充実	官僚組織の 改革	子育て環境 の充実
全 体	61	55	54	54	47	35	33	33	30	30	28	27
F1 性別												
男性	64	56	53	54	51	35	35	32	29	28	27	27
女性	58	55	55	54	43	36	31	34	31	32	28	27
F2 年代別												
20代	65	51	65	56	54	53	52	50	39	42	46	34
30代	66	59	66	57	61	44	43	39	35	39	29	24
40代	65	60	59	57	51	34	40	34	32	36	26	34
50代	70	56	58	61	52	30	31	27	31	32	24	33
60代	55	50	41	48	36	29	21	26	23	18	25	17
70歳以上	44	57	40	43	33	34	23	31	23	22	24	24
F3 職業別												
民間企業従事者	68	57	59	59	55	32	40	34	30	33	25	30
公務員・団体職員	67	59	52	59	59	42	36	28	43	34	28	43
自営・自由業	64	53	52	61	46	31	36	31	27	27	27	20
契約社員・アルバイト	66	59	54	47	38	41	35	33	32	30	34	31
農林漁業	68	48	58	65	55	42	32	42	29	35	29	26
専業主婦	60	53	59	53	48	37	30	37	29	33	29	23
無職	49	57	43	47	36	33	24	28	27	23	23	24
F4 市郡別												
大都市	61	54	55	56	48	34	36	36	32	33	28	27
中都市	60	58	56	59	49	34	29	31	29	31	27	29
小都市	63	54	52	49	42	37	34	32	26	25	28	23
町村	59	55	51	48	46	39	33	33	30	30	27	30
F5 地域別												
札幌市	61	54	55	56	48	34	36	36	32	33	28	27
札幌市を除く石狩管内	61	54	52	50	42	36	31	35	31	27	25	26
胆振・日高管内	50	56	47	47	43	32	28	29	19	30	27	27
渡島・桧山管内	61	53	55	59	48	46	32	30	30	34	26	22
上川・留萌・宗谷管内	61	52	52	54	44	35	34	28	27	25	32	27
十勝・網走・釧路・根室管内	66	62	60	56	52	35	32	33	31	30	28	32
F6 選挙区別												
1区	58	58	56	58	48	26	35	34	34	31	22	30
2区	69	53	52	53	44	34	37	31	27	37	31	27
3区	58	53	58	54	51	38	39	40	35	33	28	23
4区	61	60	51	53	47	40	28	36	34	25	31	31
5区	61	54	55	57	49	39	35	34	34	29	25	25
6区	62	52	50	56	43	32	33	29	26	23	29	26
7区	67	62	60	55	51	43	38	35	30	31	31	35
8区	61	53	55	59	48	46	32	30	30	34	26	22
9区	50	56	47	47	43	32	28	29	19	30	27	27
10区	61	51	50	46	38	33	32	37	28	28	28	28
11区	65	58	68	58	54	30	27	34	36	34	26	30
12区	63	62	52	52	49	32	27	27	24	25	28	28
F7 支持政党別												
民主党	50	47	41	37	32	28	23	21	20	16	15	15
自民党	73	71	66	72	64	45	41	60	43	46	47	43
公明党	70	53	66	72	55	45	45	42	40	47	49	40
共産党	62	62	59	51	44	49	36	26	26	36	23	26
社民党	50	36	36	43	36	21	21	21	29	7	14	21
新党大地	50	54	46	50	38	46	33	46	25	38	25	38
支持政党なし	71	60	67	67	59	40	43	36	37	40	34	35
F8 衆院選投票先別												
民主党	55	51	46	42	38	28	26	21	22	21	18	20
共産党	66	60	53	56	50	41	34	28	32	29	25	25
社民党	52	33	41	44	41	15	22	11	30	11	22	19
新党大地	60	63	54	56	46	29	29	30	22	26	19	28
自民党	73	67	70	75	63	45	43	55	43	45	44	43
公明党	62	52	65	67	53	46	44	42	37	44	44	31
投票しなかった・白票を投じた	73	55	60	65	60	52	49	53	41	43	44	34
F9 政権支持別												
支持する	54	51	46	43	37	29	26	24	22	20	17	18
支持しない	80	69	77	83	71	53	52	58	51	58	55	51

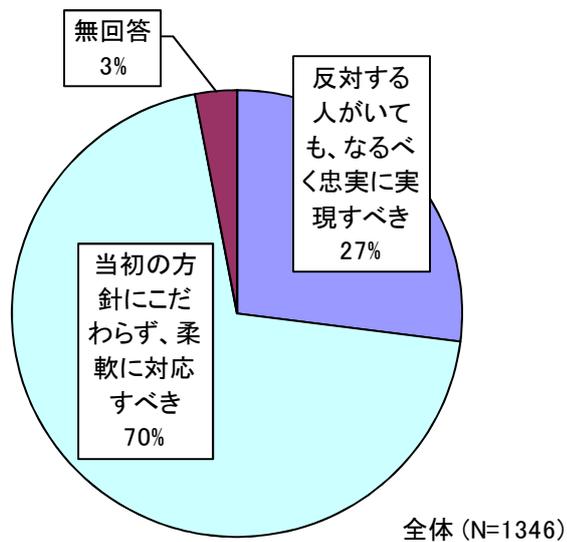
## (8) マニフェストへの対応 (問 21)

民主党のマニフェストへの対応は、「当初の方針にこだわらず、柔軟に対応すべき」が 70%と「反対する人がいても、なるべく忠実に実現すべき」の 27%を大きく上回るなど、マニフェストの実現実行の厳守化を求める人は少ない。

### <クロス集計結果>

- ・「柔軟に対応すべき」は農林漁業で 81%と高率を示し、公務員・団体職員でも 78%と高い。
- ・すべての政党支持層で「柔軟に対応すべき」は多数を占め、特に自民党支持層では 78%と最高値を示す。
- ・投票先別でみると、「柔軟に対応すべき」は民主党投票層で 68%と約 7 割を占める。
- ・民主党政権の支持、不支持層ともに「柔軟に対応すべき」が多数意見となる。

「マニフェストは国民との約束」と考える民主党は、「子ども手当」など選挙前に掲げたマニフェストの実現を重視しています。このことについて、どう思いますか



単位 (%)	反対する人がいても、なるべく忠実に再現すべき	当初の方針にこだわらず、柔軟に対応すべき
全 体	27	70
F1 性別		
男性	28	70
女性	26	70
F2 年代別		
20代	31	66
30代	37	61
40代	24	74
50代	23	76
60代	26	68
70歳以上	24	69
F3 職業別		
民間企業従事者	26	71
公務員・団体職員	21	78
自営・自由業	27	73
契約社員・アルバイト	29	68
農林漁業	16	81
専業主婦	31	66
無職	25	69
F4 市郡別		
大都市	27	69
中都市	26	73
小都市	27	70
町村	29	67
F5 地域別		
札幌市	27	69
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	28	68
胆振・日高管内	25	73
渡島・桧山管内	30	69
上川・留萌・宗谷管内	23	73
十勝・網走・釧路・根室管内	27	70
F6 選挙区別		
1区	24	73
2区	27	68
3区	32	65
4区	26	69
5区	22	74
6区	20	77
7区	22	76
8区	30	69
9区	25	73
10区	34	63
11区	32	64
12区	33	63
F7 支持政党別		
民主党	34	64
自民党	16	78
公明党	26	64
共産党	26	72
社民党	43	57
新党大地	29	71
支持政党なし	23	76
F8 衆院選投票先別		
2 民主党	31	68
共産党	26	69
社民党	37	63
新党大地	25	74
自民党	17	78
公明党	32	60
投票しなかった・白票を投じた	27	68
F9 政権支持別		
支持する	32	67
支持しない	17	79

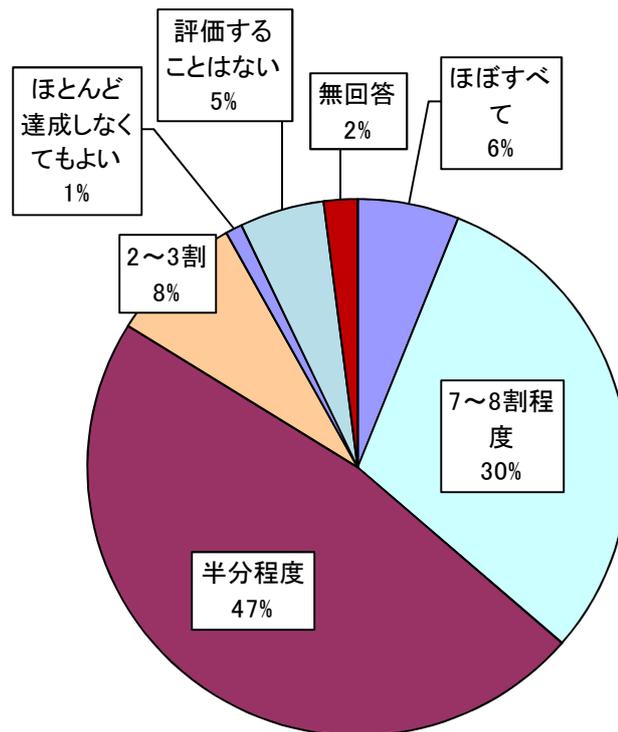
## (9) マニフェストの達成度 (問 22)

民主党の評価とマニフェストの達成度との相関関係を調べたところ、「半分程度」が47%と最も高く、次いで「7～8割程度」の30%となり、両項目を合わせると約8割を占める。

### <クロス集計結果>

- ・支持政党別で見ると、民主党支持層や無党派層は全体と同じ傾向を示す。しかし、公明党支持層や新党大地支持層では「7～8割程度」が「半分程度」を上回り、ハードルが厳しくなる。
- ・民主党投票層では「半分程度」が51%、「7～8割程度」が35%と全体と同傾向を示す。
- ・政権支持別で見ると、不支持層でも「半分程度」が39%と最多になる。

民主党政権は最長で4年間続きます。その間に、民主党がマニフェストを全体でどの程度達成すれば、評価しますか



全体 (N=1346)

単位(%)	ほぼすべて	7~8割程度	半分程度	2~3割	ほとんど達成 しなくてもよ い	評価すること はない
全 体	6	30	47	8	1	5
F1 性別						
男性	6	33	46	8	1	5
女性	6	28	49	8	2	5
F2 年代別						
20代	9	36	38	7	4	4
30代	9	35	39	10	1	7
40代	4	33	49	6	2	5
50代	4	27	52	11	1	5
60代	5	28	53	8	-	4
70歳以上	8	28	47	5	2	5
F3 職業別						
民間企業従事者	4	30	47	9	2	6
公務員・団体職員	1	34	47	13	1	5
自営・自由業	8	29	49	6	2	6
契約社員・アルバイト	12	28	43	12	4	1
農林漁業	10	32	45	6	-	6
専業主婦	6	30	49	7	1	6
無職	6	30	48	7	1	4
F4 市郡別						
大都市	5	35	46	7	1	4
中都市	5	27	50	9	3	5
小都市	5	29	47	10	1	7
町村	9	29	47	7	1	5
F5 地域別						
札幌市	5	35	46	7	1	4
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	6	27	47	8	2	6
胆振・日高管内	4	28	50	10	2	6
渡島・檜山管内	6	33	45	9	2	5
上川・留萌・宗谷管内	7	28	48	8	3	5
十勝・網走・釧路・根室管内	7	27	51	9	-	5
F6 選挙区別						
1区	3	37	50	5	-	2
2区	6	34	40	11	2	5
3区	6	37	42	7	-	6
4区	7	31	48	2	4	4
5区	4	27	48	11	2	6
6区	6	27	51	8	3	3
7区	8	24	52	8	-	9
8区	6	33	45	9	2	5
9区	4	28	50	10	2	6
10区	8	27	48	6	1	7
11区	8	24	57	7	-	1
12区	6	33	42	11	1	6
F7 支持政党別						
民主党	6	35	51	6	1	1
自民党	8	21	40	13	3	13
公明党	4	38	28	8	2	19
共産党	8	38	44	8	-	3
社民党	-	36	64	-	-	-
新党大地	13	42	33	4	4	4
支持政党なし	5	26	51	8	2	6
F8 衆院選投票先別						
2 民主党	4	35	51	7	1	1
共産党	6	26	51	13	-	3
社民党	-	33	63	-	-	4
新党大地	4	30	54	10	1	2
自民党	9	20	45	9	4	11
公明党	6	35	36	7	1	14
投票しなかった・白票を投じた	10	27	33	11	2	12
F9 政権支持別						
支持する	6	35	52	6	1	1
支持しない	7	21	39	13	3	15

## (10) 各種支援方法のあり方（問 23）

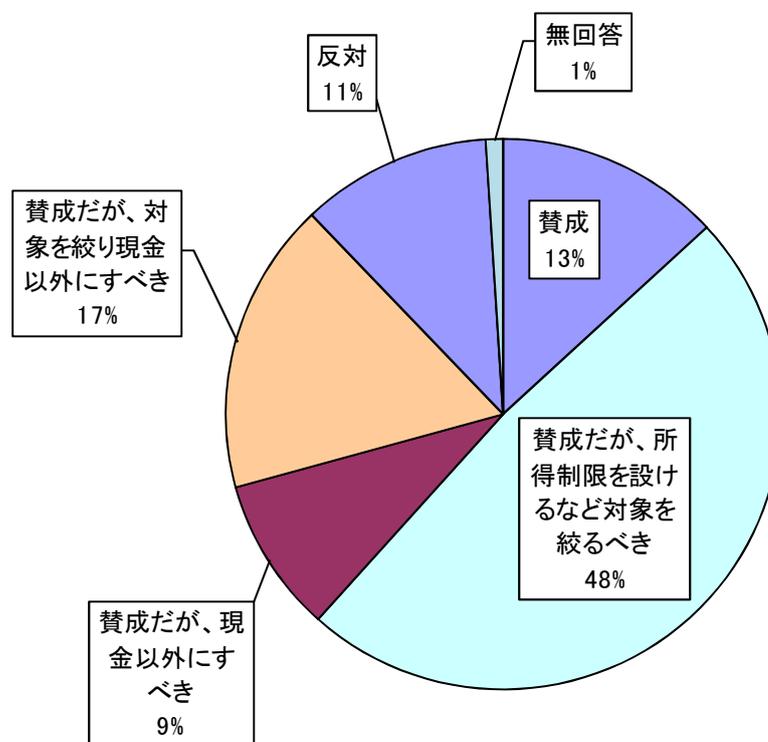
民主党は「子育て手当」や「農家戸別保障」などで現金給付による支援方法を考えているが、「反対」は11%と低く、支援制度自体については賛意を示す人が圧倒的に多い。

だが、具体的な手法については意見が分かれ、原案に「賛成」する人は13%と少ない。修正案として最も多いのは「賛成だが、所得制限を設けるなど対象を絞るべき」の48%で、以下は「賛成だが、対象を絞り現金以外にすべき」の17%、「賛成だが、現金以外にすべき」の9%となる。

### <クロス集計結果>

- ・小さな子供を抱え、「子育て環境の充実」への期待が高かった30代でも、原案に「賛成」する人は20%と低く、最多は「対象を絞る」の52%となる。
- ・支持政党別でみると、支援制度自体を否定する意見は各層共通して少ない。また、何らかの修正を望む人は民主党支持層でも約8割を占める。

民主党は「子ども手当」や「農家戸別保障」で、対象者に直接現金を給付する支援方法を考えています。このことについて、どう思いますか



全体 (N=1346)

単位(%)	賛成	賛成だが、所得制限を設けるなど対象を絞るべき	賛成だが、現金以外にすべき	賛成だが、対象を絞り現金以外にすべき	反対
全体	13	48	9	17	11
F1 性別					
男性	14	51	9	15	11
女性	13	46	10	19	11
F2 年代別					
20代	22	44	12	13	8
30代	20	52	8	11	10
40代	13	43	12	18	13
50代	12	46	8	19	14
60代	11	49	9	20	9
70歳以上	8	55	7	17	9
F3 職業別					
民間企業従事者	11	47	11	20	10
公務員・団体職員	13	38	10	19	20
自営・自由業	14	48	8	16	14
契約社員・アルバイト	14	58	9	14	6
農林漁業	26	39	13	6	16
専業主婦	18	45	10	15	10
無職	10	52	7	18	10
F4 市郡別					
大都市	14	46	9	18	11
中都市	13	50	10	15	11
小都市	14	49	9	17	9
町村	11	49	8	18	12
F5 地域別					
札幌市	14	46	9	18	11
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	13	49	10	17	10
胆振・日高管内	10	54	4	20	10
渡島・桧山管内	13	46	11	20	9
上川・留萌・宗谷管内	11	54	8	16	10
十勝・網走・釧路・根室管内	15	46	11	13	13
F6 選挙区別					
1区	10	43	11	22	13
2区	17	48	8	16	9
3区	17	45	8	14	13
4区	12	49	9	19	11
5区	14	49	11	18	8
6区	10	56	9	17	8
7区	15	40	16	9	17
8区	13	46	11	20	9
9区	10	54	4	20	10
10区	13	49	8	16	12
11区	14	54	7	15	9
12区	20	42	9	15	14
F7 支持政党別					
民主党	17	57	8	14	4
自民党	9	34	10	23	21
公明党	13	49	4	23	8
共産党	13	46	13	10	18
社民党	14	43	-	29	14
新党大地	8	46	13	25	8
支持政党なし	11	44	12	17	15
F8 衆院選投票先別					
民主党	14	54	9	16	6
共産党	15	46	7	16	16
社民党	7	41	11	30	11
新党大地	15	53	12	14	7
自民党	9	33	10	23	23
公明党	17	48	6	19	7
投票しなかった・白票を投じた	15	51	7	10	15
F9 政権支持別					
支持する	16	54	10	15	5
支持しない	9	37	8	20	25

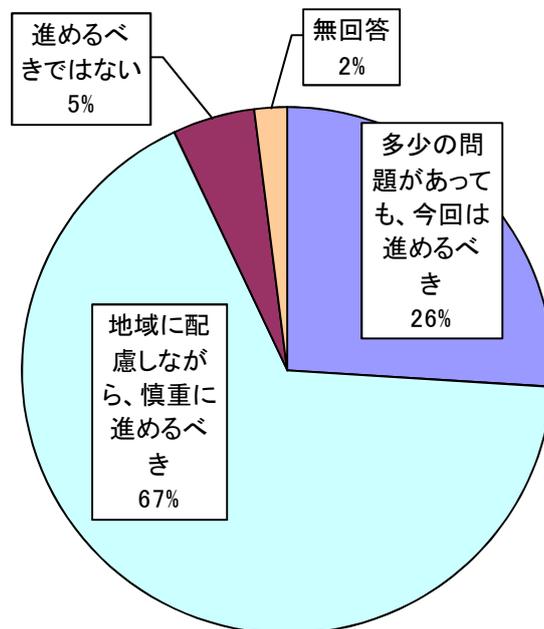
### (11) 国の出先機関廃止への是非（問 24）

「地域に配慮しながら、慎重に進めるべき」が67%と7割近くを占め、「多少の問題があっても、今回は進めるべき」という強攻策は26%にとどまる。しかし、「進めるべきではない」は5%と低率で、何らかの改革を期待する意見が大多数を占める。

#### <クロス集計結果>

- ・公務員・団体職員の最多は「慎重に進めるべき」の70%だが、「進めるべきではない」は9%と低く、9割以上が改革を期待している。
- ・市郡別で見ると、町村で慎重論が強く、「慎重に進めるべき」は74%と最高値を示す。
- ・民主党支持層でも慎重論が64%と強く、強攻策を望んでいない。

民主党は行政のスリム化を進めるために、開発局など地方にある国の出先機関の原則廃止を考えています。一方で、それは地方にとってダメージにつながるという考え方もあります。これについて、どう思いますか



全体 (N=1346)

単位(%)	対象の問題があっても、今回は進めるべき	地域に配慮しながら、慎重に進めるべき	進めるべきではない
全 体	26	67	5
F1 性別			
男性	31	61	6
女性	22	72	4
F2 年代別			
20代	14	80	4
30代	22	74	3
40代	26	65	8
50代	29	66	4
60代	33	59	6
70歳以上	25	66	5
F3 職業別			
民間企業従事者	27	66	6
公務員・団体職員	21	70	9
自営・自由業	32	63	5
契約社員・アルバイト	24	72	4
農林漁業	13	77	10
専業主婦	23	73	2
無職	30	62	5
F4 市郡別			
大都市	29	64	4
中都市	27	67	6
小都市	29	65	5
町村	17	74	6
F5 地域別			
札幌市	29	64	4
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	25	71	4
胆振・日高管内	23	70	6
渡島・桧山管内	24	67	8
上川・留萌・宗谷管内	26	66	6
十勝・網走・釧路・根室管内	25	68	6
F6 選挙区別			
1区	30	63	5
2区	24	71	3
3区	30	61	6
4区	20	74	4
5区	33	65	2
6区	26	68	5
7区	20	70	9
8区	24	67	8
9区	23	70	6
10区	24	68	6
11区	27	68	3
12区	29	62	9
F7 支持政党別			
民主党	33	64	2
自民党	14	72	12
公明党	17	77	4
共産党	10	90	-
社民党	14	86	-
新党大地	25	67	8
支持政党なし	27	66	5
F8 衆院選投票先別			
民主党	36	61	2
共産党	24	74	1
社民党	26	70	4
新党大地	27	67	5
自民党	12	75	11
公明党	15	79	5
投票しなかった・白票を投じた	17	71	9
F9 政権支持別			
支持する	33	65	2
支持しない	12	75	12

## 5. 政党や政治制度のあり方

### (1) 2大政党制のあり方 (問13)

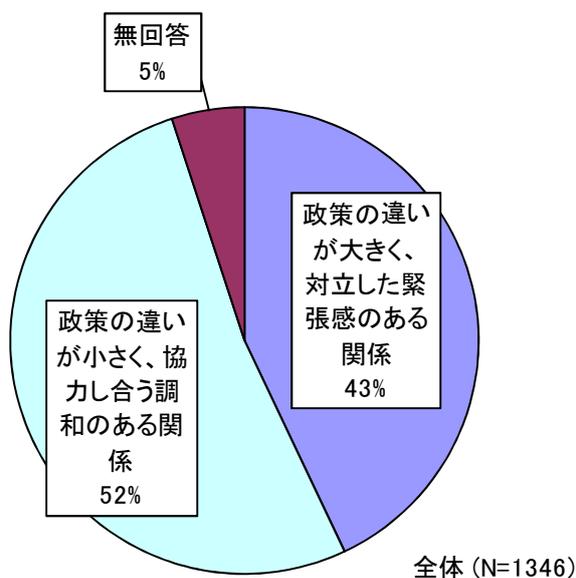
2大政党のあり方としては、「政策の違いが小さく、協力し合う調和のある関係」が52%と「政策の違いが大きく、対立した緊張感のある関係」の43%を上回る。

#### <クロス集計結果>

- ・「政策の違いが小さく、協力し合う調和のある関係」が6割に達したのは、自営・自由業と農林漁業などである。
- ・ 民主、自民、公明党の各支持層は全体と同傾向だが、共産、新党大地両党支持層などは「政策の違いが大きく、対立した緊張感のある関係」を指摘する人が半数を超える。

政権交代が実現し、日本でも2大政党制の時代を迎えつつあります。

2つの政党のあり方について、あなたの考えに近いのはどちらですか



単位(%)	政策の違いが大きく、対立した緊張感のある関係	政策の違いが小さく、協力し合う調和のある関係
全 体	43	52
F1 性別		
男性	46	50
女性	41	54
F2 年代別		
20代	48	50
30代	50	48
40代	45	54
50代	46	50
60代	37	53
70歳以上	37	54
F3 職業別		
民間企業従事者	50	47
公務員・団体職員	44	50
自営・自由業	36	60
契約社員・アルバイト	41	58
農林漁業	39	61
専業主婦	44	52
無職	39	52
F4 市郡別		
大都市	47	49
中都市	40	56
小都市	43	49
町村	42	53
F5 地域別		
札幌市	47	49
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	42	52
胆振・日高管内	36	59
渡島・桧山管内	40	54
上川・留萌・宗谷管内	41	53
十勝・網走・釧路・根室管内	45	52
F6 選挙区別		
1区	46	50
2区	53	44
3区	40	56
4区	42	52
5区	42	51
6区	37	58
7区	37	61
8区	40	54
9区	36	59
10区	50	43
11区	47	49
12区	54	41
F7 支持政党別		
民主党	43	53
自民党	37	59
公明党	36	58
共産党	59	36
社民党	64	29
新党大地	67	29
支持政党なし	46	49
F8 衆院選投票先別		
民主党	45	52
共産党	53	38
社民党	56	37
新党大地	50	49
自民党	37	57
公明党	38	57
その他の政党	44	44
投票しなかった・白票を投じた	41	53
F9 政権支持別		
支持する	45	52
支持しない	40	55

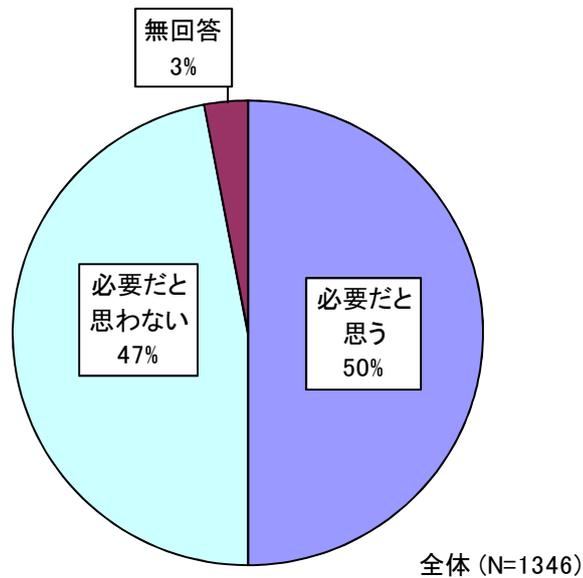
## (2) 参議院の必要性 (問 28)

根強い不要論がある参議院だが、「必要だと思う」は50%と、「必要だと思わない」の47%ときっ抗する。

### <クロス集計結果>

- ・必要論は20代で67%、30代で59%と若年層で強い。また、公務員・団体職員でも58%と6割近くを占める。
- ・支持政党別では、共産党支持層や公明党支持層など少数政党で必要論が強い。しかし、自民党支持層は唯一、不要論が55%と必要論の42%を上回る。

日本は衆議院と参議院の2院政です。参議院は必要だと思いますか



単位(%)	必要だと思う	必要だと思わない
全 体	50	47
F1 性別		
男性	48	50
女性	51	44
F2 年代別		
20代	67	31
30代	59	38
40代	54	44
50代	46	53
60代	38	58
70歳以上	44	48
F3 職業別		
民間企業従事者	51	47
公務員・団体職員	58	42
自営・自由業	38	62
契約社員・アルバイト	56	44
農林漁業	42	52
専業主婦	51	44
無職	46	49
F4 市郡別		
大都市	51	46
中都市	49	48
小都市	53	43
町村	45	51
F5 地域別		
札幌市	51	46
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	47	48
胆振・日高管内	55	42
渡島・檜山管内	48	49
上川・留萌・宗谷管内	49	47
十勝・網走・釧路・根室管内	48	49
F6 選挙区別		
1区	46	50
2区	58	39
3区	48	50
4区	45	49
5区	52	47
6区	50	47
7区	53	45
8区	48	49
9区	55	42
10区	45	48
11区	41	55
12区	49	47
F7 支持政党別		
民主党	50	47
自民党	42	55
公明党	57	32
共産党	62	38
社民党	64	36
新党大地	54	46
支持政党なし	51	46
F8 衆院選投票先別		
民主党	50	47
共産党	60	40
社民党	59	37
新党大地	46	54
自民党	44	52
公明党	53	38
投票しなかった・白票を投じた	53	41
F9 政権支持別		
支持する	53	45
支持しない	45	52

### (3) 国会議員定数への是非 (問 29)

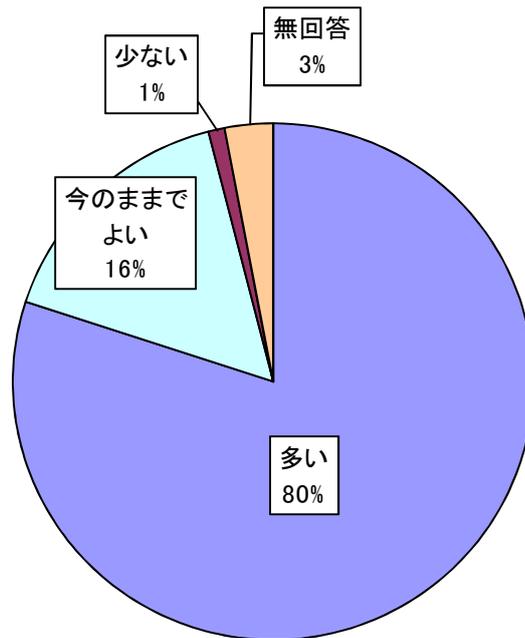
衆参 722 人の国会議員の定数については、「多い」が 80%と「今のままでよい」の 16%を大きくリードするなど、議員削減の望む声は支配的である。

#### <クロス集計結果>

- ・「多い」は 60 代や自営・自由業で 9 割近くを占める。
- ・どの政党支持層でも「多い」が多数意見だが、共産党支持層は 59%と全体値を大きく下回り、「今のままでよい」が唯一 3 割台に達する。

国会議員の数は衆議院が 480 人、参議院が 242 人で合計 722 人です。

この数について、どう思いますか



全体 (N=1346)

単位(%)	多い	今のままでよい	少ない
全 体	80	16	1
F1 性別			
男性	84	13	1
女性	77	18	1
F2 年代別			
20代	63	34	1
30代	78	19	2
40代	77	20	1
50代	85	13	2
60代	88	8	-
70歳以上	82	11	1
F3 職業別			
民間企業従事者	83	14	1
公務員・団体職員	73	26	1
自営・自由業	87	9	3
契約社員・アルバイト	81	17	2
農林漁業	68	26	3
専業主婦	79	18	1
無職	83	12	1
F4 市郡別			
大都市	79	17	2
中都市	85	12	1
小都市	77	20	-
町村	81	14	2
F5 地域別			
札幌市	79	17	2
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	79	17	-
胆振・日高管内	77	20	-
渡島・松山管内	83	14	2
上川・留萌・宗谷管内	84	13	1
十勝・網走・釧路・根室管内	83	12	2
F6 選挙区別			
1区	79	17	2
2区	76	21	2
3区	82	13	1
4区	82	15	1
5区	80	20	1
6区	81	14	2
7区	81	13	3
8区	83	14	2
9区	77	20	-
10区	78	17	-
11区	84	9	1
12区	87	11	-
F7 支持政党別			
民主党	83	14	1
自民党	78	17	1
公明党	74	17	-
共産党	59	33	8
社民党	71	29	-
新党大地	100	-	-
支持政党なし	80	16	2
F8 衆院選投票先別			
民主党	85	13	1
共産党	72	24	4
社民党	81	15	-
新党大地	85	11	2
自民党	78	18	1
公明党	73	19	1
その他の政党	89	11	-
投票しなかった・白票を投じた	70	29	-
F9 政権支持別			
支持する	82	16	1
支持しない	79	18	1

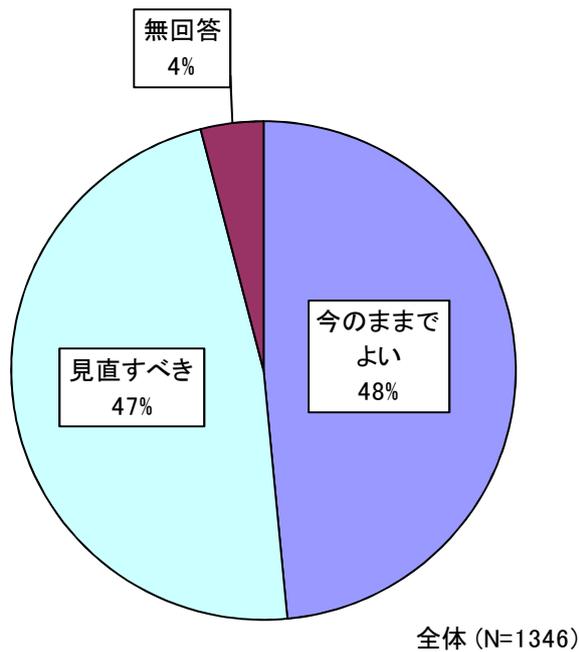
#### (4) 選挙制度全般への是非 (問 30)

小選挙区を中心とした選挙制度については、「今のままでよい」が 48%、「見直すべき」が 47%と参議院の必要性と同様に意見がきつ抗している。

##### <クロス集計結果>

- ・「今のままでよい」は 20～30 代の若年層や公務員・団体職員で 6 割に達するなど、参議院の必要性を求める層と重なっている。一方、「見直すべき」は 50 代で 55%と比較的高い。
- ・支持政党別で見ると、「見直すべき」は共産党支持層の 62%を筆頭に、自民党支持層の 57%、公明党支持層の 53%と半数を超え、いずれも衆院選で苦戦した政党である。

今回、政権交代が実現した要因の 1 つに小選挙区を中心とした選挙制度があります。  
この制度について、どう思いますか



単位(%)	今のままでよい	見直すべき
全 体	48	47
F1 性別		
男性	52	44
女性	45	50
F2 年代別		
20代	60	38
30代	61	38
40代	53	43
50代	43	55
60代	42	53
70歳以上	40	51
F3 職業別		
民間企業従事者	51	46
公務員・団体職員	65	33
自営・自由業	50	49
契約社員・アルバイト	54	44
農林漁業	42	48
専業主婦	46	49
無職	44	50
F4 市郡別		
大都市	47	48
中都市	49	48
小都市	53	42
町村	44	52
F5 地域別		
札幌市	47	48
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	53	41
胆振・日高管内	44	52
渡島・檜山管内	45	52
上川・留萌・宗谷管内	47	51
十勝・網走・釧路・根室管内	50	46
F6 選挙区別		
1区	42	52
2区	53	43
3区	43	53
4区	46	48
5区	56	41
6区	47	51
7区	52	43
8区	45	52
9区	44	52
10区	53	40
11区	50	46
12区	48	48
F7 支持政党別		
民主党	56	40
自民党	39	57
公明党	38	53
共産党	38	62
社民党	50	50
新党大地	58	42
支持政党なし	45	52
F8 衆院選投票先別		
民主党	54	42
共産党	35	62
社民党	41	56
新党大地	51	48
自民党	39	57
公明党	47	47
その他の政党	22	67
投票しなかった・白票を投じた	47	47
F9 政権支持別		
支持する	55	42
支持しない	36	60

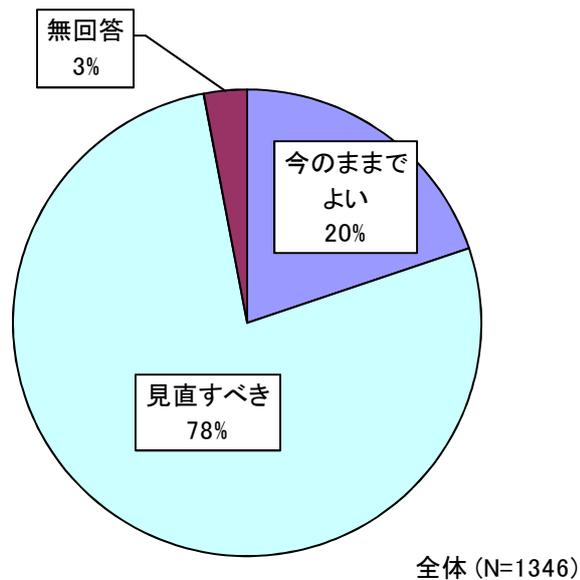
### (5) 比例復活制度への是非 (問 31)

選挙の度に議論になる比例復活制度については、「見直すべき」が78%と「今のままでよい」の20%を大きく引き離す。選挙制度全般については意見が分かれた有権者だが、比例復活制度では見直し論で一致する。

#### <クロス集計結果>

- すべての層で「見直すべき」は圧倒的に高く、中でも60代では84%と高率を示す。
- 支持政党別でみると、どの層も「見直すべき」が6割を超えている。しかし、自民、新党大地両党支持層では「今のままでよい」が3割近くを占める。

衆院選の選挙制度では、小選挙区で落ちて、比例代表で復活当選する候補が出ます。  
この仕組みについてどう思いますか



単位(%)	今のままでよい	見直すべき
全 体	20	78
F1 性別		
男性	19	79
女性	20	77
F2 年代別		
20代	31	66
30代	24	74
40代	23	76
50代	17	82
60代	13	84
70歳以上	17	77
F3 職業別		
民間企業従事者	18	80
公務員・団体職員	28	72
自営・自由業	20	79
契約社員・アルバイト	24	76
農林漁業	23	71
専業主婦	18	79
無職	17	79
F4 市郡別		
大都市	18	79
中都市	18	81
小都市	23	74
町村	22	75
F5 地域別		
札幌市	18	79
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	24	73
胆振・日高管内	19	79
渡島・桧山管内	17	81
上川・留萌・宗谷管内	19	80
十勝・網走・釧路・根室管内	20	77
F6 選挙区別		
1区	16	81
2区	21	76
3区	17	80
4区	20	78
5区	25	73
6区	20	80
7区	19	79
8区	17	81
9区	19	79
10区	21	74
11区	22	74
12区	19	78
F7 支持政党別		
民主党	18	80
自民党	28	68
公明党	23	70
共産党	21	79
社民党	7	93
新党大地	29	67
支持政党なし	17	81
F8 衆院選投票先別		
民主党	17	82
共産党	16	84
社民党	15	85
新党大地	13	85
自民党	25	70
公明党	27	68
投票しなかった・白票を投じた	27	68
F9 政権支持別		
支持する	19	80
支持しない	23	74

## 6. 今後の社会経済システム

### (1) 日本のあるべき社会像 (問 32)

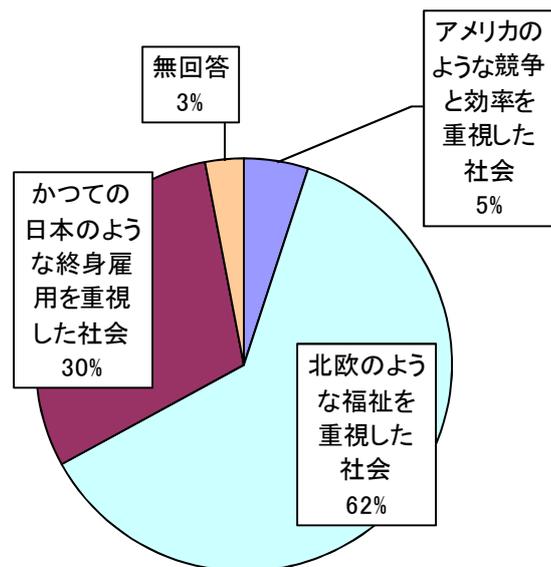
これからの日本のあるべき社会像について聞いたところ、「北欧のような福祉を重視した社会」が62%と他の項目を大きく引き離す。次いで、「かつての日本のような終身雇用を重視した社会」の30%となり、小泉構造改革路線が示したような「アメリカのような競争と効率を重視した社会」は5%と極めて低い。

調査手法が違うので単純比較はできないが、北海道大学が07年11月に実施した全国電話世論調査(北大調査)では「福祉を重視した社会」が66%、「終身雇用を重視した社会」が31%、「競争と効率を重視した社会」が2%(いずれも道内数値)と、望む社会像にあまり変化は見られない。

#### <クロス集計結果>

- ・どの年代でも「福祉を重視した社会」が最多となる。また、「終身雇用を重視した社会」は年代が上がるにつれて高くなり、70歳以上では39%と最高値を示す。
- ・農林漁業は、「福祉を重視した社会」と「終身雇用を重視した社会」が同率になる。
- ・支持政党別で見ると、自民党支持層では唯一「終身雇用を重視した社会」が45%と「福祉を重視した社会」の43%を上回る。

これからの日本社会のあるべき姿として、あなたのイメージに近いのはどれですか



全体 (N=1346)

単位(%)	アメリカのような競争と 効率を重視した社会	北欧のような福祉を重 視した社会	かつての日本のような 終身雇用を重視した社 会
全 体	5	62	30
F1 性別			
男性	6	58	33
女性	4	65	28
F2 年代別			
20代	8	71	19
30代	6	67	24
40代	3	68	28
50代	4	63	31
60代	5	55	36
70歳以上	4	50	39
F3 職業別			
民間企業従事者	7	62	29
公務員・団体職員	5	67	27
自営・自由業	6	58	34
契約社員・アルバイト	4	66	29
農林漁業	-	48	48
専業主婦	4	69	24
無職	4	53	37
F4 市郡別			
大都市	6	67	25
中都市	5	59	32
小都市	4	58	34
町村	4	58	33
F5 地域別			
札幌市	6	67	25
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	6	59	32
胆振・日高管内	3	59	33
渡島・桧山管内	6	61	30
上川・留萌・宗谷管内	3	59	34
十勝・網走・釧路・根室管内	3	57	35
F6 選挙区別			
1区	3	62	30
2区	7	65	27
3区	7	70	21
4区	5	64	26
5区	6	65	29
6区	4	56	37
7区	3	55	37
8区	6	61	30
9区	3	59	33
10区	5	59	31
11区	5	61	30
12区	1	58	35
F7 支持政党別			
民主党	4	65	29
自民党	8	43	45
公明党	-	70	21
共産党	3	77	21
社民党	7	57	36
新党大地	8	54	38
支持政党なし	6	65	26
F8 衆院選投票先別			
民主党	4	68	26
共産党	1	65	34
社民党	4	59	33
新党大地	2	63	33
自民党	8	45	43
公明党	-	69	25
投票しなかった・白票を投じた	10	55	30
F9 政権支持別			
支持する	4	67	27
支持しない	7	51	38

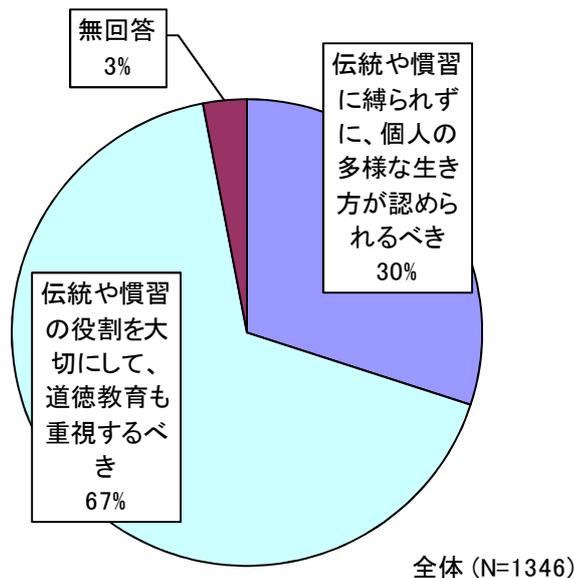
## (2) 個人・家庭のあるべき姿 (問 33)

今後の個人や家庭のあるべき姿については、「伝統や慣習の役割を大切にして、道德教育も重視するべき」が67%と7割近くを占め、「伝統や慣習に縛られずに、個人の多様な生き方が認められるべき」は30%にとどまる。

### <クロス集計結果>

- ・「伝統や慣習の役割を大切にして、道德教育も重視するべき」は若年層でも半数を超え、年代が上がるにつれておおむね高くなる。
- ・逆に「伝統や慣習に縛られずに、個人の多様な生き方が認められるべき」は年代が下がるにつれておおむね高くなり、最高値は20代の44%である。
- ・支持政党別では、自民党支持層で「伝統や慣習の役割を大切にして、道德教育も重視するべき」が81%と高い。

これからの個人や家庭のあるべき姿として、あなたのイメージに近いのはどれですか



単位(%)	伝統や慣習に縛られず に、個人の多様な生き方 が認められるべき	伝統や慣習の役割を大 切にして、道徳教育も重 視するべき
全 体	30	67
F1 性別		
男性	31	67
女性	29	68
F2 年代別		
20代	44	53
30代	32	65
40代	35	63
50代	27	72
60代	26	70
70歳以上	18	75
F3 職業別		
民間企業従事者	31	67
公務員・団体職員	31	67
自営・自由業	29	70
契約社員・アルバイト	36	64
農林漁業	13	81
専業主婦	33	64
無職	23	72
F4 市郡別		
大都市	35	61
中都市	28	71
小都市	28	68
町村	24	73
F5 地域別		
札幌市	35	61
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	25	71
胆振・日高管内	26	72
渡島・桧山管内	28	70
上川・留萌・宗谷管内	26	72
十勝・網走・釧路・根室管内	30	68
F6 選挙区別		
1区	30	65
2区	41	56
3区	29	68
4区	26	71
5区	34	65
6区	23	74
7区	33	65
8区	28	70
9区	26	72
10区	24	68
11区	31	66
12区	29	70
F7 支持政党別		
民主党	30	68
自民党	16	81
公明党	34	58
共産党	46	54
社民党	36	64
新党大地	38	63
支持政党なし	34	63
F8 衆院選投票先別		
民主党	31	67
共産党	38	62
社民党	41	56
新党大地	26	73
自民党	18	78
公明党	33	60
投票しなかった・白票を投じた	41	54
F9 政権支持別		
支持する	32	66
支持しない	25	72

### (3) 貧困問題への対応策 (問 34)

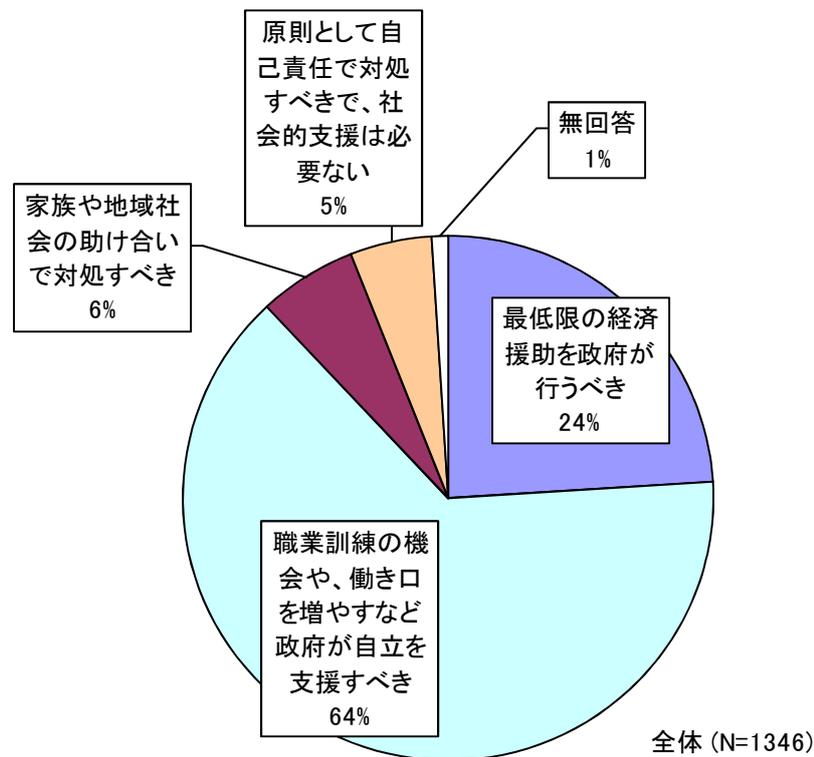
「職業訓練の機会や、働き口を増やすなど政府が自立を支援すべき」が64%と最も高く、以下は「最低限の経済援助を政府が行うべき」の24%と続く。

北大調査では「自立支援」が55%、「経済的援助」が30%、「家族や地域社会の助け合いで対処すべき」と「原則として自己責任で対処すべきで、社会的支援は必要ない」は8%で同率（いずれも道内数値）となり、この2年間で「自立支援」は9ポイント増、「経済的援助」は6ポイント減となる。

#### <クロス集計結果>

- ・契約社員・アルバイトの非正規労働者も全体と同じ傾向を示す。
- ・支持政党別では、「経済的援助」は共産党支持層で33%と全体値を上回り、新党大地支持層では50%と最多項目になる。

日本の貧困問題について、政府はどのように対応すべきだと思いますか



単位(%)	最低限の経済援助を政府が行うべき	職業訓練の機会や、働き口を増やすなど政府が自立を支援すべき	家族や地域社会の助け合いで対処すべき	原則として自己責任で対処すべきで、社会的支援は必要ない
全 体	24	64	6	5
F1 性別				
男性	26	60	7	6
女性	22	68	5	5
F2 年代別				
20代	26	58	9	6
30代	23	66	5	5
40代	23	67	6	4
50代	24	67	4	5
60代	21	66	4	7
70歳以上	26	57	8	6
F3 職業別				
民間企業従事者	26	63	3	8
公務員・団体職員	20	71	5	5
自営・自由業	25	59	9	7
契約社員・アルバイト	25	63	7	5
農林漁業	19	71	3	6
専業主婦	18	73	4	3
無職	25	60	8	5
F4 市郡別				
大都市	24	63	7	6
中都市	25	65	4	6
小都市	24	65	6	5
町村	21	66	8	4
F5 地域別				
札幌市	24	63	7	6
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	23	66	3	7
胆振・日高管内	20	69	5	6
渡島・桧山管内	26	62	8	4
上川・留萌・宗谷管内	27	64	7	1
十勝・網走・釧路・根室管内	22	65	6	6
F6 選挙区別				
1区	25	58	8	8
2区	20	67	6	6
3区	28	59	6	6
4区	23	66	3	6
5区	22	68	4	6
6区	27	63	8	2
7区	20	70	2	7
8区	26	62	8	4
9区	20	69	5	6
10区	26	64	3	6
11区	18	61	12	5
12区	27	65	5	4
F7 支持政党別				
民主党	26	64	4	5
自民党	17	63	9	10
公明党	25	60	8	4
共産党	33	64	3	-
社民党	29	64	-	7
新党大地	50	46	4	-
支持政党なし	21	68	6	5
F8 衆院選投票先別				
民主党	23	67	4	5
共産党	37	60	1	1
社民党	26	70	-	4
新党大地	28	61	6	5
自民党	19	61	9	9
公明党	20	64	9	5
投票しなかった・白票を投じた	29	60	6	4
F9 政権支持別				
支持する	25	65	5	5
支持しない	21	63	7	8

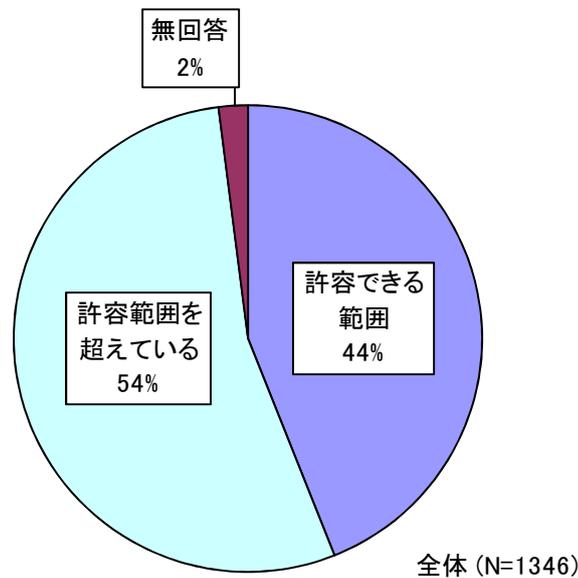
#### (4) 国民負担の実感度 (問 35)

税金や社会保険料などの国民負担に対する実感度は、「許容範囲を超えている」が 54%と「許容できる範囲」の 44%を上回る。

##### <クロス集計結果>

- ・70 歳以上を除く各年代で、「許容範囲を超えている」は半数を超えており、中でも働き盛りの 40 代では 62%と最高値を示す。一方、リタイヤ世代の 70 歳以上では、「許容範囲」が 50%と半数を占める。
- ・職業別で見ると、民間企業従事者をはじめ自営・自由業や農林漁業などで「許容範囲を超えている」が半数以上を占め、とりわけ経済的な弱者の契約社員・アルバイトの非正規労働者では、66%と最高値を示す。一方、公務員・団体職員では「許容範囲」が 60%と高く、同じ正規労働者でも民間とは負担の受け止め方が異なる。

税金や社会保険料などの国民負担について、あなたの実感に近いのはどれですか



単位(%)	許容できる範囲	許容範囲を超えている
全 体	44	54
F1 性別		
男性	48	50
女性	40	57
F2 年代別		
20代	41	56
30代	49	51
40代	37	62
50代	44	54
60代	43	53
70歳以上	50	46
F3 職業別		
民間企業従事者	46	53
公務員・団体職員	60	38
自営・自由業	40	60
契約社員・アルバイト	34	66
農林漁業	39	55
専業主婦	40	58
無職	47	49
F4 市郡別		
大都市	45	52
中都市	42	58
小都市	47	50
町村	41	56
F5 地域別		
札幌市	45	52
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	45	52
胆振・日高管内	38	59
渡島・檜山管内	44	56
上川・留萌・宗谷管内	45	54
十勝・網走・釧路・根室管内	42	55
F6 選挙区別		
1区	44	53
2区	47	50
3区	40	57
4区	44	52
5区	53	46
6区	45	54
7区	43	55
8区	44	56
9区	38	59
10区	42	54
11区	43	53
12区	39	57
F7 支持政党別		
民主党	44	54
自民党	51	47
公明党	36	60
共産党	18	82
社民党	57	43
新党大地	25	75
支持政党なし	45	53
F8 衆院選投票先別		
民主党	46	52
共産党	28	71
社民党	59	37
新党大地	46	54
自民党	49	48
公明党	36	62
投票しなかった・白票を投じた	35	63
F9 政権支持別		
支持する	45	53
支持しない	40	58

### (5) 税負担の考え方 (問 36)

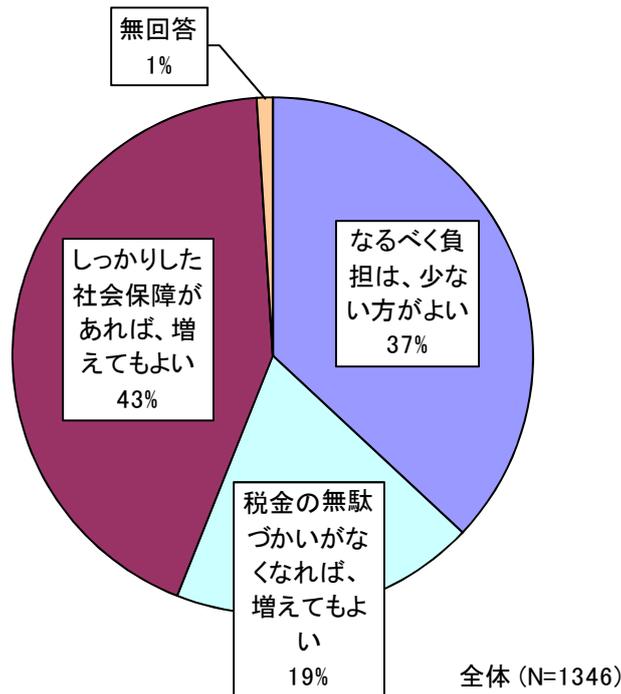
税負担の考え方としては、北欧型の福祉国家を望む人が多いことから「しっかりした社会保障があれば、増えてもよい」が 43%で最も高い。以下は「なるべく負担は、少ないほうがよい」の 37%、「税金の無駄づかいがなくなれば、増えてもよい」の 19%となる。

前提条件があるものの、増税を受け入れる人が全体の約6割を占める。

#### <クロス集計結果>

- ・30～60代は「社会保障制度があれば、増えてもよい」が最多項目となる。だが、20代と70歳以上では「負担は少なく」が最も高くなり、特に70歳以上では48%と5割近くを占める。
- ・「負担は少なく」は、契約社員・アルバイトの非正規労働者と無職で最多となる。

税金の負担について、あなたの考えに近いのはどれですか



単位(%)	なるべく負担は、少ないほうがよい	税金の無駄づかいがなくなれば、増えてもよい	しっかりした社会保障があれば、増えてもよい
全 体	37	19	43
F1 性別			
男性	34	21	45
女性	40	18	41
F2 年代別			
20代	41	21	36
30代	35	22	43
40代	37	20	42
50代	30	23	46
60代	35	18	46
70歳以上	48	13	38
F3 職業別			
民間企業従事者	30	21	49
公務員・団体職員	26	24	49
自営・自由業	32	24	43
契約社員・アルバイト	42	17	40
農林漁業	35	39	26
専業主婦	44	18	39
無職	42	15	40
F4 市郡別			
大都市	31	18	50
中都市	41	17	41
小都市	38	22	39
町村	40	22	36
F5 地域別			
札幌市	31	18	50
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	40	24	36
胆振・日高管内	44	19	37
渡島・檜山管内	43	14	43
上川・留萌・宗谷管内	38	16	44
十勝・網走・釧路・根室管内	38	23	38
F6 選挙区別			
1区	31	20	47
2区	32	21	46
3区	33	15	51
4区	45	15	40
5区	28	25	46
6区	35	16	47
7区	45	15	39
8区	43	14	43
9区	44	19	37
10区	41	24	33
11区	32	24	41
12区	38	28	34
F7 支持政党別			
民主党	40	19	40
自民党	38	21	41
公明党	45	13	40
共産党	33	15	51
社民党	36	-	64
新党大地	42	21	38
支持政党なし	31	21	47
F8 衆院選投票先別			
民主党	36	21	43
共産党	31	15	53
社民党	26	4	70
新党大地	37	22	41
自民党	39	20	41
公明党	46	16	37
投票しなかった・白票を投じた	41	15	41
F9 政権支持別			
支持する	36	20	43
支持しない	40	18	41

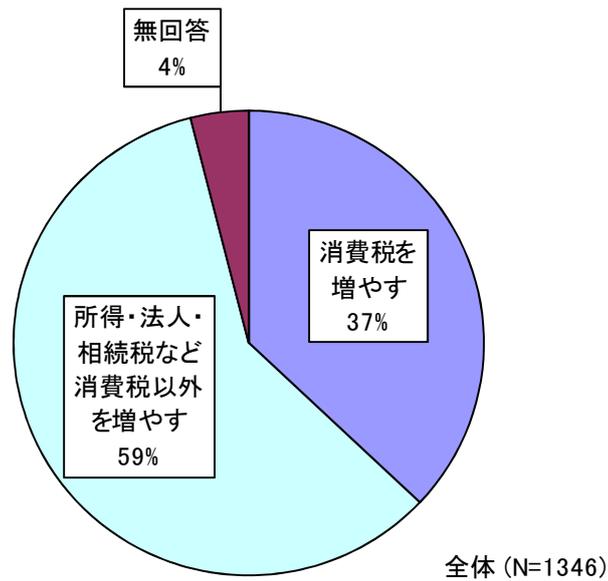
## (6) 増税の方法 (問 37)

増税の方法としては、「所得・法人・相続税など消費税以外を増やす」が59%と「消費税を増やす」の37%を大きく引き離す。

### <クロス集計結果>

- ・性別で見ると、男女ともに「消費税以外」が多数意見だが、女性は64%と男性に比べて10ポイントも高い。
- ・支持政党別では、自民党支持層で唯一「消費税増」が53%と半数を超える。

税金の負担を増やすなら、どの方法がよいと思いますか



単位(%)	消費税を増やす	所得・法人・相続税など消費税以外を増やす
全 体	37	59
F1 性別		
男性	42	54
女性	32	64
F2 年代別		
20代	34	64
30代	38	61
40代	36	62
50代	39	56
60代	39	57
70歳以上	32	60
F3 職業別		
民間企業従事者	41	56
公務員・団体職員	38	62
自営・自由業	46	51
契約社員・アルバイト	34	63
農林漁業	32	61
専業主婦	36	62
無職	31	61
F4 市郡別		
大都市	39	58
中都市	35	61
小都市	36	60
町村	36	59
F5 地域別		
札幌市	39	58
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	35	61
胆振・日高管内	35	64
渡島・桧山管内	37	59
上川・留萌・宗谷管内	34	61
十勝・網走・釧路・根室管内	37	57
F6 選挙区別		
1区	43	52
2区	39	59
3区	38	59
4区	31	65
5区	40	58
6区	33	62
7区	37	60
8区	37	59
9区	35	64
10区	32	62
11区	41	53
12区	34	58
F7 支持政党別		
民主党	32	65
自民党	53	43
公明党	36	57
共産党	15	79
社民党	43	57
新党大地	33	67
支持政党なし	37	59
F8 衆院選投票先別		
民主党	33	64
共産党	21	74
社民党	44	56
新党大地	34	63
自民党	53	43
公明党	28	64
投票しなかった・白票を投じた	40	53
F9 政権支持別		
支持する	35	62
支持しない	42	53

## (7) 行政サービスの権限委譲 (問 38)

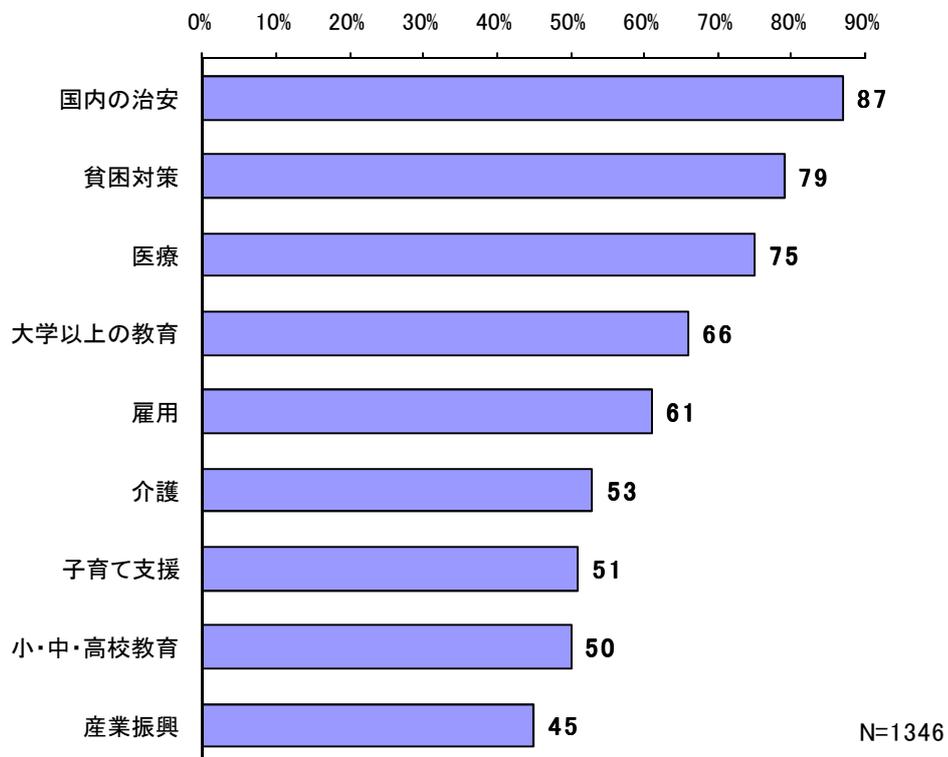
### ① 国に権限

国に権限を持たすべき行政サービスとしては、「国内の治安」が87%と最も高く、以下は「貧困対策」の79%、「医療」の75%と続く。9つの行政サービスの中で、国に権限を持たすべきの割合が5割以上をマークしたのは、「産業振興」を除く7つのサービスである。

### <クロス集計結果>

・「貧困対策」は年代が下がるにつれて高くなり、20代では86%と「国内の治安」を上回る。職業別でみると、「貧困対策」の割合が最も高いのは、民間企業従事者と契約社員・アルバイトの非正規労働者の83%である。

以下の行政の仕事は国と自治体（都道府県、市町村）、どちらに権限を持たせたほうがよいと思いますか



単位(%)	国内の治安	貧困対策	医療	大学以上の教育	雇用	介護	子育て支援	小・中・高校教育	産業振興
全体	87	79	75	66	61	53	51	50	45
F1 性別									
男性	88	81	75	66	62	52	51	45	48
女性	86	77	75	66	61	54	50	53	42
F2 年代別									
20代	81	86	77	56	64	64	53	42	43
30代	86	83	73	64	61	59	55	57	44
40代	89	82	75	70	64	61	52	52	42
50代	92	80	77	70	62	48	49	44	46
60代	89	75	72	68	57	46	49	47	49
70歳以上	82	70	74	62	62	48	48	54	45
F3 職業別									
民間企業従事者	90	83	76	62	64	58	51	49	44
公務員・団体職員	87	81	69	69	56	53	53	31	47
自営・自由業	91	74	82	71	52	55	52	55	38
契約社員・アルバイト	87	83	77	71	69	50	54	50	46
農林漁業	87	71	74	61	65	65	55	45	48
専業主婦	90	82	78	69	61	57	52	54	45
無職	82	73	71	63	61	44	47	49	48
F4 市郡別									
大都市	87	78	69	66	62	50	48	50	46
中都市	87	81	82	63	61	60	53	52	43
小都市	88	80	76	70	61	51	54	46	49
町村	86	74	72	66	61	51	46	49	42
F5 地域別									
札幌市	87	78	69	66	62	50	48	50	46
札幌市を除く石狩管内	90	81	74	67	60	48	52	50	52
胆振・日高管内	87	77	81	71	65	56	52	48	41
渡島・桧山管内	84	79	78	63	62	54	53	48	49
上川・留萌・宗谷管内	88	82	79	66	66	63	52	52	39
十勝・網走・釧路・根室管内	85	76	79	64	55	55	50	48	40
F6 選挙区別									
1区	86	76	69	67	51	53	45	45	53
2区	89	82	61	69	67	43	50	49	47
3区	86	78	77	61	65	52	50	57	37
4区	89	81	75	62	63	52	55	56	51
5区	94	81	78	70	61	54	54	48	49
6区	88	80	80	65	68	66	54	52	40
7区	82	79	83	60	60	62	51	48	36
8区	84	79	78	63	62	54	53	48	49
9区	87	77	81	71	65	56	52	48	41
10区	87	79	66	68	60	44	49	48	54
11区	88	69	77	70	49	55	55	51	42
12区	84	81	72	63	57	46	39	44	41
F7 支持政党別									
民主党	88	78	74	66	63	53	55	50	44
自民党	88	74	79	66	56	55	44	52	49
公明党	85	79	74	62	68	38	55	53	42
共産党	85	87	77	77	67	62	54	49	49
社民党	93	64	86	79	71	64	36	57	64
新党大地	75	83	88	58	71	58	58	42	33
支持政党なし	88	83	73	67	60	54	47	48	46
F8 衆院選投票先別									
民主党	89	78	73	67	62	51	51	48	45
共産党	91	91	78	76	65	57	56	51	44
社民党	93	74	74	74	81	48	33	56	74
新党大地	88	85	79	67	55	54	59	48	39
自民党	86	75	77	68	56	52	45	52	50
公明党	83	79	75	68	62	48	57	60	41
投票しなかった・白票を投じた	84	83	78	56	69	67	50	47	43
F9 政権支持別									
支持する	88	80	76	67	62	53	54	49	45
支持しない	88	80	76	66	61	55	45	53	45

## (8) 行政サービスの権限委譲 (問 38)

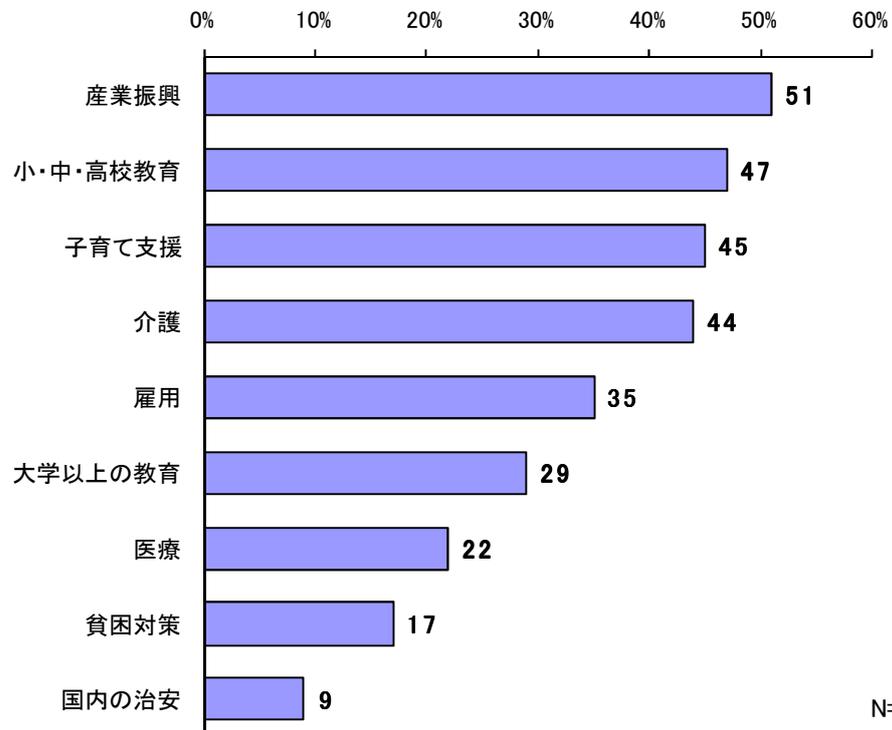
### ②地方へ権限委譲

地方に権限を委譲すべき行政サービスとしては、「産業振興」の51%が最多で唯一半数を超える。以下は「小・中・高校教育」の47%、「子育て支援」の45%、「介護」の44%と続く。

#### <クロス集計結果>

- ・「産業振興」が年代、職業の各層の中で最高値を示すのは、自営・自由業の59%である。また、20～40代でも比較的高い。
- ・「小・中・高校教育」は公務員・団体職員で67%と際立って高い。

以下の行政の仕事は国と自治体（都道府県、市町村）、どちらに権限を持たせたほうがよいと思いますか



N=1346

単位(%)	産業振興	小・中・高校教育	子育て支援	介護	雇用	大学以上の教育	医療	貧困対策	国内の治安
全体	51	47	45	44	35	29	22	17	9
F1 性別									
男性	49	53	46	46	36	31	23	17	9
女性	52	42	45	42	35	28	21	18	9
F2 年代別									
20代	55	57	45	34	35	43	22	12	18
30代	55	42	44	40	38	36	26	16	13
40代	56	47	47	38	34	28	23	16	9
50代	52	54	50	51	37	28	22	19	7
60代	46	46	45	49	38	25	22	19	5
70歳以上	43	34	40	42	27	25	17	18	6
F3 職業別									
民間企業従事者	55	50	48	42	35	37	23	16	9
公務員・団体職員	53	67	45	44	43	30	29	16	13
自営・自由業	59	45	45	45	46	27	17	24	6
契約社員・アルバイト	52	48	44	49	29	27	21	15	9
農林漁業	48	52	42	32	32	32	23	26	10
専業主婦	53	43	45	40	37	28	20	16	7
無職	43	43	44	49	31	27	23	18	9
F4 市郡別									
大都市	50	47	48	47	34	30	28	18	10
中都市	54	45	43	38	36	33	16	16	10
小都市	47	49	42	45	35	24	21	16	8
町村	53	46	49	44	35	28	23	19	8
F5 地域別									
札幌市	50	47	48	47	34	30	28	18	10
札幌市を除く石狩管内	45	45	43	48	36	28	23	16	6
胆振・日高管内	55	48	45	41	32	24	15	17	10
渡島・桧山管内	49	52	45	45	38	35	23	19	13
上川・留萌・宗谷管内	58	44	44	34	30	30	17	15	7
十勝・網走・釧路・根室管内	54	46	45	40	40	29	17	19	9
F6 選挙区別									
1区	41	49	49	41	41	25	25	17	9
2区	50	49	49	56	31	29	37	17	10
3区	60	43	47	47	33	36	21	20	12
4区	44	37	39	43	32	33	21	15	6
5区	51	51	45	46	38	27	21	18	5
6区	57	44	42	31	29	32	16	16	7
7区	60	48	45	34	36	35	13	16	12
8区	49	52	45	45	38	35	23	19	13
9区	55	48	45	41	32	24	15	17	10
10区	40	47	45	50	35	26	28	15	7
11区	54	43	42	42	49	24	20	28	8
12区	51	47	52	46	34	25	22	11	8
F7 支持政党別									
民主党	51	46	40	43	33	29	22	17	8
自民党	47	43	51	42	39	29	17	21	7
公明党	53	42	40	57	26	32	21	15	9
共産党	51	51	46	38	33	23	23	10	15
社民党	36	43	64	36	29	21	14	36	7
新党大地	67	58	42	42	29	42	13	17	25
支持政党なし	53	51	51	45	39	31	25	16	10
F8 衆院選投票先別									
民主党	51	48	45	46	34	29	24	18	7
共産党	56	49	44	41	35	24	22	9	9
社民党	26	41	63	52	19	22	26	26	7
新党大地	61	51	41	46	45	32	20	15	11
自民党	45	43	50	44	40	26	20	21	9
公明党	54	35	38	47	33	27	20	16	12
投票しなかった・白票を投じた	55	51	47	31	29	41	21	15	13
F9 政権支持別									
支持する	52	48	44	44	35	31	22	17	9
支持しない	52	44	52	42	36	29	22	17	9

## 7. 北海道の将来像と指針

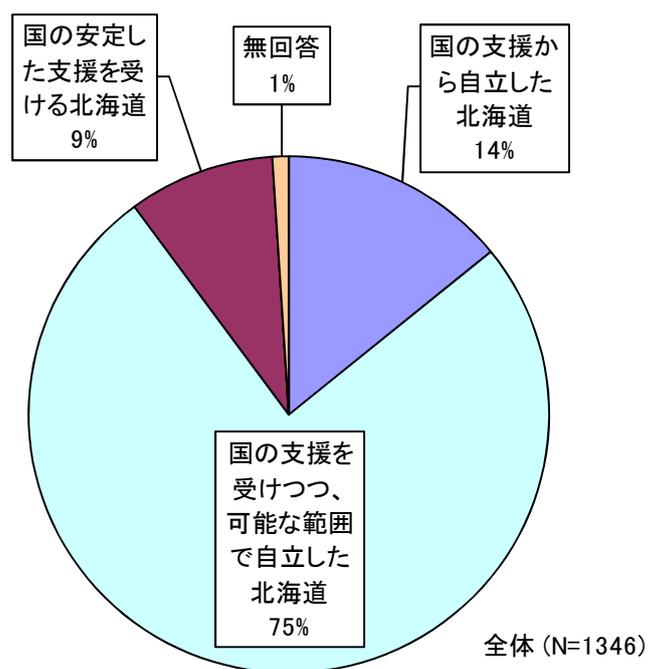
### (1) 北海道のあるべき姿 (問 39)

北海道のあるべき姿については、「国の支援を受けつつ可能な範囲で自立した北海道」が75%と最も高い。以下は「国の支援から自立した北海道」の14%、「国の安定した支援を受ける北海道」の9%となる。

#### <クロス集計結果>

- ・「可能な範囲で自立」はどの層でも最多で、中でも専業主婦では84%と高率を示す。

これからの北海道のあるべき姿について、あなたのイメージに近いのはどれですか



単位(%)	国の支援から自立した北海道	国の支援を受けつつ、可能な範囲で自立した北海道	国の安定した支援を受ける北海道
全 体	14	75	9
F1 性別			
男性	18	71	9
女性	10	79	10
F2 年代別			
20代	11	78	10
30代	16	69	14
40代	13	78	7
50代	16	76	7
60代	14	76	8
70歳以上	10	74	12
F3 職業別			
民間企業従事者	17	72	10
公務員・団体職員	17	74	7
自営・自由業	19	73	8
契約社員・アルバイト	16	75	9
農林漁業	16	74	10
専業主婦	7	84	8
無職	12	74	11
F4 市郡別			
大都市	17	73	7
中都市	11	77	11
小都市	14	77	9
町村	11	75	11
F5 地域別			
札幌市	17	73	7
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	12	79	8
胆振・日高管内	12	79	9
渡島・檜山管内	12	74	13
上川・留萌・宗谷管内	15	73	11
十勝・網走・釧路・根室管内	11	75	12
F6 選挙区別			
1区	18	74	6
2区	13	78	8
3区	20	69	9
4区	13	74	13
5区	17	81	1
6区	16	74	10
7区	8	80	11
8区	12	74	13
9区	12	79	9
10区	8	75	14
11区	14	72	11
12区	11	73	14
F7 支持政党別			
民主党	15	76	9
自民党	13	77	9
公明党	8	74	15
共産党	10	87	3
社民党	7	93	-
新党大地	25	58	17
支持政党なし	14	74	10
F8 衆院選投票先別			
民主党	14	78	7
共産党	16	76	7
社民党	11	89	-
新党大地	17	75	8
自民党	14	74	11
公明党	9	78	11
投票しなかった・白票を投じた	13	67	19
F9 政権支持別			
支持する	15	77	7
支持しない	11	72	15

## (2) 公共事業のあり方 (問 40)

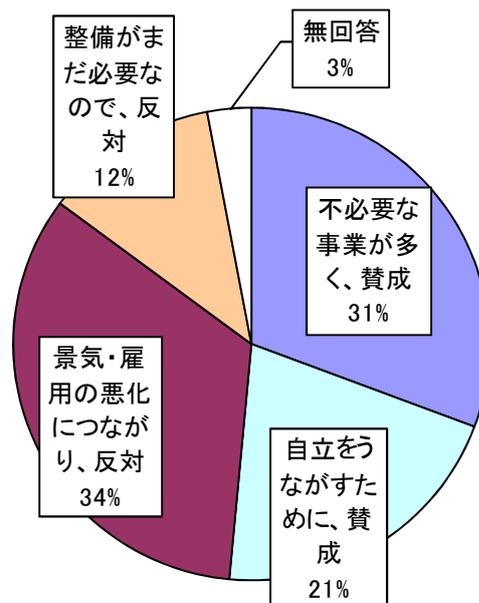
北海道における公共事業の削減については意見が分かれ、「不必要な事業が多く、賛成」の31%と「自立をうながすために、賛成」の21%を合わせた『賛成』は52%で、「景気・雇用の悪化につながり、反対」の34%と「整備がまだ必要なので、反対」の12%を合わせた『反対』は46%と、削減賛成がややリードする。

### <クロス集計結果>

- ・『賛成』は30代で全体値を大きく上回る63%と高い。また、地域別で最高値を示すのは、渡島・桧山管内の60%である。
- ・『反対』は農林漁業で65%と際立って高い。市郡別では町村で、地域別では胆振・日高管内と十勝・網走・釧路・根室管内で5割を超える。
- ・支持政党別でみると、民主、共産両党支持層では『賛成』が多数派となり、とりわけ民主党支持層では59%と高い。一方、自民、公明、新党大地の各支持層では『反対』が多数を占め、中でも「景気・雇用の悪化し、反対」が48%と極めて高い自民党支持層では64%と最高値を示す。

北海道は公共事業への依存が大きい地域ですが近年、その削減が進んでいます。

北海道における公共事業の削減について、あなたの考えに近いのはどれですか



全体 (N=1346)

単位(%)	不必要な事業が多く、賛成	自立をうながすために、賛成	景気・雇用の悪化につながり、反対	整備がまだ必要なので、反対	賛成	反対
全 体	31	21	34	12	52	46
F1 性別						
男性	30	24	32	12	54	44
女性	31	19	35	11	50	46
F2 年代別						
20代	31	15	35	15	46	50
30代	39	24	29	6	63	35
40代	30	25	31	13	55	44
50代	27	18	40	12	46	52
60代	30	22	32	13	52	45
70歳以上	28	21	32	14	49	46
F3 職業別						
民間企業従事者	31	23	35	9	54	44
公務員・団体職員	37	17	23	22	54	45
自営・自由業	28	23	34	12	51	44
契約社員・アルバイト	30	22	38	8	52	46
農林漁業	23	10	39	26	32	65
専業主婦	33	20	37	7	53	44
無職	31	22	29	15	53	44
F4 市郡別						
大都市	30	24	34	9	54	43
中都市	30	19	32	16	49	48
小都市	33	23	32	9	56	41
町村	29	16	36	15	45	51
F5 地域別						
札幌市	30	24	34	9	54	43
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	36	19	33	9	55	42
胆振・日高管内	37	23	28	8	60	36
渡島・檜山管内	25	17	35	23	42	58
上川・留萌・宗谷管内	30	22	29	15	52	44
十勝・網走・釧路・根室管内	25	19	39	16	44	55
F6 選挙区別						
1区	34	24	31	7	58	38
2区	29	23	38	8	52	46
3区	30	24	32	10	54	42
4区	34	15	32	15	49	47
5区	36	23	32	8	59	40
6区	29	21	29	16	50	45
7区	21	12	47	18	33	65
8区	25	17	35	23	42	58
9区	37	23	28	8	60	36
10区	31	24	35	6	55	41
11区	24	27	30	14	51	44
12区	32	16	37	15	48	52
F7 支持政党別						
民主党	38	21	29	9	59	38
自民党	14	19	48	16	33	64
公明党	21	21	43	9	42	53
共産党	41	13	28	13	54	41
社民党	36	14	36	14	50	50
新党大地	25	13	42	17	38	59
支持政党なし	30	24	31	13	54	44
F8 衆院選投票先別						
民主党	39	23	26	10	62	36
共産党	38	24	25	12	62	37
社民党	22	30	33	7	52	40
新党大地	28	20	37	12	48	49
自民党	13	20	47	18	33	65
公明党	21	22	42	11	43	53
投票しなかった・白票を投じた	29	15	39	13	44	52
F9 政権支持別						
支持する	36	23	29	11	59	40
支持しない	18	18	46	15	36	61

### (3) 札幌への一極集中問題 (問 41)

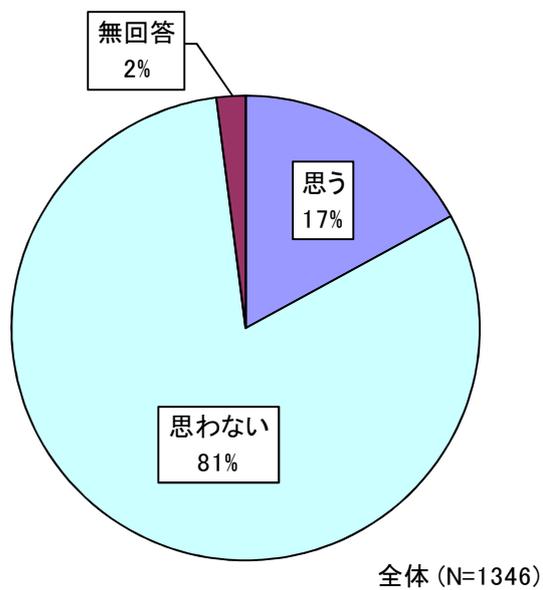
札幌への一極集中が進む中、それに歯止めがかかるかを聞いたところ、「思わない」が81%と圧倒的に高く、「思う」は17%と低い。

#### <クロス集計結果>

- ・「思わない」は年代が下がるにつれて高くなり、20代では90%と最高値を示す。
- ・市郡別で見ると、「思わない」は各層で高く、札幌市では83%となる。

北海道の人口約560万人のうち、3分の1の約190万人が札幌に住んでいます。

札幌への一極集中に、歯止めがかかると思いますか。



単位(%)	思う	思わない
全 体	17	81
F1 性別		
男性	17	81
女性	17	81
F2 年代別		
20代	9	90
30代	12	88
40代	17	82
50代	19	80
60代	19	78
70歳以上	21	75
F3 職業別		
民間企業従事者	15	85
公務員・団体職員	12	87
自営・自由業	20	77
契約社員・アルバイト	19	80
農林漁業	16	84
専業主婦	14	85
無職	22	75
F4 市郡別		
大都市	15	83
中都市	16	83
小都市	15	84
町村	24	73
F5 地域別		
札幌市	15	83
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	16	82
胆振・日高管内	19	80
渡島・桧山管内	18	81
上川・留萌・宗谷管内	23	76
十勝・網走・釧路・根室管内	16	82
F6 選挙区別		
1区	15	83
2区	12	86
3区	15	83
4区	9	88
5区	22	77
6区	25	74
7区	11	85
8区	18	81
9区	19	80
10区	16	80
11区	16	81
12区	20	78
F7 支持政党別		
民主党	18	81
自民党	22	77
公明党	19	74
共産党	18	79
社民党	14	86
新党大地	-	100
支持政党なし	13	86
F8 衆院選投票先別		
民主党	17	82
共産党	15	84
社民党	7	93
新党大地	16	83
自民党	23	75
公明党	17	78
投票しなかった・白票を投じた	11	87
F9 政権支持別		
支持する	16	83
支持しない	18	80

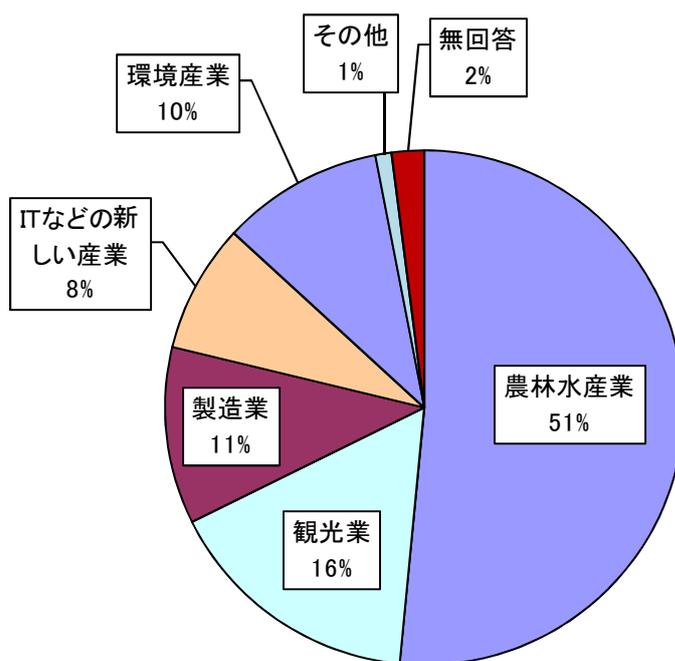
#### (4) 北海道の発展を促す産業分野 (問 42)

北海道の発展の原動力となる産業分野としては、基幹産業の1つである「農林水産業」を指摘する道民が51%と最も多い。以下は「観光業」の16%、「製造業」の11%、「環境産業」の10%、「ITなどの新しい産業」の8%となる。

##### <クロス集計結果>

- ・「農林水産業」はすべての年代、職業でトップに立ち、農林業業では81%と際立って高い。
- ・どの地域でも「農林水産業」が最多となり、最高値は上川・留萌・宗谷管内の60%である。

北海道が発展するためには、どの産業分野に力を入れるべきだと思いますか



全体 (N=1346)

単位(%)	農林水産業	観光業	製造業	ITなどの新しい産業	環境産業
全 体	51	16	11	8	10
F1 性別					
男性	50	13	12	10	11
女性	52	18	10	7	9
F2 年代別					
20代	43	17	11	14	10
30代	44	20	9	8	15
40代	51	16	8	11	10
50代	54	13	13	8	10
60代	55	14	13	5	10
70歳以上	55	15	11	7	6
F3 職業別					
民間企業従事者	48	13	14	10	12
公務員・団体職員	58	10	9	9	12
自営・自由業	45	19	9	9	13
契約社員・アルバイト	40	20	17	8	12
農林漁業	81	6	3	3	3
専業主婦	54	19	11	7	7
無職	55	14	9	7	10
F4 市郡別					
大都市	51	15	9	9	11
中都市	48	16	13	9	10
小都市	51	15	11	8	13
町村	56	17	11	6	7
F5 地域別					
札幌市	51	15	9	9	11
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	50	14	12	9	12
胆振・日高管内	46	20	11	8	11
渡島・桧山管内	46	13	18	12	10
上川・留萌・宗谷管内	60	14	10	6	5
十勝・網走・釧路・根室管内	52	18	10	6	10
F6 選挙区別					
1区	50	17	9	9	14
2区	55	11	9	11	8
3区	55	18	6	8	9
4区	47	19	11	9	9
5区	47	13	13	11	13
6区	59	14	10	7	6
7区	47	21	9	7	9
8区	46	13	18	12	10
9区	46	20	11	8	11
10区	51	11	14	5	13
11区	46	22	11	5	12
12区	65	11	9	5	8
F7 支持政党別					
民主党	55	16	10	8	9
自民党	50	13	15	7	10
公明党	43	21	9	9	11
共産党	54	21	8	5	8
社民党	43	36	7	-	7
新党大地	54	17	25	-	4
支持政党なし	48	15	10	11	12
F8 衆院選投票先別					
民主党	53	15	10	10	10
共産党	62	10	10	7	6
社民党	70	15	7	-	7
新党大地	52	16	13	7	10
自民党	51	17	14	7	8
公明党	51	19	7	7	11
投票しなかった・白票を投じた	35	20	13	10	15
F9 政権支持別					
支持する	53	16	10	9	10
支持しない	48	16	13	8	11

## (5) 高橋道政の評価 (問 43)

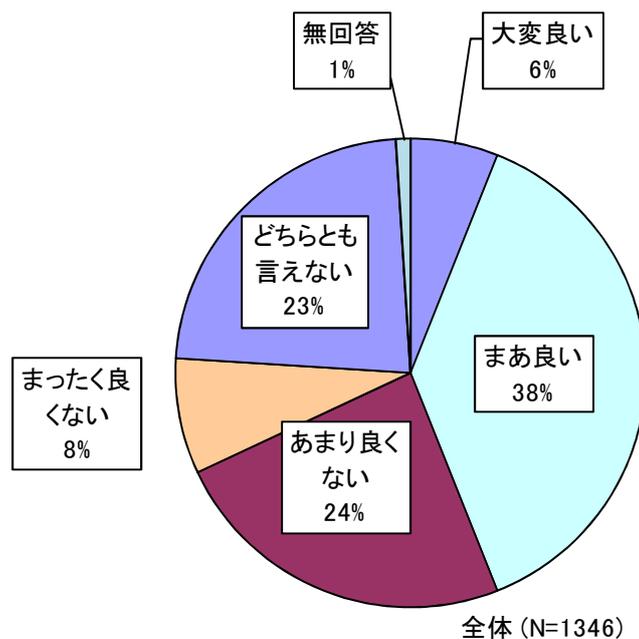
「大変よい」の6%と「まあ良い」の38%を合わせた『支持』は44%と5割を下回り、「あまり良くない」の24%と「まったく良くない」の6%を合わせた『不支持』は32%である。

調査手法が違うので単純比較はできないが、09年4月に実施した全道電話世論調査と比較すると、『支持』は50%から6ポイント減少し、『不支持』は25%から7ポイント増加している。

### <クロス集計結果>

- ・『支持』はすべての年代で『不支持』を上回り、70歳以上では51%と最高値を示す。また、農林漁業からの支持は58%と6割近くを占める。
- ・『不支持』は唯一公務員・団体職員で54%と半数を超える。
- ・支持政党別で見ると、道政与党の自民、公明両党支持層の『支持』は7割前後と高く、無党派層でも40%と『不支持』の28%を上回る。一方、『不支持』は共産党支持層の59%を筆頭に、新党大地支持層でも42%と『支持』を上回る。民主党支持層は意見が分かれ、『支持』と『不支持』が同率となる。

高橋はるみ知事の2期目がスタートして約2年半が経ちます。今までの高橋道政を、どう評価しますか



単位(%)	大変良い	まあ良い	あまり良くない	まったく良くない	どちらとも言えない	支持	不支持
全 体	6	38	24	8	23	44	32
F1 性別							
男性	6	39	24	10	21	45	34
女性	7	38	23	6	25	45	29
F2 年代別							
20代	4	36	20	6	32	42	26
30代	5	41	20	7	27	46	28
40代	5	43	20	6	25	48	27
50代	7	34	28	8	23	41	36
60代	6	37	28	9	20	43	37
70歳以上	11	40	22	7	18	51	29
F3 職業別							
民間企業従事者	4	40	25	8	22	44	33
公務員・団体職員	2	29	33	21	15	31	54
自営・自由業	11	36	23	7	23	47	30
契約社員・アルバイト	6	37	15	6	37	43	21
農林漁業	3	55	19	-	23	58	19
専業主婦	6	42	22	2	27	48	24
無職	9	37	24	9	20	46	33
F4 市郡別							
大都市	5	37	27	8	23	42	35
中都市	7	38	20	9	25	45	29
小都市	7	37	25	8	22	44	33
町村	8	44	21	3	23	52	24
F5 地域別							
札幌市	5	37	27	8	23	42	35
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	7	42	24	6	20	49	30
胆振・日高管内	10	39	23	6	23	48	29
渡島・桧山管内	6	44	20	5	25	50	25
上川・留萌・宗谷管内	7	35	25	9	23	42	34
十勝・網走・釧路・根室管内	8	36	19	9	27	44	28
F6 選挙区別							
1区	4	36	27	10	21	40	37
2区	5	37	28	5	24	42	33
3区	3	36	27	6	28	39	33
4区	5	42	23	11	19	47	34
5区	9	41	24	7	19	50	31
6区	8	35	23	10	23	43	33
7区	6	33	24	13	24	39	37
8区	6	44	20	5	25	50	25
9区	10	39	23	6	23	49	29
10区	6	37	26	7	21	43	34
11区	11	32	18	3	32	43	21
12区	6	46	14	9	25	52	23
F7 支持政党別							
民主党	5	35	31	9	20	40	40
自民党	16	54	11	2	16	70	13
公明党	15	53	8	4	17	68	12
共産党	8	13	41	18	21	21	59
社民党	14	21	14	14	36	35	28
新党大地	4	21	21	21	33	25	42
支持政党なし	2	37	21	7	32	40	28
F8 衆院選投票先別							
民主党	3	36	29	9	23	39	38
共産党	4	22	34	-	24	26	50
社民党	7	26	26	-	30	33	37
新党大地	4	28	28	11	28	32	39
自民党	16	54	9	2	19	70	11
公明党	14	58	11	2	12	72	13
投票しなかった・白票を投じた	3	32	20	7	36	35	27
F9 政権支持別							
支持する	5	35	28	9	23	40	37
支持しない	12	46	13	4	24	58	17

# 単純集計表

問1 あなたは、どの政党を支持していますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	民主党	588	44	44
2	自民党	221	16	17
3	公明党	53	4	4
4	共産党	39	3	3
5	社民党	14	1	1
6	新党大地	24	2	2
7	その他の政党	4	0	0
8	支持政党はない	390	29	29
	無回答	13	1	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1333

問2 8月に衆院選がありました、比例代表ではどの政党に投票しましたか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	民主党	639	47	48
2	共産党	68	5	5
3	社民党	27	2	2
4	新党大地	123	9	9
5	自民党	244	18	18
6	公明党	81	6	6
7	その他の政党	9	1	1
8	投票しなかった・白票を投じた	135	10	10
	無回答	20	1	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1326

問3 当時の野党に投票した理由は何ですか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除非)%	(除非不)%
1	投票した政党の政策がよかったから	134	10	16	16
2	民主党の鳩山代表を首相にしたかったから	20	1	2	2
3	政権交代を実現させたかったから	501	37	58	59
4	自民党にお灸をすえたかったから	159	12	19	19
5	その他	36	3	4	4
	無回答	7	1	1	
	非該当	489	36		
	サンプル数(%ベース)	1346	100	857	850

問4 当時の与党に投票した理由は何ですか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除非)%	(除非不)%
1	投票した政党の政策がよかったから	74	5	23	23
2	麻生内閣が続いてほしかったから	21	2	6	7
3	政権交代はまだ早いと思ったから	97	7	30	31
4	民主党が嫌いだから	73	5	22	23
5	その他	52	4	16	16
	無回答	8	1	2	
	非該当	1021	76		
	サンプル数(%ベース)	1346	100	325	317

問5 各党のマニフェストは知っていましたか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	まんべんなく知っていた	113	8	9
2	関心のある部分だけ知っていた	1048	78	80
3	ほとんど知らなかった	150	11	11
	無回答	35	3	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1311

問6 投票する際、マニフェストはどの程度重視しましたか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	大いに重視した	149	11	11
2	ある程度重視した	731	54	56
3	あまり重視しなかった	334	25	26
4	まったく重視しなかった	85	6	7
	無回答	47	3	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1299

問6 投票する際、マニフェストはどの程度重視しましたか(統合)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	重視した	880	65	68
2	重視しなかった	419	31	32
	無回答	47	3	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1299

問7 選挙期間中のマスコミの投票行動調査に協力しますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	協力する	644	48	49
2	期待する政党の状況で変わる	286	21	22
3	協力しない	395	29	30
	無回答	21	2	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1325

問8 05年9月の衆院選の比例代表では、どの政党に投票しましたか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	民主党	411	31	31
2	自民党	451	34	34
3	公明党	71	5	5
4	共産党	65	5	5
5	社民党	18	1	1
6	新党大地	57	4	4
7	覚えていない	111	8	8
8	投票しなかった・白票を投じた	146	11	11
	無回答	16	1	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1330

問9 前回の衆院選は自民党に投票し、今回は違う政党に投票した方は、別の政党に投票した理由は何ですか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除非)%	(除非不)%
1	自民党が進めた改革が十分実現しなかったから	27	2	11	11
2	自民党が進めた改革で問題が自立つようになったから	61	5	24	26
3	自民党の体質が嫌になったから	94	7	37	40
4	民主党など野党の政策の方が魅力的に見えたから	42	3	16	18
5	その他	11	1	4	5
	無回答	22	2	9	
	非該当	1089	81		
	サンプル数(%ベース)	1346	100	257	235

問10-A 自民党政治を振り返って(規制緩和などで経済を活性化させた)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	賛成	225	17	19
2	反対	987	73	81
	無回答	134	10	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1212

問10-B 自民党政治を振り返って(地方の生活を改善した)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	賛成	101	8	8
2	反対	1125	84	92
	無回答	120	9	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1226

問10-C 自民党政治を振り返って(行政のスリム化や透明化が進んだ)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	賛成	170	13	14
2	反対	1046	78	86
	無回答	130	10	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1216

問10-D 自民党政治を振り返って(強者優先の政策で社会格差が広がった)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	賛成	980	73	80
2	反対	250	19	20
	無回答	116	9	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1230

問10-E 自民党政治を振り返って(公共事業や地方交付税の削減で地方が疲へいた)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	賛成	913	68	75
2	反対	297	22	25
	無回答	136	10	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1210

問10-F 自民党政治を振り返って(官僚の特権を許し、予算の無駄づかいが広がった)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	賛成	998	74	80
2	反対	244	18	20
	無回答	104	8	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1242

問10-G 自民党政治を振り返って(医療、年金など社会保障が危うくなった)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	賛成	1083	80	86
2	反対	183	14	14
	無回答	80	6	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1266

問10-H 自民党政治を振り返って(権力にしがみつばかりで、国民不在の政治になった)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	賛成	1036	77	83
2	反対	212	16	17
	無回答	98	7	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1248

問11 自民党を立て直すためには、何が重要だと思いますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	世代交代を進めて若返りを図る	249	18	19
2	若手、ベテランが一致協力する	181	13	14
3	派閥政治をやめて、開かれた政党になる	580	43	44
4	立て直せない	243	18	19
5	その他	52	4	4
	無回答	41	3	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1305

問12 自民党が再生するには、どのような政策が必要だと思いますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	国民生活の安定を第一とした政策	1089	81	85
2	福祉よりも経済活力を重視した政策	86	6	7
3	伝統的な価値観を重視するなど保守的な政策	39	3	3
4	その他	69	5	5
	無回答	63	5	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1283

問13 2つの政党のあり方について、あなたの考えに近いのはどちらですか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	政策の違いが大きく、対立した緊張感のある関係	584	43	46
2	政策の違いが小さく、協力し合う調和のある関係	696	52	54
	無回答	66	5	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1280

問14 民主党政権になって、新聞やテレビなどの政治ニュースを見るようになりましたか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	変わらず見ている	739	55	56
2	見るようになった	467	35	35
3	見なくなった	34	3	3
4	変わらず見ていない	84	6	6
	無回答	22	2	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1324

問15 民主党政権になって、政治に対する期待は変わりましたか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	変わらず高い	183	14	14
2	高くなった	760	56	58
3	低くなった	127	9	10
4	変わらず低い	251	19	19
	無回答	25	2	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1321

問16 自民党の政策と民主党の政策に、大きな違いがあると思いますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	大きな違いがある	931	69	72
2	大きな違いはない	365	27	28
	無回答	50	4	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1296

問17 あなたは、民主党政権を支持しますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	支持する	906	67	71
2	支持しない	363	27	29
	無回答	77	6	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1269

問18 支持する理由は何ですか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除非)%	(除非不)%
1	社会保障重視で家計を守るから	241	18	27	27
2	脱官僚で政治を国民に近づけるから	398	30	44	44
3	自立した外交政策だから	15	1	2	2
4	自民政権ではない政権だから	202	15	22	23
5	その他	41	3	5	5
	無回答	9	1	1	
	非該当	440	33		
	サンプル数(%ベース)	1346	100	906	897

問19 支持しない理由は何ですか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除非)%	(除非不)%
1	家計への分配ばかりで経済活力を弱めるから	106	8	29	30
2	政権運営が不透明で分かりにくいから	123	9	34	35
3	外交政策が非現実的だから	35	3	10	10
4	自民政権の方が信頼できるから	42	3	12	12
5	その他	46	3	13	13
	無回答	11	1	3	
	非該当	983	73		
	サンプル数(%ベース)	1346	100	363	352

問20-A 民主党の政策について(景気回復と雇用の確保)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	期待できる	534	40	42
2	期待できない	726	54	58
	無回答	86	6	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1260

問20-B 民主党の政策について(国の出先機関の廃止など地方分権)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	期待できる	761	57	61
2	期待できない	477	35	39
	無回答	108	8	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1238

問20-C 民主党の政策について(医療、年金、介護など社会保障の充実)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	期待できる	860	64	68
2	期待できない	406	30	32
	無回答	80	6	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1266

問20-D 民主党の政策について(「子ども手当」など子育て環境の充実)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	期待できる	887	66	71
2	期待できない	366	27	29
	無回答	93	7	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1253

問20-E 民主党の政策について(天引き禁止など官僚組織の改革)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	期待できる	913	68	71
2	期待できない	371	28	29
	無回答	62	5	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1284

問20-F 民主党の政策について(自立した外交の展開)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	期待できる	418	31	34
2	期待できない	820	61	66
	無回答	108	8	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1238

問20-G 民主党の政策について(環境問題への取り組み)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	期待できる	801	60	64
2	期待できない	445	33	36
	無回答	100	7	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1246

問20-H 民主党の政策について(貧困、不平等の解消)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	期待できる	528	39	42
2	期待できない	726	54	58
	無回答	92	7	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1254

問20-I 民主党の政策について(農業の支援と食料自給率の向上)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	期待できる	622	46	50
2	期待できない	630	47	50
	無回答	94	7	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1252

問20-J 民主党の政策について(高速道路の無料化による交通コスト削減)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	期待できる	498	37	40
2	期待できない	746	55	60
	無回答	102	8	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1244

問20-K 民主党の政策について(ガソリン税の引き下げなど税の見直し)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	期待できる	852	63	68
2	期待できない	400	30	32
	無回答	94	7	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1252

問20-L 民主党の政策について(ダム廃止など脱公共事業)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	期待できる	820	61	65
2	期待できない	444	33	35
	無回答	82	6	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1264

問21 民主党は選挙前に挙げたマニフェストの実現を重視しています。このことについて、どう思いますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	反対する人がいても、なるべく忠実に再現すべき	362	27	28
2	当初の方針にこだわらず、柔軟に対応すべき	941	70	72
	無回答	43	3	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1303

問22 民主党政権(最長で4年間)の間に、民主党がマニフェストを全体でどの程度達成すれば、評価しますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ほぼすべて	79	6	6
2	7~8割程度	409	30	31
3	半分程度	639	47	48
4	2~3割	107	8	8
5	ほとんど達成しなくてもよい	20	1	2
6	評価することはない	68	5	5
	無回答	24	2	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1322

問23 民主党が考えている「子ども手当」などの直接現金を給付する支援方法について、どう思いますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	賛成	181	13	14
2	賛成だが、所得制限を設けるなど対象を絞るべき	648	48	49
3	賛成だが、現金以外にすべき	125	9	9
4	賛成だが、対象を絞り現金以外にすべき	228	17	17
5	反対	145	11	11
	無回答	19	1	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1327

問24 民主党が考えている、開発局など地方にある国の出先機関の原則廃止についてどう思いますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	多少の問題があっても、今回は進めるべき	352	26	27
2	地域に配慮しながら、慎重に進めるべき	903	67	68
3	進めるべきではない	69	5	5
	無回答	22	2	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1324

問25 来年夏の参院選について、今の時点でどの政党に投票しようと思いますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	民主党	780	58	61
2	自民党	249	18	19
3	公明党	63	5	5
4	共産党	51	4	4
5	社民党	20	1	2
6	新党大地	73	5	6
7	その他の政党	51	4	4
	無回答	59	4	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1287

問26 次の参院選で勝ってほしくないのは、どの政党ですか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	民主党	185	14	14
2	自民党	618	46	48
3	公明党	193	14	15
4	共産党	122	9	10
5	社民党	51	4	4
6	新党大地	33	2	3
7	その他の政党	76	6	6
	無回答	68	5	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1278

問27 次の参院選では、どのような結果を期待しますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	民主党の単独過半数	407	30	31
2	民主党を含めた与党で過半数	582	43	45
3	自民党を含めた野党で過半数	255	19	20
4	自民党の単独過半数	50	4	4
	無回答	52	4	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1294

問28 参議院は必要だと思いますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必要だと思う	667	50	51
2	必要だと思わない	633	47	49
	無回答	46	3	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1300

問29 国会議員の数は衆議院と参議院の合計で722人です。この数について、どう思います(SA)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	多い	1082	80	82
2	今のままでよい	214	16	16
3	少ない	16	1	1
	無回答	34	3	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1312

問30 小選挙区を中心とした選挙制度について、どう思いますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	今のままでよい	651	48	50
2	見直すべき	639	47	50
	無回答	56	4	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1290

問31 小選挙区で落ちて、比例代表で復活当選する候補が出る衆院選の選挙制度の仕組みについてどう思いますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	今のままでよい	264	20	20
2	見直すべき	1046	78	80
	無回答	36	3	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1310

問32 これからの日本社会のあるべき姿として、あなたのイメージに近いのはどれですか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	アメリカのような競争と効率を重視した社会	65	5	5
2	北欧のような福祉を重視した社会	828	62	64
3	かつての日本のような終身雇用を重視した社会	409	30	31
	無回答	44	3	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1302

問33 これからの個人や家族のあるべき姿として、あなたのイメージに近いのはどれですか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	伝統や慣習に縛られずに、個人の多様な生き方が認められるべき	399	30	31
2	伝統や慣習の役割を大切に、道徳教育も重視するべき	907	67	69
	無回答	40	3	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1306

問34 日本の貧困問題について、政府はどのように対応すべきだと思いますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	最低限の経済援助を政府が行うべき	318	24	24
2	職業訓練の機会や、働き口を増やすなど政府が自立を支援すべき	865	64	65
3	家族や地域社会の助け合いで対処すべき	78	6	6
4	原則として自己責任で対処すべきで、社会的支援は必要ない	73	5	5
	無回答	12	1	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1334

問35 税金や社会保険料などの国民負担について、あなたの実感に近いのはどれですか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	許容できる範囲	591	44	45
2	許容範囲を超えている	722	54	55
	無回答	33	2	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1313

問36 税金の負担について、あなたの考えに近いのはどれですか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なるべく負担は、少ないほうがよい	497	37	37
2	税金の無駄づかいがなくなれば、増えてもよい	261	19	20
3	しっかりした社会保障があれば、増えてもよい	574	43	43
	無回答	14	1	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1332

問37 税金の負担を増やすなら、どの方法がよいと思いますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	消費税を増やす	494	37	38
2	所得・法人・相続税など消費税以外を増やす	798	59	62
	無回答	54	4	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1292

問38-A 国と自治体、どちらに権限を持たせた方がよいと思いますか(子育て支援)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	国	681	51	53
2	自治体	612	45	47
	無回答	53	4	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1293

問38-B 国と自治体、どちらに権限を持たせた方がよいと思いますか(医療)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	国	1006	75	77
2	自治体	298	22	23
	無回答	42	3	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1304

問38-C 国と自治体、どちらに権限を持たせた方がよいと思いますか(介護)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	国	715	53	55
2	自治体	587	44	45
	無回答	44	3	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1302

問38-D 国と自治体、どちらに権限を持たせた方がよいと思いますか(小・中・高校教育)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	国	667	50	51
2	自治体	629	47	49
	無回答	50	4	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1296

問38-E 国と自治体、どちらに権限を持たせた方がよいと思いますか(大学以上の教育)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	国	889	66	69
2	自治体	396	29	31
	無回答	61	5	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1285

問38-F 国と自治体、どちらに権限を持たせた方がよいと思いますか(国内の治安)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	国	1174	87	91
2	自治体	120	9	9
	無回答	52	4	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1294

問38-G 国と自治体、どちらに権限を持たせた方がよいと思いますか(貧困対策)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	国	1061	79	82
2	自治体	232	17	18
	無回答	53	4	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1293

問38-H 国と自治体、どちらに権限を持たせた方がよいと思いますか(雇用)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	国	824	61	63
2	自治体	474	35	37
	無回答	48	4	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1298

問38-I 国と自治体、どちらに権限を持たせた方がよいと思いますか(産業振興)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	国	608	45	47
2	自治体	686	51	53
	無回答	52	4	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1294

問39 これからの北海道のあるべき姿について、あなたのイメージに近いのはどれですか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	国の支援から自立した北海道	186	14	14
2	国の支援を受けつつ、可能な範囲で自立した北海道	1015	75	76
3	国の安定した支援を受ける北海道	126	9	9
	無回答	19	1	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1327

問40 北海道の公共事業の削減について、あなたの考えに近いのはどれですか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	不必要な事業が多く、賛成	412	31	32
2	自立をうながすために、賛成	284	21	22
3	景気・雇用の悪化につながり、反対	451	34	35
4	整備がまだ必要なので、反対	160	12	12
	無回答	39	3	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1307

問40 北海道の公共事業の削減について、あなたの考えに近いのはどれですか(統合)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	賛成	696	52	53
2	反対	611	46	47
	無回答	39	3	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1307

問41 札幌への一極集中に、歯止めがかかると思いますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	思う	227	17	17
2	思わない	1095	81	83
	無回答	24	2	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1322

問42 北海道が発展するためには、どの産業分野に力を入れるべきだと思いますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	農林水産業	688	51	52
2	観光業	211	16	16
3	製造業	146	11	11
4	ITなどの新しい産業	113	8	9
5	環境産業	137	10	10
6	その他	20	1	2
	無回答	31	2	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1315

問43 高橋はるみ知事の2期目がスタートして約2年半が経ちます。今までの高橋道政を、どう評価しますか

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	大変良い	87	6	7
2	まあ良い	515	38	39
3	あまり良くない	317	24	24
4	まったく良くない	101	8	8
5	どちらとも言えない	314	23	24
	無回答	12	1	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1334

問43 高橋はるみ知事の2期目がスタートして約2年半が経ちます。今までの高橋道政を、どう評価しますか(統合)

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	支持	602	44	45
2	不支持	418	32	31
3	どちらとも言えない	314	23	24
	無回答	12	1	
	サンプル数(%ベース)	1346	100	1334

# 質問票

---

北海道大学 北海道新聞社 合同道民世論調査

「あなたが考える今の政治と社会」

2009年12月

発行：北海道新聞情報研究所

〒060 - 8711 札幌市中央区大通西3丁目6

電話：011 - 241 - 2473

---